

液晶ディスプレイ

取扱説明書

BrainBoard

MultiSync[®] LCD-CB653

MultiSync[®] LCD-CB753

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用の前に「安全のために必ず守ること」(2 ページ)を必ずお読みください。

目次

目次	ii
ご使用の前に	1
安全のために必ず守ること	2
付属品	10
設置	12
設置の概要	12
設置（お客様へ）	14
設置（設置業者様へ）	14
各部の名称	16
コントロールパネル / ターミナルパネル	16
リモコン	19
接続と設定	20
配線図	20
接続の前に	21
USB Type-C でコンピューターに接続する	23
HDMI 出力機器との接続	23
DisplayPort 出力機器との接続	23
VGA 出力機器との接続	23
HDMI 出力端子のある機器との接続	24
ネットワークとの接続（Wi-Fi モジュール装着時）	25
BlueTooth との接続（Wi-Fi モジュール装着時）	26
ネットワーク設定	26
基本操作	28
電源ランプ	28
電源オンと電源オフ	28
リモコンの使用範囲	29
省エネ機能	30
キャリブレーション	30
スタート画面	32
ホーム画面	32
クイック設定メニュー	35
入力	36
メインアプリ	39
アプリケーションプログラム	55
高度な操作	68
自動パワーオン / オフと省エネ機能	68
パスワードロックと設定ロック	68
映像出力	69
ホットスポットとテザリング	69
手書きモード	71
キーボードの切り替え方法	72
OSD 調節リスト	74
設定	74
クイック設定メニュー	78
外部制御	81
RS-232C 経由でのディスプレイ制御	81
LAN 経由でのディスプレイ制御（Wi-Fi モジュール装着時）	82
コマンド	83
本機で使用するパラメーター	83
故障かな?と思ったら…	86
仕様	91
対応信号表一覧	91
LCD-CB653	92
LCD-CB753	94
商標・ライセンスについて	96
外部のリソース	97
その他	98
本機を廃棄するには（リサイクルに関する情報）	98
保証とアフターサービス	98

ご使用の前に

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI - B

お知らせ

VCCI に関するご説明文の中で、「この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、」という記述をしておりますが、これは本機が VCCI クラス B というより厳しい基準に適合させていることから、協議会から指定された文章を記述したものであり、本機は住宅環境での使用を目的とはしていません。

注意

添付のケーブルを使用してください。

HDMI、USB、VGA はシールドタイプでコア付きケーブルを使用してください。

DisplayPort、USB Type-C、RS-232C はシールドタイプを使用してください。これ以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。

通信回線に接続するときのご注意 (Wi-Fi モジュール装着時)

本機の有線 LAN ポートは公衆回線（電気通信事業者から貸与またはレンタルされたルーターを含む）に直接接続することを意図して設計されていません。そのため有線 LAN ポートを公衆回線に直接接続することは電気通信事業法で禁止されています。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

本商品は社団法人電子情報技術産業協会が定めた「表示装置の静電気に関するガイドライン」に適合しています。



グリーンマーク

JIS C 0950（通称 J-Moss）とは、電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法を規定した日本工業規格です。特定の化学物質（鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE）の含有状況により、次の 2 種類の表示マークがあります。

- ・含有マーク： 特定の化学物質が含有率基準値を超える製品に付与するマーク
- ・グリーンマーク： 同化学物質が含有率基準値以下（但し除外項目あり）である製品にメーカーが任意で表示することができるマーク

本製品に表示されているマークは、グリーンマークです。

製品の情報は、<https://www.nec-display.com/jp/environment/j-moss.html> をご覧ください。

お知らせ 液晶ディスプレイに関するご注意

液晶ディスプレイは、精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや常時点灯しているドットが見えることがあります。これは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。本製品のドット抜けの割合は、0.000052% 以下 (CB653、CB753) です。

本製品は、ISO9241-307 基準に従い、ドット抜けの割合基準値は 1 サブピクセル（副画素）単位で計算しております。

【注】一般的な言い方として「画素」を「ドット」という言葉で表現しておりますが、ISO9241-307 に従い、正確に表現すると、「画素」は「ピクセル (pixel)」、「ドット」は「副画素」とも呼ばれ「サブピクセル (sub pixels)」となります。つまり、「画素」は実体のある副画素と言われる発光する点から構成され、「副画素」は、画素に色または階調を与えるもので、一つの画素内で個別に処理される分割された画素内部構造を示します。

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
- (2) 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気付きの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 本書に記載されている画像およびイラストは参考用のため、実際と異なる場合があります。
- (5) 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では (3) 項および (4) 項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

安全のために必ず守ること

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本書をお読みください。

誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の財産に損害をあたえたりすることがあります。

図記号の意味は次のとおりです。

	この記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。
	この記号はしてはいけないことを表しています。
	この記号はしなければならないことを表しています。

●ご使用前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。



警告

 プラグを抜く	<p>下記の場合、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本機から煙が出ている、変なにおいがする、変な音がする場合 ・本機を落としたり、キャビネットを破損した場合 販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
 分解禁止	<p>裏ぶたを外さない、修理・改造をしない</p> 内部には電圧の高い部分があり、さわるとけが・火災・感電の原因となります。修理は販売店にご相談ください。
 使用禁止	<p>ぐらついたり、スタンドにひびがある場合は近づかない</p> 本機が転倒してけがの原因となります。お買い上げの販売店か、工事専門業者にご連絡ください。
<p>電源コードについて</p>	
 禁止	<p>電源コードを傷つけない、加工しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電源コードを本機や重い物の下敷きにしない。 ・電源コードを敷物などで覆わない。 ・電源コードを無理に曲げない、ねじらない、引っ張らない。 ・電源コードを加熱しない。 電源コードが破損すると、火災・感電の原因となります。破損した場合（芯線の露出・断線など）は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に交換をご依頼ください。
 接触禁止	<p>雷が鳴り出したら、電源コードなどには触れない</p> 感電の原因となります。
 ぬれ手禁止	<p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない</p> 感電の原因となります。
 指示	<p>電源コードは添付のものを使用する</p> 添付の電源コードは本機専用です。安全のため他の機器で使用しないでください。
 指示	<p>正しい電源電圧で使用する</p> 添付の電源コードは AC100V・日本国内専用です。指定の電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因となります。
 禁止	<p>アース線を電源コンセントに挿入・接触させない</p> 火災・感電の原因となります。
 アース線を接続せよ	<p>アースに接続する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本機はアース線つき 2 芯プラグ機器です。機器の安全確保のため、電源コードのアース線を、コンセントのアース端子に接続し、機器のアースを確実に接続してください。アースに接続しないと感電するおそれがあります。アースが接続できない場合は、専門の工事業者にご相談ください。 ・電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線を接続してください。また、アース線を外す場合は、必ず先に電源プラグをコンセントから抜いてください。



警告

 指示	据え付け、取り付けは必ず工事専門業者または販売店に依頼する 工事が不完全ですと重大事故の原因となります。
 指示	設置するときに気を付けること スタンドなどの取り付け器具が必要です。 運搬、移動、設置の際は十分な安全を確保できる人数（必ず4人以上）で作業し、必ずすべてのハンドルを持ってください。落下してけがの原因となることがあります。 布などで通風口をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災や感電の原因となることがあります。 以下の場所には設置しないでください。 <ul style="list-style-type: none">・ 風通しや換気の悪い所・ 直射日光のあたる所や熱器具のそば・ 振動の多い所・ 湿気、ほこり、油煙、湯気の当たる所・ 腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）の存在する所・ 屋外・ 温度、湿度が急激に変化し結露がしやすい所 結露が起きたときには、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。 そのまま使用すると故障の原因となることがあります。・ 本機と取付金具の総重量を恒久的に十分に保持できない所 荷重は必ず梁などの堅牢な構造材で受け、確実に取り付けてください。強度が不十分な場合、落下して重大事故の原因となることがあります。・ 人が容易にぶら下がったり、寄りかけられるような場所、頭や目がぶつかってしまうような所。 上下逆さまに設置しないでください。
 指示	地震等での製品の転倒・落下によるけがなどを軽減するために、転倒・落下防止対策を講じる 取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適当な補強を施してください。また、転倒・落下防止対策は、けがなどの軽減を意図したものです。すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。 <ul style="list-style-type: none">・ 本機を固定する。スタンドによっては転倒防止対策が施されている場合があります。スタンドの取扱説明書も参照ください。・ 落下防止用ワイヤーのみでは絶対に壁掛け設置・天吊り設置しない。・ 建物や構造物の丈夫な個所に市販のフックや金具を取り付け、本機の所定の箇所との間を市販の落下防止ワイヤーで接続する。・ 市販のフック、金具、ワイヤーは本機を保持するのに十分強度のある物をご使用する。・ 落下防止用ワイヤーは少したるませるように設置する。 安定性と危険について 本機が落下すると重大事故の原因となることがあります。けがなどを軽減するために、本機を設置する際は取扱説明書の手順に従い、壁に確実に取り付けてください。特にお子様に関する事故の多くは簡単な方法で防ぐことができます。 <ul style="list-style-type: none">・ 推奨されているスタンドを使用し、取扱説明書の手順に従って取り付ける。・ 本機を安全に支えることができる什器に設置する。・ 本機がはみださない大きさの什器に設置する。・ 本機にさわろうとして設置している什器に登ったりすると危険であることをお子様に説明する。・ 本機に接続するコードやケーブルは、つまずかないように、また引っ張ったりつかんだりできないように配線する。・ 本機を不安定な場所に設置しない。・ 本機を背の高い什器に設置する場合は、本機と什器、什器と壁や柱など、それぞれをしっかりと固定する。・ 本機の下に布などを敷かない。・ 本機や設置している什器の上に、お子様の興味を引くようなもの（玩具やリモコンなど）は置かない。 設置場所を変える場合は、上記をふまえ設置してください。

警告

 禁止	ぐらつく台の上や、傾斜面、不安定な場所に置かない 落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。
 禁止	異物をいれない 火災・感電の原因となります。特にお子様にご注意ください。 異物が本機の中に入った場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
 水ぬれ禁止	水のかかるところに置かない 水などが本機の内部に入った場合はすぐに本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、故障・火災・感電などの原因となります。エアコン等水を排出する機器にも注意してください。
 禁止	清掃時に可燃性ガスのスプレーを使用しない 火災の原因となります。
 指示	拡張ボード（OPS）をしっかり固定する 拡張ボード（OPS）は、拡張スロット（OPS）カバーを固定しているネジを使用し、しっかりと固定してください。固定しないと、落下して重大事故の原因となります。
 禁止	生命維持にかかわる医療機器などの人命に直接かかわる業務や、航空機、原子力設備などの極めて高い信頼性を必要とする業務には使用できません。

⚠ 注意

電源コードについて	
 指示	電源プラグの抜き差ししやすい場所のコンセントを使用する
 しっかり 差し込む	電源プラグを奥までさしこむ 電源コードが容易に抜けるのを防止する 差し込みが不完全だと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となります。また、電源プラグの刃に触れると感電の原因となります。 電源コードが抜けるのを防止するため、本機付属のケーブルクランプで固定してください。
 指示	火災や感電を防ぐために、次のことを守る <ul style="list-style-type: none"> • 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。 • お手入れのときや、夜間、休業日などで長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。 • 電源プラグや電源コードが熱いとき、またコンセントへの差し込みがゆるく電源プラグがぐらついているときは、使用をやめる。お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
 ほこりを取る	電源プラグのほこりなどは定期的に取り 火災・感電の原因となることがあります。
 指示	電源コードやケーブル類を抜いてから移動する コードやケーブルが引っ掛かり、落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。電源コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。
 禁止	電源コードは、タコ足配線しない タコ足配線をすると、過熱により火災の原因となることがあります。
 禁止	電源コードおよび USB ケーブルは束ねない（丸めない） ケーブルが発熱して火災の原因となるおそれがあります。
 禁止	過電圧が加わるおそれのあるネットワークには接続しない（Wi-Fi モジュール装着時） LAN ポートは、過電圧が加わるおそれのないネットワークに接続してください。LAN ポートに過電圧が加わると、感電の原因となることがあります。
 禁止	本機を設置している台には乗らない 本機が倒れたり、置き台が動いたりしてけがの原因となることがあります。 キャスター付き置き台に本機を設置する場合は、必ずキャスター止めをしてください。
 指示	スタンドの取り付けや高さを調節する場合 本機とスタンドの間に手や指をはさむとけがの原因となることがあります。 高さ調節が可能なスタンドは指定された位置に固定してください。指定以外の位置では、転倒してけがの原因となることがあります。
 禁止	本機を強く押さない、乗らない、つかまない、ぶら下らない 硬いものでこすったり、たたいたりしない 破損して火災、感電、けがの原因となることがあります。

! 注意

 禁止	<p>画面に衝撃を加えない 先のとがった物で押さない 破損してけがや故障の原因となることがあります。</p>
 指示	<p>乾電池は適切に取り扱う 乾電池は誤った使い方をすると液漏れや破裂によるけがの原因となることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 指定以外の電池を使用しない。 • 乾電池のプラスとマイナスを、表示のとおり正しく入れる。 • 種類の違う乾電池を混ぜて使用しない。 乾電池は種類によって特性が異なります。 • 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない。 新しい乾電池の寿命を短くしたり、古い乾電池から液が漏れるおそれがあります。 • 乾電池が使えなくなったら、すぐに取り出す。 液が漏れて故障の原因となるおそれがあります。 漏れた液に触れたときは、ただちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。 漏れた液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗ったあと、 ただちに医師の治療を受けてください。 皮膚がかぶれたり、目に障害を与える原因となるおそれがあります。 • 長時間使わないときは、電池を取り出す。 • 高温になる場所や気圧の低い場所に放置しない。 破裂したり乾電池から可燃性の液やガスが漏れる可能性があります。 • 乾電池を水の中に投入したり、器具での押しつぶしたり、焼却、加熱、切断、改造しない。 破裂のおそれがあります。 • 乾電池をショートや充電をしない。 • 乾電池を廃棄する際は、プラス (+) とマイナス (-) をセロハンテープで絶縁して廃棄する。 廃棄する際は販売店、または自治体に問い合わせてください。
 禁止	<p>本機の温度が高くなる部分に長時間触れない 低温やけどの原因となることがあります。</p>
 指示	<p>適度な明るさの環境で使用する 画面の反射による目の疲れを防ぐために、適度な明るさの中でご使用ください。</p>
 禁止	<p>ヘッドホンを装着したまま接続しない 音量によっては耳を傷める原因となることがあります。</p>
 通気口の清掃	<p>通気口を掃除する 通気口がごみやほこりでふさがると内部に熱がこもり火災や感電の原因となることがあります。 月に一度は通気口を掃除してください。</p>
 内部清掃	<p>1年に一度は内部掃除を 内部にほこりがたまったまま使うと、内部に熱がこもり火災や故障の原因となることがあります。 内部掃除は販売店にご依頼ください。</p>
 指示	<p>温度や湿度が急激に変化する環境での使用や保管は避ける 以下の使用環境・保管環境を守らなかった場合は故障、火災や感電などの原因となることがあります。</p> <p>使用環境温度： 0～40℃ / 湿度： 20～80%（結露のないこと） 保管環境温度： -20～60℃ / 湿度： 0～90%（結露のないこと）</p>

ディスプレイの上手な使い方

 国内専用	<p>本製品は日本国内用として製造・販売しています。 日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。 またこの製品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではお受けできません。 This product is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.</p>
 指示	<p>キャビネットのお手入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> • お手入れの際は電源プラグを抜いてください。 • 柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには水でうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。 • ベンジンやシンナー、アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、ガラスクリーナー、ワックス、研磨クリーナー、粉石鹼などでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質・ひび割れしたり、塗装がはげる原因となることがあります。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。キャビネットおよびスタンドが変色したり、変質・ひび割れするなどの原因となることがあります。 • タッチパネルのガラス板は、反射防止を目的とした AG コーティング処理が施されているため、表面にほこりや汚れがついているときは、柔らかい布でやさしく拭いてください。ティッシュや硬いもので拭かないでください。また、表面が変色したり、不透明になる原因となりますので、タッチパネルのお手入れにベンジン、シンナーなどの溶剤は絶対使用しないでください。
	<ul style="list-style-type: none"> • 画面のお手入れ • 画面にほこりがついた場合は、市販の静電気除去ブラシ（除じん用ブラシ）をお使いください。 • 画面の汚れは、乾いたきれいな布で軽くふき取ってください。しめった布や化学ぞうきんでふき取らないでください。また、同じ布を繰り返し使用しないでください。 • 画面は傷つきやすいので、硬いもので押しったりこすったりしないように注意してください。 • 画面は触指などにより汚れることのないように注意してください。
	<p>上手な見方</p> <p>明るすぎる部屋は目が疲れます。適度な明るさの中でご使用ください。 また、連続して長い時間、画面を見ていると目が疲れます。</p>
	<p>部品寿命による影響</p> <p>保証期間を超えて長くご使用した場合、部品劣化によるリスクが高まりますので、製品の買い替えのご検討をお願いします。</p>
	<p>電磁波妨害に注意してください</p> <p>本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。</p>

お知らせ

当製品は、1日16時間以内での使用時間を前提に設計されています。1日16時間を越える連続稼働使用は保証対象外となります。

注意事項

設置のときは次のことをお守りください。



垂直置き

床面に対して垂直置きになるように設置する

ななめ置きや水平置きに設置すると故障の原因となることがあります。



禁止

自立スタンド（別売）を使って設置するときスタンドを引きずらない

スタンドを取り付けた後でディスプレイを動かす場合は、スタンドが床に接した状態でディスプレイを引きずらないでください。

筐体にストレスが加わり、筐体および前面ガラスに歪みが生じる場合があります。そのまま使用するとタッチパネルが反応しない原因となることがあります。

<設置時のご注意>

- 移動するときスタンドを引きずらないように複数人で持ち上げてください。
- タッチパネルが反応しないときは、筐体および前面ガラスに歪みが生じている可能性があります。タッチパネル内蔵液晶ディスプレイを一度持ち上げることで歪みが解消される場合があります。

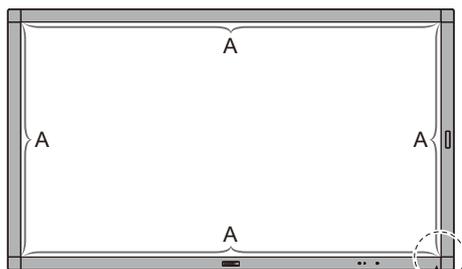
設置のときは次のことをお守りください。



ほこりを取る

センサー部の定期的な清掃をお願いします

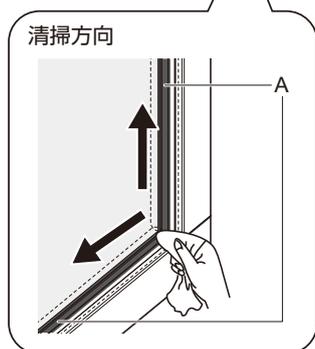
タッチパネル内蔵液晶ディスプレイは、赤外線をベゼル内側の受光部で検知しています。センサー部に埃などが付着するとタッチパネルの反応が悪くなったりする場合がありますので、定期的な清掃をお願いします。



A：センサー部

<お手入れの際の注意点>

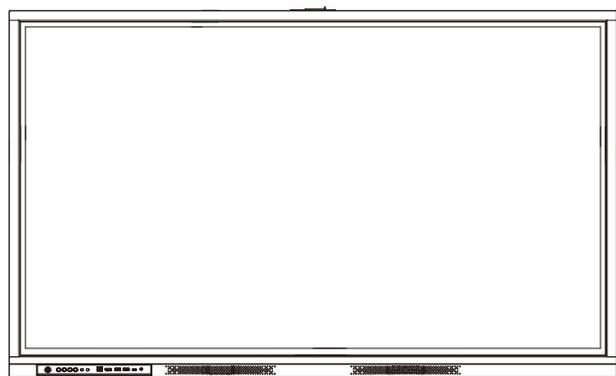
- センサー部が汚れた場合には、コーナーを始点に綿棒や乾いた布で軽くふきとってください。またきれいな布を使用されるとともに、同じ布の繰り返し使用はお避けください。
- センサー部は傷つきやすいので、固いもので押したりこすったりしないように、お手入れの際には十分注意してください。
- センサー部は触指などにより汚れることがないようにご注意ください。



付属品

梱包箱 * に以下のものが含まれていることをご確認ください。

- 液晶ディスプレイ
- モニター背面取付金具 x2 (製品に実装済)
- ネジ (M8x20mm) x4 (製品に実装済)
- 壁取付金具
- Wi-Fi モジュール
- アクセサリーボックス
 - セットアップマニュアル
 - 電源コード
 - USB ケーブル
 - リモコンおよび単 4 形乾電池 x2
 - Wi-Fi モジュール取付手順
 - HDMI ケーブル
 - スタイラスペン x2
 - ケーブルクランプ (両面テープ付き) x2
 - 壁取付金具設置書
 - USB Type-C ケーブル
 - 壁取付金具用ネジ類



液晶ディスプレイ



モニター背面取付金具 x2
(製品に実装済)



Wi-Fiモジュール



ネジ (M8x20mm) x4
(製品に実装済)



壁取付金具



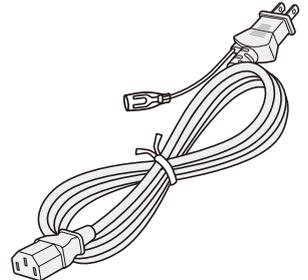
セットアップマニュアル



Wi-Fiモジュール取付手順



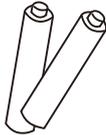
壁取付金具設置書



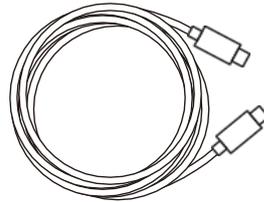
電源コード



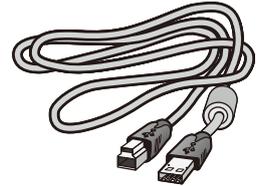
リモコンおよび
単4形乾電池 (x2)



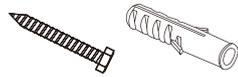
HDMIケーブル



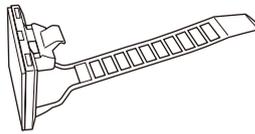
USB Type-Cケーブル



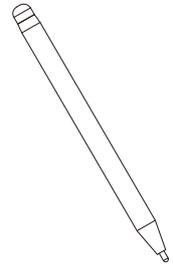
USBケーブル



壁取付金具用ネジ類
x8 x8



ケーブルクランプ (両面テープ付き) x2



スタイラスペンx2

アクセサリボックス

* 本機の移動、輸送時に備えて、梱包箱および緩衝材を保管しておいてください。

設置

設置の概要

設置の前に「安全のために必ず守ること」を必ずお読みください。

不適切な設置に起因する損傷は、保証書の対象範囲外です。

1. 設置する場所を決める

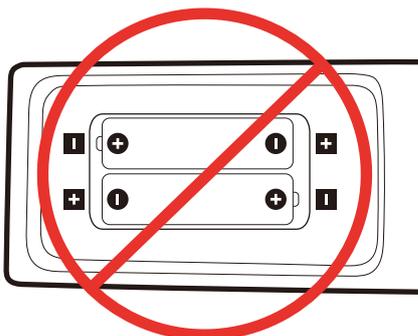
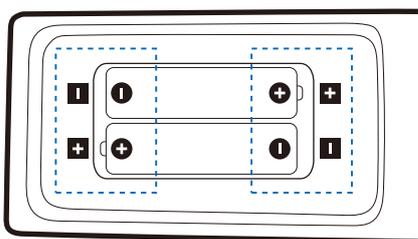
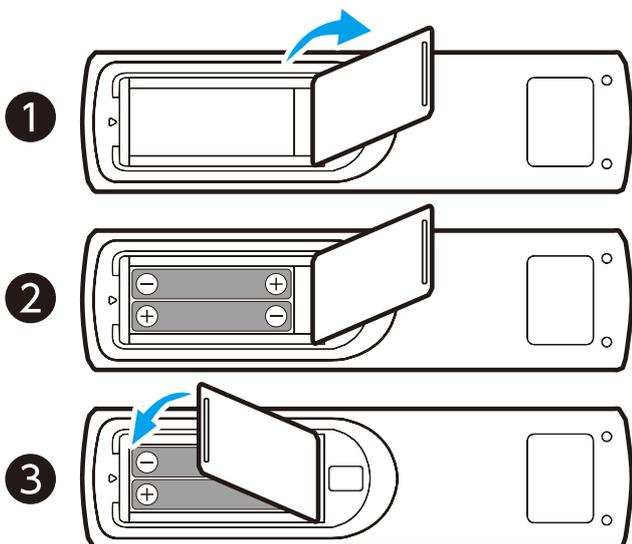
お願い

スタンドや取付金具などを取り付けるときは、液晶パネルに引っかき傷を付けないう、本機の下にマットや毛布など柔らかいものを敷いてディスプレイを置いてください。

2. リモコンに電池を入れる

単 4 形乾電池 2 つが必要です。

下図に従って電池を入れてください。



お願い

- リモコンに付属の乾電池は保存状態により短時間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- 長時間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出して保管してください。
- 電池は、アルカリ乾電池を使用してください。

3. 外部機器を接続する

- 接続する外部機器を保護するため、接続の際には主電源を切ってください。
- 接続する機器のそれぞれの取扱説明書に従って接続してください。

お願い

本機と外部機器の主電源がオンの場合、ケーブルを抜き差ししないでください。

ケーブル情報

注意

添付のケーブルを使用してください。

HDMI、USB、VGA はシールドタイプでコア付きケーブルを使用してください。

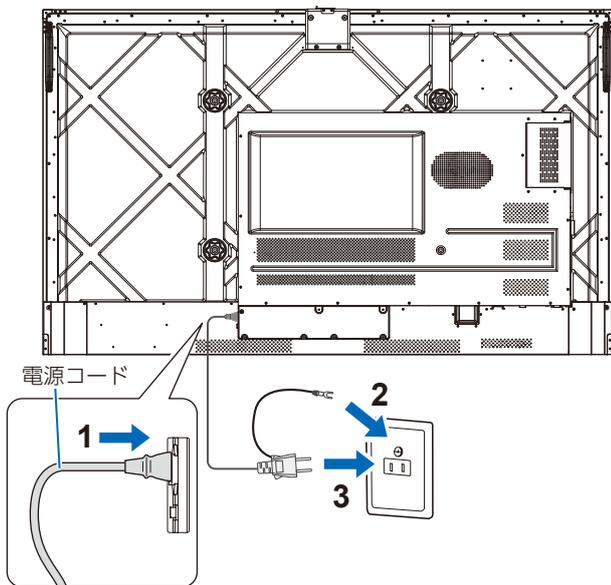
DisplayPort、USB Type-C、RS-232C はシールドタイプを使用してください。これ以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。

4. 電源コードを接続する

お願い

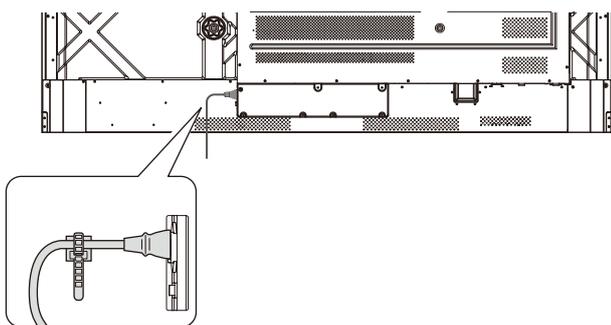
- 電源コンセントに接続するときは、本機の使用に十分な電力が供給されることを確認してください。本機の使用電力は「仕様」を参照ください。
- 電源コードは本機に接続してから電源コンセントに接続してください。

1. 電源コードの一方の端を、本体の電源入力コネクタに差し込む。
奥までしっかり差し込んでください。
2. アース線を（アースに）接続する。
3. 電源プラグを AC100 V 電源コンセントに接続する。



お願い

電源コードは、必ず付属のケーブルクランプで固定してください。固定するときは、電源コードの端子部分に力が加わらないようにしてください。また電源コードを無理に曲げないようにしてください。

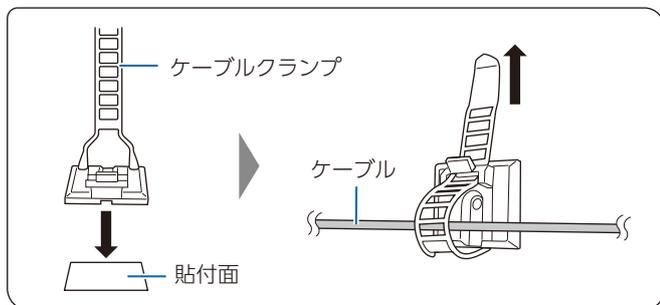


ケーブルの処理の仕方

電源コードや本機背面に接続したケーブルは、付属のケーブルクランプで固定することができます。

付属のケーブルクランプは、貼付面のほこりなどを取り除いてから平らな面に貼り付けてください。

通風口などには貼り付けしないでください。「各部の名称」16ページを参照ください。



5. 主電源スイッチをオンにする

本機の電源を入れてから、コンピューターや映像機器の主電源を入れる。

6. 接続した外部機器を操作する

接続した外部機器に対応する入力信号を選択して、外部機器からの映像をディスプレイに表示します。

7. 音声を調節する

必要に応じて音量を調節してください。

8. 画像を調節する

必要に応じて明るさやコントラストを調節します。

9. 長くお使いいただくために

ディスプレイに使用しているバックライトには寿命があり、バックライトの明るさは使用時間に応じて低下します。

また、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残る「残像」という現象が発生する場合があります。

残像は画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなります。

本機を長くご使用いただくために、次の点にご注意ください。

- 使用していないときは本機の主電源を切ってください。
- 本体の **U** ボタン (16 ページ参照) で本機をスリープモードにしてください。
- OSD 調節リストの「設定」－「パワー」(76 ページ参照) を使用してください。信号が入力されないときに自動的にパワーセーブモードに切り替わります。
- コンピューターのパワーマネジメント機能を利用したり、ディスプレイの輝度を低くするなどして内部温度の上昇を防いでください。
- OSD 調節リストの「設定」－「パワー」を使用して、使用する時間に合わせて自動的に電源をオンまたはシャットダウン状態にしてください。

お願い

「パワー」を使用する場合は、必ず「日付と時刻」(76 ページ参照) を設定してください。

設置（お客様へ）

設置業者の紹介につきましては、販売店へご相談ください。壁掛けや天吊り設置に関する設置業者との契約につきましてはお客様の責任においてご契約ください。

設置後のメンテナンス

- ねじのゆるみや部品のずれ・ゆがみなど異常や不具合が発見された場合には、すぐに工事専門業者または販売店に修理を依頼してください。
- 環境によっては経年変化で取り付け部などの強度が不足するおそれがあります。定期的に工事専門業者に点検を依頼し、メンテナンスをしてください。

なお、据え付け・取り付けの不備、誤使用、改造、天災などによる事故損害については、当社は一切責任を負いません。設置の依頼にあたっては「設置（設置業者様へ）」の注意点を設置業者にご提示ください。

設置（設置業者様へ）

壁や天井に本機を設置する際には、本機および金具類などの重量を支えるのに十分な強度があることを確認してください。本機の質量は「仕様」を参照ください。

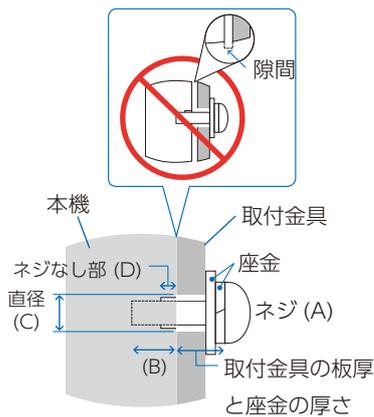
誤った設置、改造、自然災害による損傷につきましては、保証の対象範囲外です。

推奨事項に従わなかった場合、保証書は無効になることがあります。

設置の場所や状態によって本機内部に熱がこもらないように、空調や通風には十分配慮してください。

取付金具について

- 通風口を取付金具などの器具でふさがないようにご注意ください。
- 取付穴は背面に4個あります。取り付けの際は上下左右均等に取付けてください。
(推奨取り付け例は「壁掛け用や天吊り用として使用する場合」を参照ください)
- ディスプレイへの金具の取り付けには以下のサイズのネジを使用し、しっかりと締めてください。



ネジサイズ	ネジ穴直径	ネジなし部	締付トルク
(A)	(B)	(C)	(D)
M8(4本)	14 ~ 22 mm	≦ Ø 8.5 ~ Ø 12 mm	1.5 mm
			1000 ~ 1200 N・cm

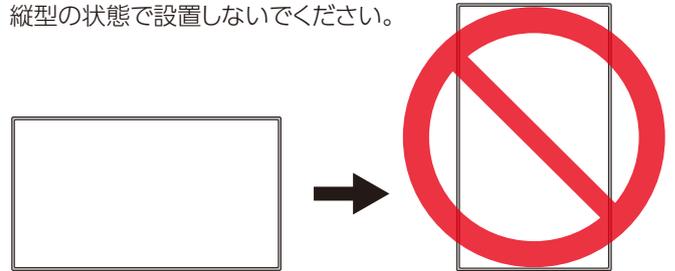
落下防止対応のお願い

- ディスプレイを壁掛けや天吊りで設置する場合は、落下防止用ワイヤーを設置してください。
- 本体背面にある2つのハンドルに落下防止ワイヤーを取り付けてください。

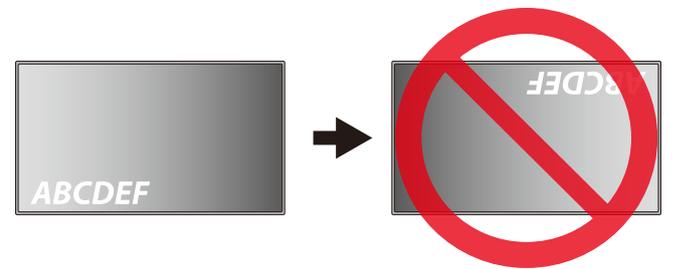
取り付け向きについて

本機は縦型の状態で使用することはできません。縦型の状態で設置すると、故障の原因となります。

縦型の状態で設置しないでください。



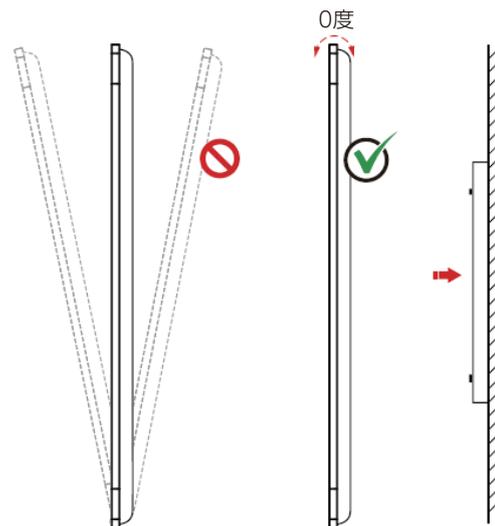
上下逆さまに設置しないでください。



本機は床面に対して垂直置きになるように設置してください。傾けた状態で使用することはできません。

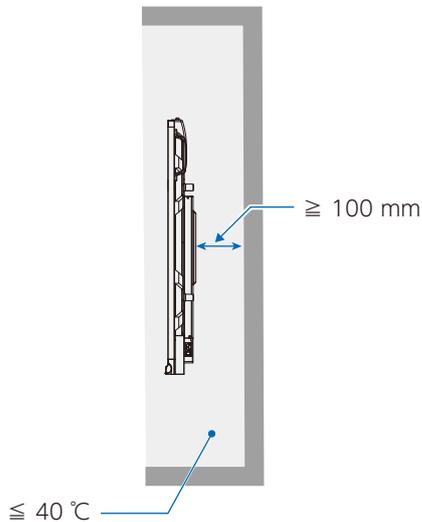
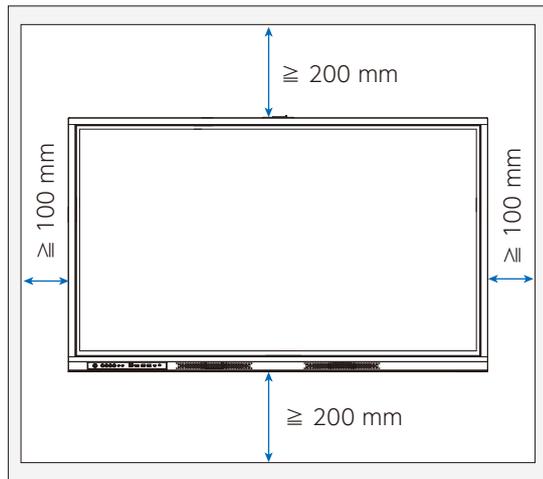
お知らせ

傾けた状態で設置すると、故障の原因となります。



据付条件

熱がこもるのを防ぐため、狭い場所（壁埋め込みなど）に設置する場合は、ディスプレイの周囲は下図のように壁から離してください。



お知らせ

本機の使用環境温度の最大値は 40℃です。本機は温度センサーを内蔵しています。

お願い

内部温度が高温になると「警告」が表示されます。「警告」が表示されたら本機の使用を中止して電源を切り、温度が下がるのを待ってください。

壁掛け用や天吊り用として使用する場合

設置時の注意事項

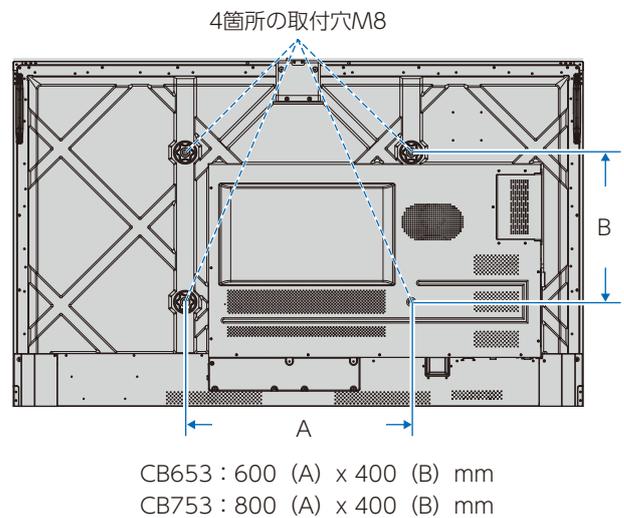
- 設置する際は、お買い上げの販売店までご相談ください。
- 壁や天井などに取り付ける際は、本機と取り付け金具を合わせた4倍の質量に耐える場所（コンクリートの壁や柱など）に取り付けてください。本機の質量は「仕様」を参照ください。

設置方法

1. 机の上のような平らな場所にマットや毛布など柔らかいものを敷きます。

お願い

- 必ずディスプレイより大きい場所の上に置いてください。
 - 取り付け時に、本機に手を置いたり、力をかけたりしないでください。ディスプレイが変形するおそれがあります。
2. ディスプレイをその上に置きます。
 3. 取付金具を取り付けてください。



別売の自立スタンドを使用する場合

自立スタンドの取り付け

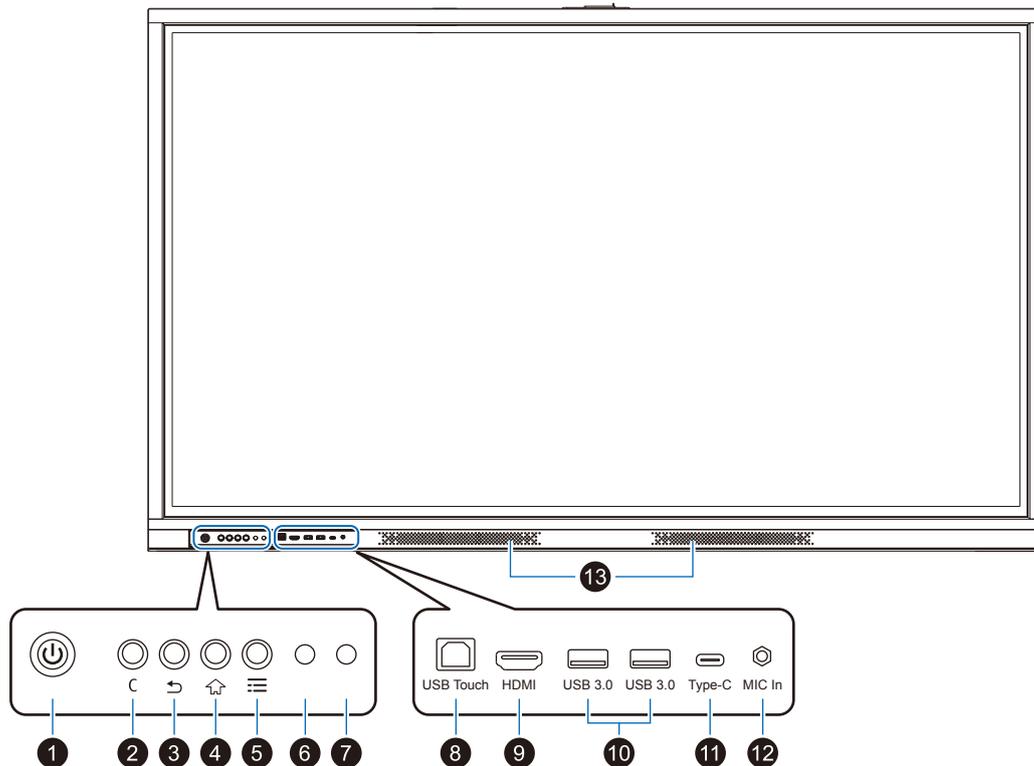
スタンドの取り付けにはスタンドの取扱説明書を良くお読みください。

お知らせ

横型設置のみ対応です。

各部の名称

コントロールパネル / ターミナルパネル



① 冫 ボタン (電源ボタン) / 電源ランプ

電源をオン、オフします。

短く押す： 電源をオンします。電源ランプは白色に点灯します。
電源オン時に押すと、スリープモードに入ります。
電源ランプは赤色と白色が交互に点滅します。

2 秒以上長押し： シャットダウン状態になります。

電源ランプは赤色に点灯します。

電源ランプについては、電源ランプ (28 ページ) を参照ください。

② C ボタン

指定された機能を実行します。

お知らせ

C ボタン機能は「設定」－「入出力設定」－「C ボタン機能割り当て」で設定できます。

③ 冫 ボタン

一つ前の画面に戻るか、アプリを終了します。

④ 冫 ボタン

ホーム画面 (32 ページ参照) に戻ります。

⑤ 冫 ボタン

Quick settings (35 ページ参照) を開きます。

5 秒以上長押しすると、チャイルドロック機能をオン / オフします。

有効にすると、タッチ操作とコントロールパネル (電源ボタン以外) のボタンが操作できなくなります。

⑥ リモコン受光部

リモコンの信号受光部です。

⑦ 外光センサー

周囲の明るさを検知するセンサーです。

ホーム画面の「設定」－「インテリジェントアイプロテクション」－「目の保護と光の制御」で「オン」(75 ページ参照) を設定した場合に使用します。
「オン」選択時にはセンサーが障害物の陰にならないよう注意してください。

⑧ USB Touch ポート (前面) (USB Touch)

HDMI (前面) 入力に接続したコンピュータでタッチパネルや USB ポート (USB 2.0 Embedded ポートを除く) を使用するとき、USB ケーブルをコンピュータに接続します。

⑨ HDMI 入力コネクタ (前面) (HDMI)

コンピュータやセットトップボックス、映像機器などの HDMI コネクタと接続します。

⑩ USB 3.0 ポート (USB 3.0)

最大 0.9A の電源供給に対応しています。

外付けハードディスク、USB ストレージデバイス、USB キーボード、USB マウス、USB ドライブ、USB 機器を接続します。(「USB 機器との接続」22 ページ参照)

⑪ Type-C ポート (Type-C)

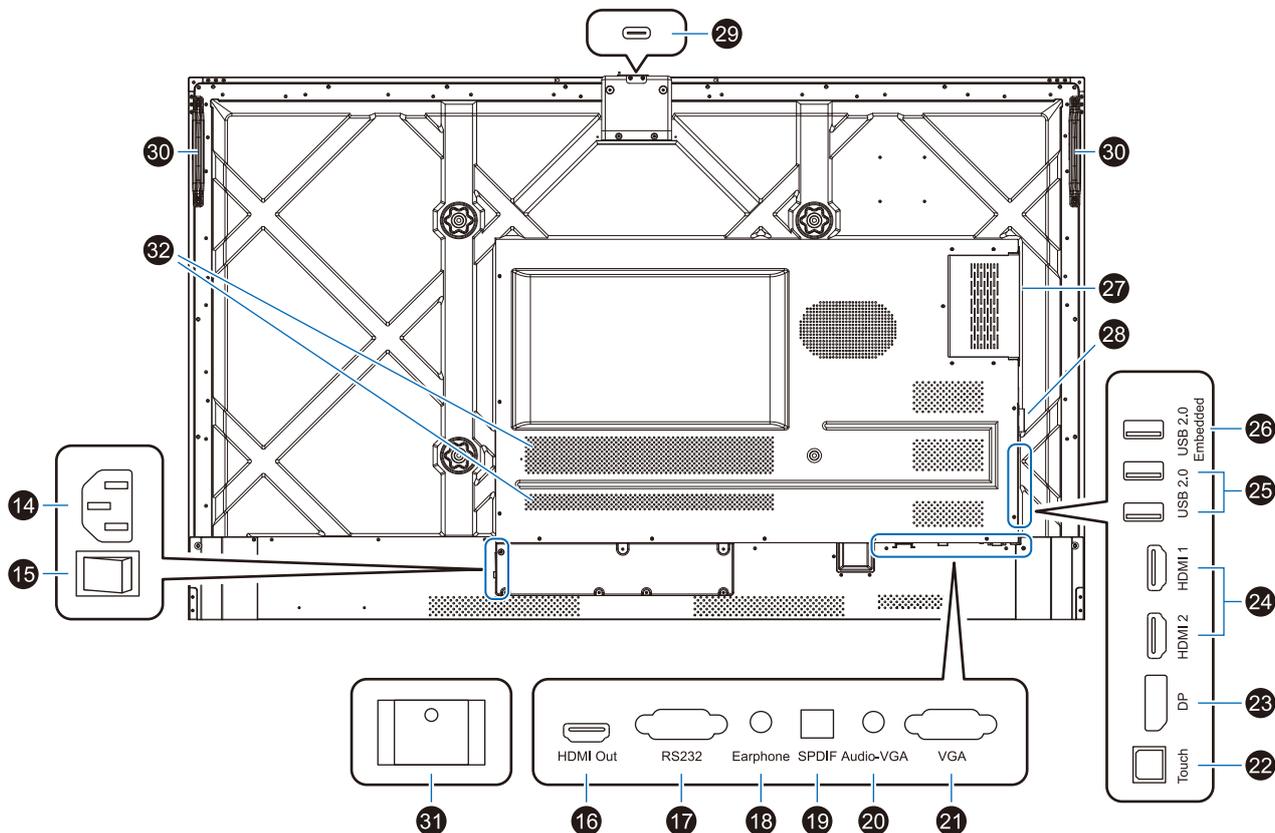
最大 65W の電源供給に対応しています。

USB Type-C ケーブルを接続する際は、端子形状が合っていることを確認してください。

⑫ マイク端子 (MIC In)

マイクを接続します。

⑬ 内部スピーカー



14 電源入力コネクタ (3 極アース端子付き)

電源コードを接続します。

15 主電源スイッチ

主電源をオン/オフするときに押します。

| : オン ○ : オフ

出荷時はオフになっています。

16 HDMI 出力コネクタ (HDMI Out)

HDMI 信号を出力します。

17 RS232C コネクタ (RS232)

外部機器とデータ信号を送受信するためのシリアルインターフェースです。

18 イヤホン端子 (Earphone)

ヘッドホン機器を接続します。

お知らせ

- 本機に接続できるのは、ステレオミニプラグ付のヘッドホンです。お持ちのヘッドホンのプラグが大きくて入らないときは、市販の「ステレオ標準プラグ→ステレオミニプラグ」変換プラグをお買い求めください。
- ヘッドホンを接続するとスピーカーからの音が消えます。

19 SPDIF コネクタ (SPDIF)

光デジタル音声入力端子を備えたオーディオ機器等に接続します。

20 VGA 信号音声入力コネクタ (Audio-VGA)

外部コンピューターの音声信号を入力します。

21 VGA 入力コネクタ (VGA)

外部コンピューターの映像信号を入力します。

22 Touch ポート (背面) (Touch)

HDMI1、HDMI2、DisplayPort、VGA 入力コネクタに接続したコンピュータでタッチパネルや USB ポート (USB2.0 Embedded ポートを除く) を使用するとき、USB ケーブルをコンピュータに接続します。

23 DisplayPort 入力コネクタ (DP)

デジタル映像インターフェースの DisplayPort 出力コネクタと接続します。

24 HDMI 入力コネクタ 1/2 (HDMI1/HDMI2)

デジタル映像インターフェースの HDMI 規格に準拠した機器と接続します。

ARC (オーディオリターンチャンネル) 対応のオーディオ機器は HDMI1 に接続してください。

25 USB 2.0 ポート (USB 2.0)

最大 0.5A の電源供給に対応しています。

外付けハードディスク、USB ストレージデバイス、USB キーボード、USB マウス、USB ドライブ、USB 機器を接続します。(「[USB 機器との接続](#)」22 ページ参照)

26 USB 2.0 Embedded ポート (USB 2.0 Embedded)

常時本機内に接続されている USB ポートです。

外付けハードディスク、USB ストレージデバイス、USB キーボード、USB マウス、USB ドライブ、USB 機器を接続します。

27 拡張スロット (OPS)

市販の拡張ボードを利用して、機能を拡張する際に使用します。「入力」で「内蔵 PC ユニット」を選択すると拡張ボード (OPS) に接続します。

28 Wi-Fi モジュール用スロット

同梱の Wi-Fi モジュール用スロットです。

29 カメラ用 USB Type-C ポート

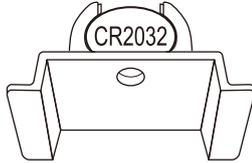
30 ハンドル

31 バッテリースロット

コイン形リチウム電池用スロットです。

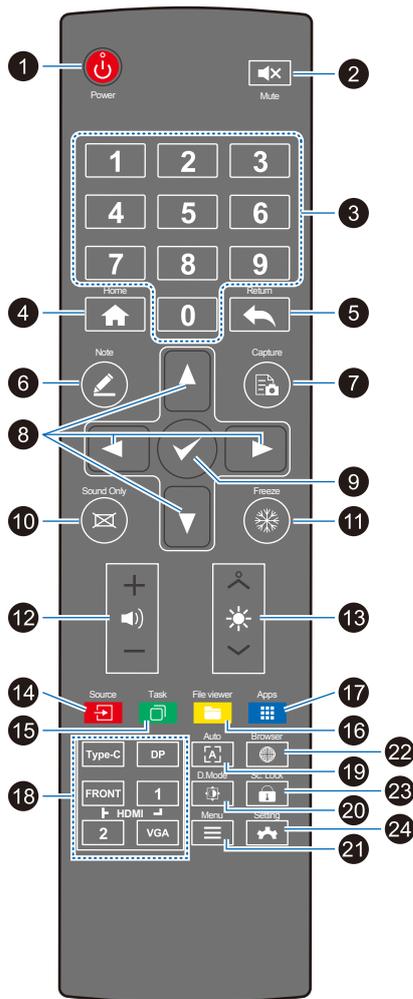
本機をインターネットに接続しない場合は、日付と時刻を保持するために市販の電池（CR2032）を入れてください。

この場合、OSD 調節リストの「設定」－「日付と時刻」－「日付と時刻を自動的に決定します」の設定を「オフ」にし、「日付設定」と「時刻設定」で日付と時刻を手動で設定してください（76 ページ参照）。



32 通風口

リモコン



① 電源ボタン

電源をオン/オフします。

② 音声ボタン

音声をミュートします。

③ 数字ボタン

数字を入力します。

④ ホームボタン

ホーム画面に戻ります。詳細は [32 ページ](#) を参照ください。

⑤ 戻るボタン

一つ前の画面に戻るか、アプリを終了します。

⑥ ノートボタン

ホワイトボードアプリを起動します。詳細は [39 ページ](#) を参照ください。

⑦ キャプチャボタン

スクリーンショットを撮ります。

⑧ 方向ボタン

項目選択、調節値の変更などに使用します。

⑨ チェックボタン

選択を決定 / OK します。

⑩ 音声のみボタン

音声のみを出力します。

⑪ 星ボタン

一度押すと、現在の画面を静止します。もう一度押すと静止を解除します。

⑫ 音量ボタン

音量を調節します。

⑬ 明るさボタン

明るさを調節します。

⑭ 入力選択ボタン

入力選択画面を表示します。

⑮ アプリボタン

現在起動しているアプリを表示します。

⑯ ファイル管理ボタン

ファイル管理アプリを起動します。詳細は [50 ページ](#) を参照ください。

⑰ アプリボタン

すべてのプリインストールアプリを表示します。

⑱ 入力切替ボタン

自動補正画面を表示します。(アナログ入力の場合)

⑲ 自動補正ボタン

バックライトモードを変更します。

⑳ 設定ボタン

Quick settings を表示します。詳細は [35 ページ](#) を参照ください。

㉒ ブラウザーボタン

ブラウザーアプリを開きます。

㉓ ロックボタン

チャイルドロック機能をオン / オフします。

㉔ 設定ボタン

設定ページに移動します。詳細は [74 ページ](#) を参照ください。

接続と設定

配線図

お願い

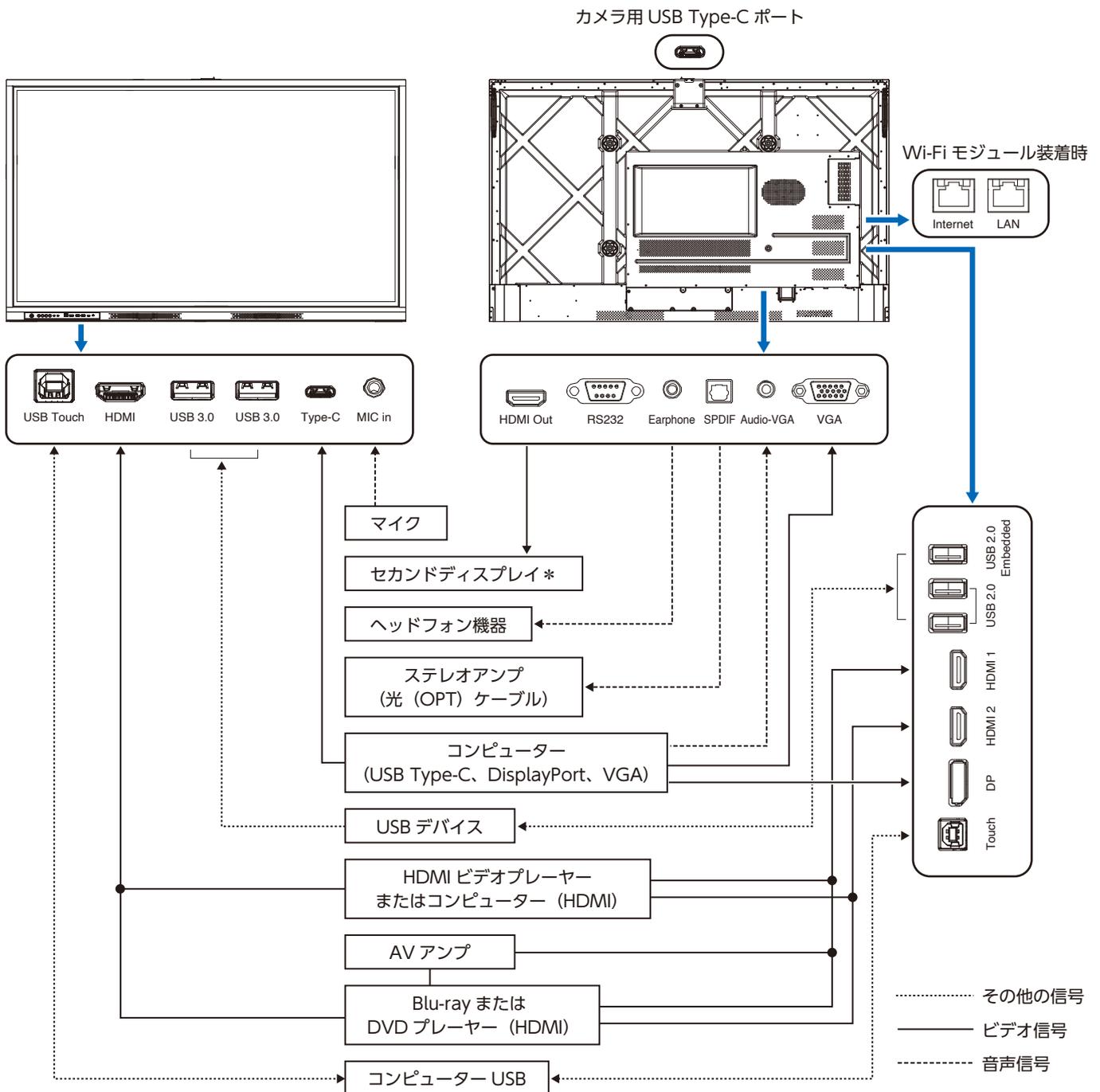
本機または外部機器の主電源がオンの場合、ケーブルを抜き差ししないでください。

接続する前に

- ・ コンピューターに接続する前に、本機、コンピューターおよび周辺機器の主電源を切ってください。
- ・ それぞれの機器の取扱説明書を参照してください。

お知らせ

- ・ 接続するオーディオ機器端子の形状がステレオミニジャックの場合は、オーディオケーブルは抵抗なしを使用してください。
- ・ 抵抗ありのオーディオケーブルを使用した場合、音量が大きくならなったり、音が出ない場合があります。
- ・ USB ストレージデバイスは本機の主電源がオフのときに抜き差しすることをおすすめします。



*: 複数のディスプレイをデジーチェーン接続する場合には、接続可能なディスプレイの数に制限があります。

接続の前に

- すべての機器の電源をオフにしてから接続してください。
- 接続するそれぞれの機器の取扱説明書を参照してください。
- USB ストレージ機器の接続や取り外しは、ディスプレイの主電源がオフの状態でおこなうことを強くおすすめします。

接続する機器	接続する端子	入力信号名	接続する音声端子
AV	HDMI (前面)	HDMI (前面)	HDMI (前面)
	HDMI1	HDMI1	HDMI1
	HDMI2	HDMI2	HDMI2
	DisplayPort	DisplayPort	DisplayPort
コンピュータ	拡張スロット (OPS)	内蔵 PC ユニット	内蔵 PC ユニット
	Type-C	USB TYPE-C	Type-C
	HDMI (前面)	HDMI	HDMI (前面)
	HDMI1	HDMI1	HDMI1
	HDMI2	HDMI2	HDMI2
	DisplayPort	DisplayPort	DisplayPort
	VGA	VGA	Audio-VGA

入力信号ごとに正しい設定をしてください。

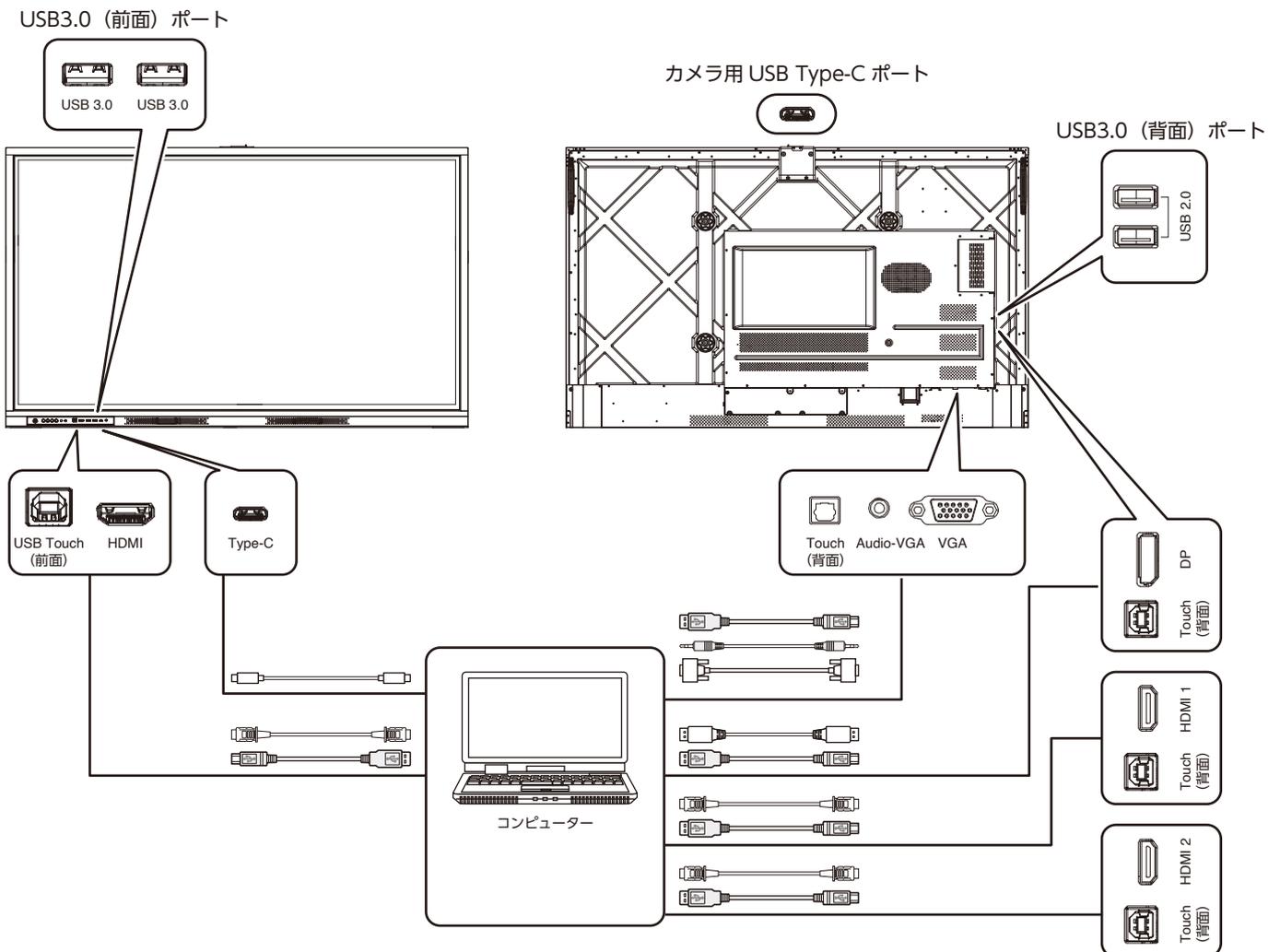
外部コンピューターとタッチ接続

USB 2.0 Embedded ポートに接続する場合

USB2.0 Embedded ポートに接続した USB 機器は、本機内のアプリケーションで常時使用できます。本ポートに接続した USB 機器は、本機に接続したコンピューターや拡張ボード (OPS) で使用することはできませんのでご注意ください。

USB 3.0ポート(前面)/USB 2.0ポート(背面)/カメラ用USB Type-Cポートに接続する場合

本機の入力選択にて Home 画面を選択した場合、本機内のアプリケーションで USB 機器を使用できます。それ以外の入力を選択した場合、表のように USB 機器は外部に接続されます。



ホーム画面 / 入力選択	USB 3.0 ポート (前面) / USB 2.0 ポート (背面) / カメラ用 USB Type-C ポートの接続先
ホーム画面	本機内のアプリケーション
内蔵 PC ユニット	拡張スロット (OPS) に接続した拡張ボード (OPS)
USB TYPE-C	Type-C に接続したコンピューター
HDMI (前面)	USB Touch (前面) に接続したコンピューター
HDMI1	Touch (背面) に接続したコンピューター
HDMI2	
DisplayPort	
VGA	

USB機器との接続

本機は、以下の USB ポートを装備しています。

- USB 3.0/USB 2.0:** USB ダウンストリームポート (Type-A)。
最大 0.9A (USB 3.0)、0.5A (USB 2.0) の電源供給に対応しています。
外付けハードディスク、USB ストレージデバイス、USB キーボード、USB マウス、USB ドライブ、USB 機器を接続します。
- 入力が HDMI (前面) のときは、USB Touch (前面) に接続したコンピューターの USB ポートとして利用できます。
 - 入力が HDMI1、HDMI2、DisplayPort、VGA のときは、Touch (背面) に接続したコンピューターの USB ポートとして利用できます。
 - 入力が Type-C のときは、Type-C ポートに接続したコンピューターの USB ポートとして利用できます。
 - ホーム画面を選択しているときは本機の USB ポートとして利用できます。
 - 入力が内蔵 PC ユニットのときは、拡張スロット (OPS) に接続したコンピューターの USB ポートとして利用できます。

お願い

- USB ストレージデバイスを接続している場合は、ホーム画面から入力への切り替えや、入力間の切り替えはおこなわないでください。
- USB ストレージデバイスのデータが破損する恐れがあります。
- USB ストレージデバイスを取り外してから入力を切り換えてください。

USB 2.0 Embedded: USB ダウンストリームポート (Type-A)。
常時本機内に接続されている USB ポートです。
本機から USB ストレージデバイスにデータを保存する場合は、本ポートに USB ストレージデバイスを接続してください。

USB Touch (前面) / Touch (背面): USB アップストリームポート (Type-B)。
HDMI、HDMI1、HDMI2、DisplayPort、VGA 入力コネクタに接続したコンピュータでタッチパネルや USB ポート (USB 2.0 Embedded ポートを除く) を使用するとき、USB ケーブルをコンピュータに接続します。

お願い

- USB ストレージデバイスは必要に応じてウイルスチェックを実施してください。
- USB ケーブルのコネクタ形状および向きをよく確かめてから接続してください。
- 本機の電源がオンのときに USB ストレージデバイスを本機に接続 / 取り外ししないでください。
本機の故障や USB ストレージデバイスに保存されたファイルの破損を避けるために、本機の電源がオフのときに USB ストレージデバイスの接続 / 取り外しをすることをおすすめします。

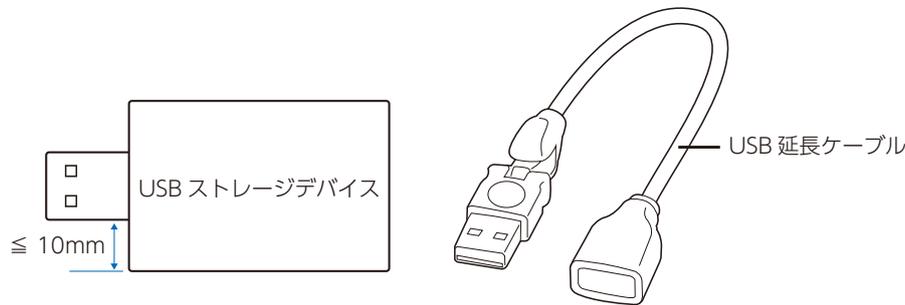
対応USBストレージデバイス

本機に接続した USB ストレージデバイスが認識されない場合は、フォーマット形式を確認してください。使用する USB ストレージデバイスは、FAT32 にしてください。フォーマット方法については、お使いの Windows® の取扱説明書またはヘルプファイルを参照ください。

使用する USB ストレージデバイスのサイズは下図を参照ください。

これより大きいサイズを使用する場合は市販の USB 延長ケーブルをご使用ください。

本体の USB ポートに USB ストレージデバイスを接続してください。



お知らせ

市販されているすべての USB ストレージデバイスの動作を保証するものではありません。

USB Type-C でコンピューターに接続する

- USB Type-C ケーブルは付属のケーブルをご使用ください。付属以外のケーブルを使用した場合、機能・性能が発揮されない場合があります。
- 高解像度デジタルビデオ / オーディオ信号のコンピューターへの接続をサポートします。
- Hi-Speed USB (USB 2.0) ケーブルまたは充電ケーブルは、ビデオ / オーディオ伝送をサポートしていません。
- ビデオ / オーディオ伝送に Type-C ポートを使用する場合は、DisplayPort Alt Mode 対応のコンピューターポートを使用してください。
- HDMI Alt Mode または MHL はサポートされていません。
- コンピューターのバッテリー充電 (USB Power Delivery) を使用する場合は、USB Power Delivery に対応したコンピューターとケーブルを使用してください。
- 本機がコンピューターに認識されるまで数秒かかる場合があります。信号が認識されるまで、USB ケーブルを抜き差ししないでください。

HDMI 出力機器との接続

本機は HDMI 出力付きプレーヤーやコンピューターなどと接続して使用することができます。詳しくは、プレーヤーなどの取扱説明書を参照ください。

- HDMI ケーブルは付属のケーブルをご使用ください。
- HDMI 機器によっては、映像が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- ビデオカードまたはドライバーによっては映像を正しく表示することができない場合があります。
- 接続しているコンピューターの電源を入れ、その後に本機の主電源を入れると映像が表示されないことがあります。その場合は、接続しているコンピューターの電源を入れ直してください。

DisplayPort 出力機器との接続

本機は DisplayPort 出力付きコンピューターなどと接続して使用することができます。

詳しくは各コンピューターの取扱説明書を参照してください。

- DisplayPort ケーブルは DisplayPort 認証ロゴがついているものを使用することを推奨します。
- コンピューターによっては、映像が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- DisplayPort ケーブルはロック付きのものがあります。ケーブルを取り外す際は、ケーブルコネクタ上部にあるボタンを押しながら、ケーブルを抜いてください。
- 信号変換アダプターを使用した機器からの信号を DisplayPort に接続しても映像が表示されない場合があります。
- 接続しているコンピューターの電源を入れ、その後に本機の主電源を入れると映像が表示されないことがあります。その場合は、接続しているコンピューターの電源を入れ直してください。

VGA 出力機器との接続

コンピューターとの接続に用いられるアナログ映像信号をサポートします。音声の出力にはオーディオケーブルを接続してください。

HDMI 出力端子のある機器との接続

Blu-ray プレーヤー、ストリーミングメディアプレーヤーやゲーム機器などの高品質の映像と音声を 1 本の HDMI ケーブルで接続して使用することができます。接続した映像機器が 4K UHD の品質に対応している場合、コンテンツは 4K UHD で表示されます。本機の映像入力機能は HDCP (High-Bandwidth Digital Content Protection) で保護された映像コンテンツに対応しています。

お知らせ

- 対応信号は対応信号一覧 (91 ページ) を参照ください。
- HDMI ケーブルを接続するときは、HDMI 機器と本機の電源をオフにします。
- HDMI の仕様により、お使いの HDMI ケーブルや HDMI 機器では映像を正しく表示することができない場合があります。
- HDCP の規格が変更された場合など、本機が故障していなくても、デジタル入力信号の映像が表示されないことがあります。

ARC 機能のあるオーディオ機器との接続

付属の ARC 対応 HDMI ケーブルを使用して本機の HDMI1 コネクタと ARC 対応のオーディオ機器を接続することにより、オーディオ機器に接続しているスピーカーから音声を聴くことができます。

- HDMI1 コネクタから出力される音声信号には、Quick settings の「音量」での設定は反映されません。
- ARC が有効になっているとき、本機内蔵のスピーカーまたは本機に接続した外部スピーカーから音声は出力されません。

HDMI-CEC (Consumer Electronics Control)

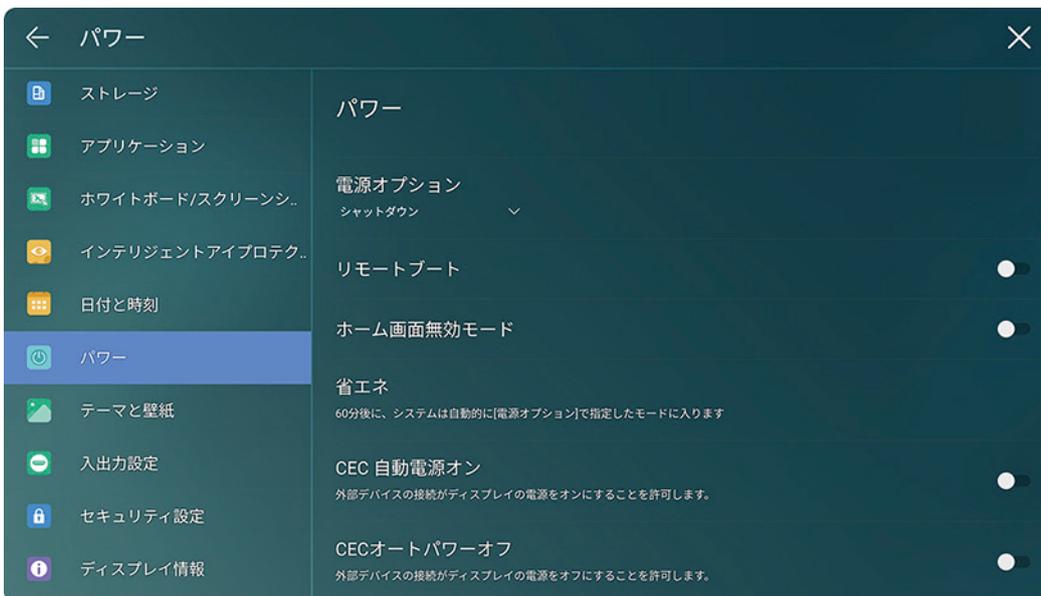
HDMI-CEC により、HDMI ケーブルで接続した映像機器と本機との間のコントロール連携が可能になります。例えば、Blu-ray プレーヤーの電源をオンにするとディスプレイの電源もオンになり、リモコンを使わずに映像入力を Blu-ray プレーヤーに切り替えることができます。ただし、すべての機器間でコントロールが連携されるわけではなく、映像機器のメーカーによっては自社製のディスプレイやテレビのみにコントロールを連携する場合があります。

お知らせ

OSD 調節リストの「設定」で CEC に関する設定を連携することができます。

CEC を有効にする

1. HDMI-CEC 対応機器を HDMI (前面)、HDMI1、HDMI2 コネクタのいずれかに接続する。
2. 「入力」を HDMI-CEC 機器を接続したコネクタに設定する。
3. 以下いずれかの方法で設定画面を開く。
 - ホーム画面 (32 ページ参照) の  をタッチする。
 - リモコン (19 ページ参照) の  ボタンを押す。
 - Quick settings (35 ページ参照) の  をタッチする。
4. 「パワー」をタッチし、「CEC オートパワーオン」を「オン」にする。



ネットワークとの接続 (Wi-Fi モジュール装着時)

有線 LAN によるインターネット接続、およびコンピュータとの接続

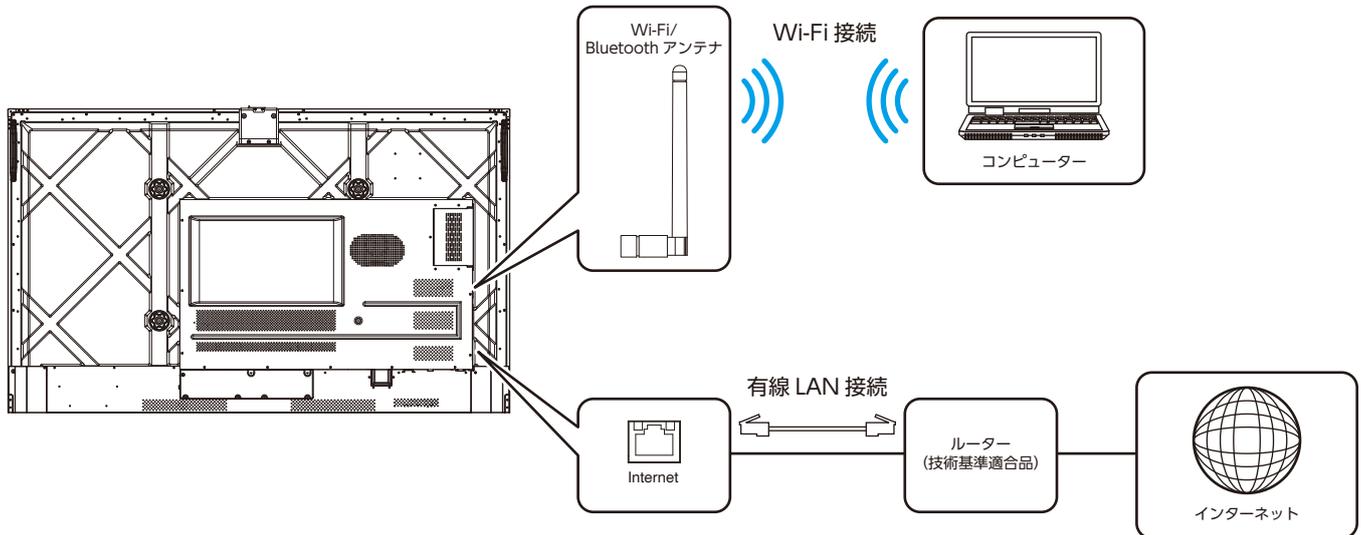
有線 LAN をインターネットに接続されたルーター (技術基準適合品) に接続してインターネットにアクセスできます。

さらに、本機のホットスポット機能をオンにしコンピュータを本機に Wi-Fi 接続すると、本機に接続したコンピュータからインターネットにアクセスできます。

お知らせ

本機の有線 LAN ポートは公衆回線 (電気通信事業者から貸与またはレンタルされたルーターを含む) に直接接続することを意図して設計されていません。

そのため有線 LAN ポートを公衆回線に直接接続することは電気通信事業法で禁止されています。



Wi-Fi によるインターネット接続、およびコンピュータとの接続

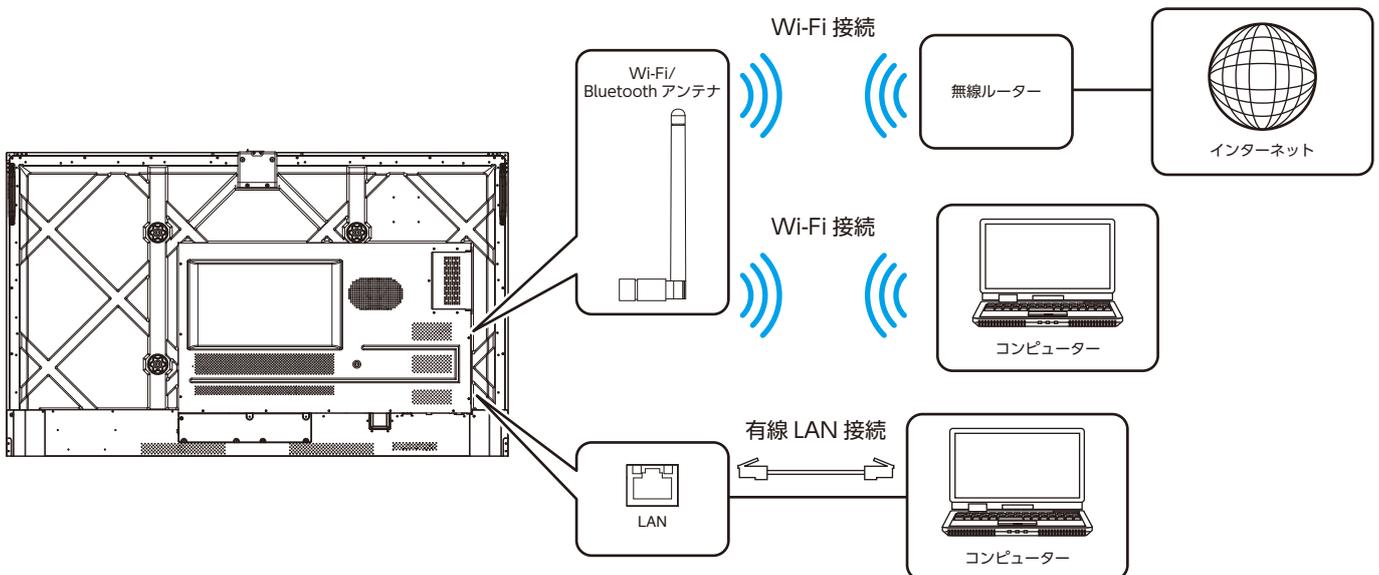
インターネットに接続された無線ルーターに Wi-Fi による接続でインターネットにアクセスできます。

本機のホットスポット機能 (74 ページ) をオンにしコンピュータを本機に Wi-Fi 接続すると、本機に接続したコンピュータからインターネットにアクセスできます。

さらに、コンピュータを本機に有線 LAN 接続してから、本機のテザリング機能を「オン」にすると、本機に接続したコンピュータからインターネットにアクセスできます。

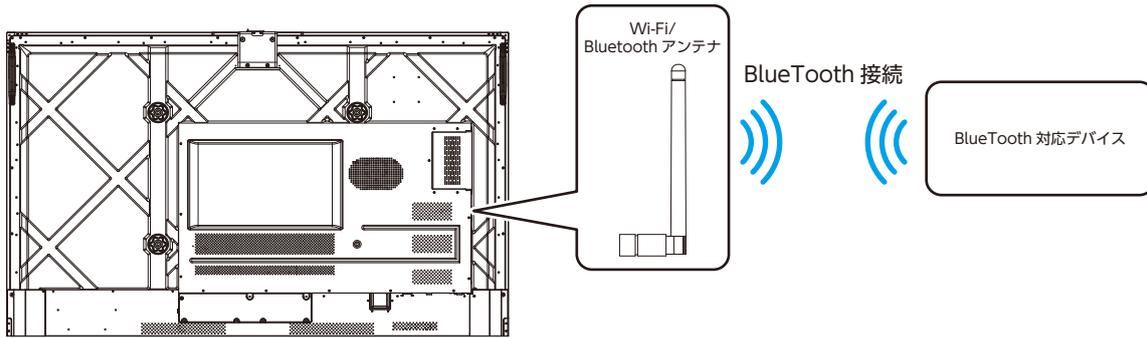
お知らせ

インターネットへの有線 LAN 接続と有線 LAN によるテザリングは同時に使用することはできません。



Bluetooth との接続 (Wi-Fi モジュール装着時)

Bluetooth で Bluetooth 対応デバイスに接続できます。



ネットワーク設定

設定画面に入るには以下の方法があります。

- HOME 画面左側の  をタッチする。
- リモコン (19 ページ参照) の  ボタンを押す。
- 2本の指で画面の下部から上にスワイプし、Quick settings (35 ページ参照) を表示する。Quick settings の  をタッチする。

「 ネットワーク」をタッチすると、ネットワークの状態確認、LAN と Wi-Fi に関する設定ができます。

設定項目	機能
状態	IP アドレス、MAC アドレス、マスク、ゲートウェイ、稼働時間を表示します。
LAN 設定	有線 LAN のオン / オフと、IP アドレスを自動取得設定か、固定 IP の設定をします。
Wi-Fi	Wi-Fi のオン / オフ設定と、Wi-Fi の接続設定をします。
プロキシ設定	プロキシサーバーの設定をします。
LAN 経由でウェイクアップ	LAN 経由でウェイクアップ機能をオン / オフします。
アクセスポイントとテザリング	ポータブル Wi-Fi ホットスポット、イーサネットテザリングのオン / オフと、Wi-Fi ホットスポットの設定をします。



お知らせ

- インターネットへの有線 LAN 接続と有線 LAN によるテザリングは同時に使用することはできません。有線 LAN 接続を使用する場合は、「イーサネットテザリング」を「オフ」にしてください。
- 「イーサネットテザリング」は工場出荷状態では「オフ」になっています。「オン」にするとインターネットへの有線 LAN 接続は自動的に切断されます。

「Bluetooth」をタッチすると、Bluetooth のオン / オフを設定でき、オンにすると Bluetooth によるファイルの送受信をおこなうことができます。



基本操作

電源ランプ

電源ランプの状態	本機の状態
白色点灯	動作中または起動中
赤色点灯	シャットダウン（電源オフ）
白と赤で交互に点滅	スリープモード（バックライト消灯）

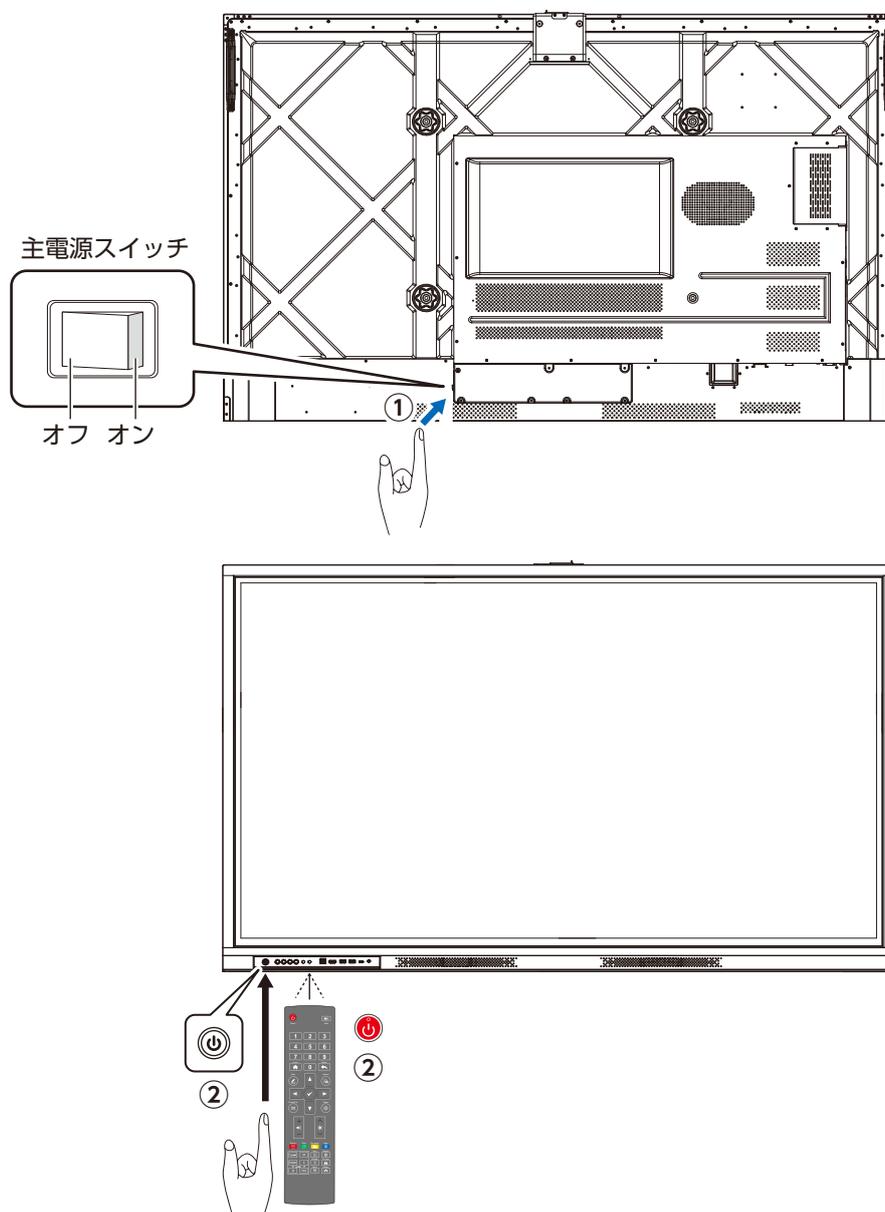
電源オンと電源オフ

電源オン

本機の電源がオンのとき、電源ランプが白色に点灯します。

お知らせ

主電源スイッチをオンにしておくと、リモコンや本機コントロールパネルの電源ボタンで本機の電源をオンにすることができます。



電源オフ

1. コントロールパネルの  ボタンを長押しするか、リモコンの  ボタンを押し、「電源を切る」画面を表示する。
2. 「キャンセル」をタッチすると元に戻り、「OK」をタッチすると電源をオフし電源ランプが赤色に点灯します。



3. 完全に電源を切る場合は、背面の主電源スイッチをオフにし、電源コードを抜く。

お知らせ

- 拡張ボード (OPS) 装着時は、拡張ボード (OPS) の電源もオフになります。
- 電源コードを抜く前に本機の電源を正しくオフしてください。故障の原因になることがあります。
- 短時間で電源のオン / オフを繰り返すと、故障の原因となります。

リモコンの使用範囲

リモコンの操作をするときは本機のリモコン受光部の方向にリモコンの先を向けてください。

リモコンは、リモコン受光部から 7 m 以内、上下 15°、左右 30°では 5 m 以内でご使用ください。

お知らせ

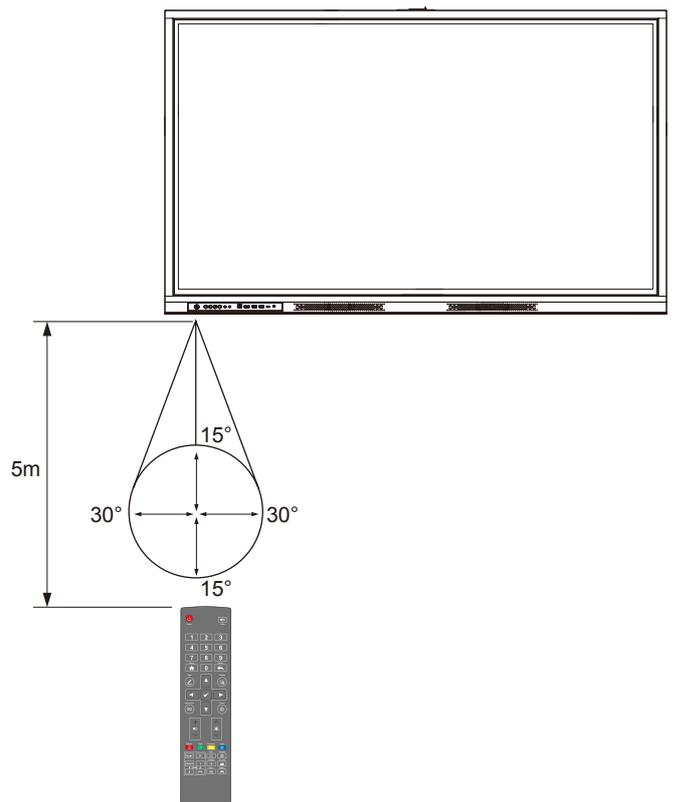
リモコンの使用については「リモコンが反応しない」(89 ページ) をあわせて参照してください。

リモコンの取り扱いについて

- 強い衝撃を与えないでください。
- 水に濡らさないでください。もし濡れた場合は、すぐにふき取ってください。
- 熱やスチームなどにあてないでください。
- 電池を廃棄する際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。
- 電池交換のとき以外はリモコンのふたを開けないでください。

注意事項

- リモコンの乾電池が消耗していませんか。電池が消耗してくると、操作できる距離が徐々に短くなります。早めに新しい電池に交換してください。
- リモコン受光部に直射日光や強い照明が当たっているとリモコンが動作しにくくなります。
- リモコンとリモコン受光部との間に障害物があると、操作できないことがあります。
- 蛍光灯などが近くにある場合は、動作しにくいことがあります。
- 誤作動防止のために、エアコンやステレオコンポなど他の機器のリモコンと同時に使用しないでください。
- 本機はリモコン識別 ID 機能を備えておりません。複数台設置している場合は、他の機器に影響を与えないように対象の機器のリモコン受光部の近くでリモコンを操作してください。



省エネ機能

本機の主電源を入れたままでも、コンピューターを使用しないときに本機の消費電力を減少させる機能です。本機を一定時間操作しなかった場合、スリープモードまたはシャットダウンに自動的に移行します。初期設定では 60 分操作しないとシャットダウンします。OSD 調節リストの「設定」－「パワー」－「省エネ」で設定を変更することができます。

お知らせ

お使いのコンピューターやビデオカードによっては、省エネ機能が作動しないことがあります。

キャリブレーション

実際にタッチしているポイントと、カーソルの表示箇所がずれている場合、キャリブレーションをおこなってください。キャリブレーションは以下の状況が必要となる場合があります。

- ・ 拡張ボード（OPS）を使用する場合
- ・ 外部コンピューターとタッチ接続した場合

お知らせ

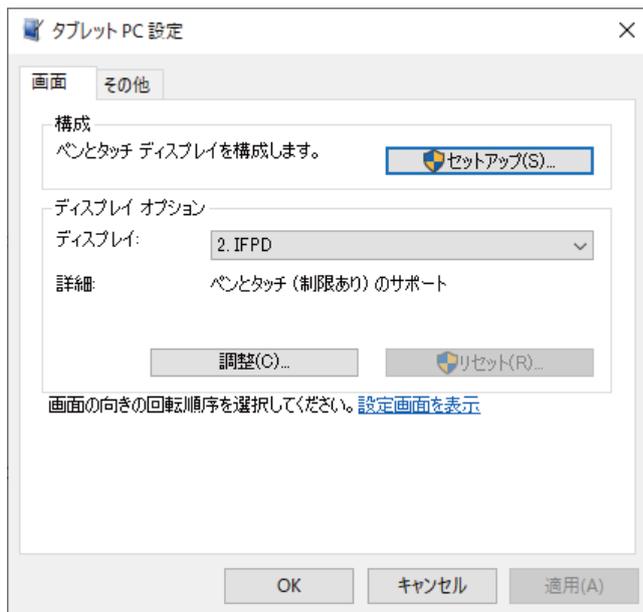
拡張ボード（OPS）操作時は、位置調節は不要です。Microsoft Windows 7 またはそれ以降のバージョンを搭載する外部機器を接続した場合は位置調節が必要です。

位置がずれている場合、下記をご確認の上、キャリブレーションをおこなってください。下記は Windows 10 での手順となります。

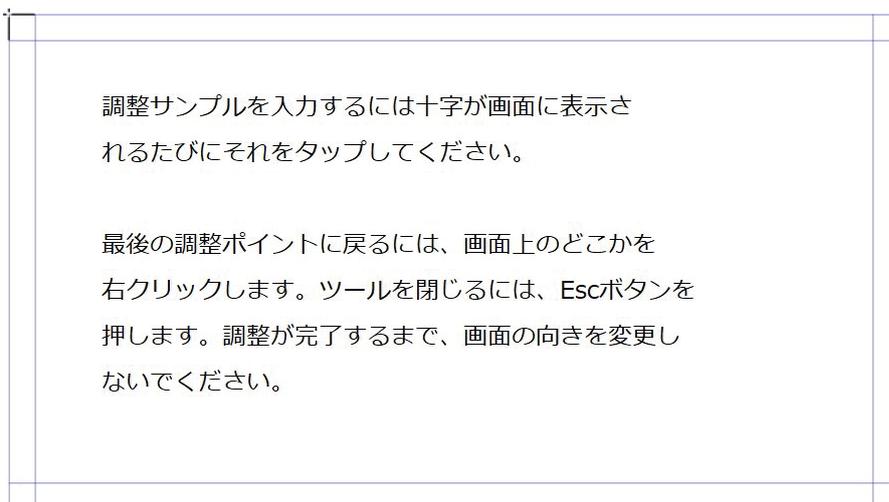
1. 本機とコンピューターがタッチ接続（21 ページ）されていることを確認する。
2. 接続した入力を選択する。
3. 接続したコンピューターのコントロールパネルから「タブレット PC 設定」を開く。



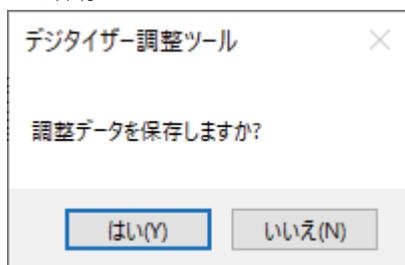
4. タブレット PC 設定画面から  をタッチする。



5. タッチ入力をオプションから選択し、キャリブレーションを開始する。
6. 指やスタイラスペンを使用して、点滅している十字の中央部分をタッチし、次のポジションに移動するまでタッチし続ける。
手順に従ってキャリブレーションを完了させてください。



7. キャリブレーションが完了すると「デジタイザ調整ツール」画面が表示されます。「はい」をタッチしてキャリブレーションデータを保存する。



お知らせ

- 手書き精度向上のために、キャリブレーションの際に、付属のスタイラスペンのご使用をお勧めします。
- キャリブレーションのエラーによりタッチスクリーンが正常に作動しない場合、再度キャリブレーションをおこなってください。

8. 再びタブレット PC 設定のダイアログボックスが表示されます。「OK」をタッチしてキャリブレーションを完了する。

スタート画面

本機の電源をオンし、ホーム画面の  をタッチするとスタート画面が表示されます。Press start をタッチするとホーム画面を表示します。

「設定」 — 「パスワードロック」が「オン」の場合、Press start をタッチするとパスワード入力画面を表示します。

スタート画面を表示する方法は以下です。

- ステータスバーとスタート画面のショートカットの  をタッチする。



ホーム画面

本機の電源をオンすると表示されます。

他の画面からホーム画面へ戻る方法は以下です。

- リモコン (19 ページ参照) の  ボタンを押す。
- フローティングツールバー (34 ページ参照) の  をタッチする。
- Quick settings (35 ページ参照) の  をタッチする。



①	メインツールバー
②	ステータスバーとスタート画面のショートカット
③	時刻 (OSD 調節リストの「設定」 — 「日付と時刻」のショートカット)
④	日付 / 曜日 (カレンダーアプリのショートカット)
⑤	フローティングツールバー

1. メインツールバー

アイコン	機能
Type-C	 既定の入力を設定することができます。
入力	 入力選択画面に切り替えます。入力は内蔵 PC ユニット、VGA、DisplayPort、USB TYPE-C、HDMI（前面）、HDMI 1、HDMI 2 から選択します。
ホワイトボード	 ホワイトボードアプリを起動します。
画面共有	 ESharePro アプリを起動します。
ファイル管理	 File commander アプリを起動します。
アプリケーションプログラム	 インストールされているすべてのアプリが表示されます。アプリのアイコンをタッチして、選択したアプリを起動します。
ウェルカムメッセージ	 メッセージや案内表示などの画面を簡単に作成して表示できます。
カメラ	 本機に USB 接続の web カメラ（市販）を接続して撮影できます。
カレンダー	 カレンダーアプリを起動します。
クラスルームシェア	 学校での授業に便利な 4 つの機能をまとめたアプリです。
ホワイトボード	 ホワイトボードアプリを起動します。
メモリクリーン	 起動中のアプリをすべて閉じます。
サインイン	 本アプリにサインインした人のリストを作成したり、手書きのサインを取得できます。
時計	 時計、タイマー、ストップウォッチが使用できます。
書画カメラ	 書画カメラアプリを起動します。
設定	 本機の設定画面を表示します。
電卓	 電卓アプリを起動します。
投票	 投票フォームを作成して集計できます。
Web ブラウザー	 Web ブラウザーを起動します。
ESharePro	 コンピューター、モバイルデバイスの画面をネットワークを介して共有できます。
File Commander	 ファイルの管理ができます。
OfficeSuite	 ドキュメント、スプレッドシート、プレゼンテーション資料、PDF ファイルの閲覧や作成ができます。
スクリーンレコーダー	 本機の画面を録画できるアプリです。
設定	 設定画面に切り替えます。 各設定項目は OSD 調節リスト (74 ページ) を参照ください。

2. ステータスバーとスタート画面のショートカット

アイコン	機能
	スタート画面を表示します。 お知らせ 「設定」 — 「パスワードロック」が「オン」の場合、スタート画面が表示されます。
	本機がインターネットに接続されている場合にアイコンを表示します。LAN の設定画面を表示します。
	本機が Wi-Fi に接続されている場合にアイコンを表示します。Wi-Fi の設定画面を表示します。
	BlueTooth の設定画面を表示します。
	ホットスポット機能がオンの場合にアイコンを表示します。ホットスポットの設定画面を表示します。
	USB ポートに USB ストレージデバイスが接続されている場合にアイコンを表示します。File Commander アプリを起動します。
	ファームウェアアップデートがあると表示します。 ファームウェアを更新します。

3. 時刻

時刻部分をタッチすると、OSD 調節リストの「設定」 — 「日付と時刻」を表示します。

4. 日付/曜日

日付 / 曜日部分をタッチすると、カレンダーアプリを起動します。

5. フローティングツールバー

画面の任意の場所を2本指で2秒以上タッチすると、フローティングツールバーが指のそばに現れます。中心をつかみ移動することができます。ツールバーの操作が5秒間ないと次第に半透明になります。

ツールバーをタッチするか 2 本指で再び 2 秒以上任意の場所をタッチすると表示が元に戻ります。



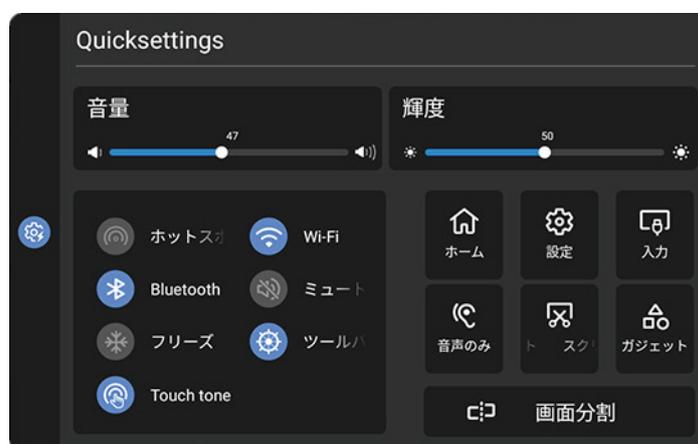
アイコン	機能
	フローティングツールバーの標準表示 / 最小表示を切り替えます。
	OSD 調節リストの「設定」 — 「入出力設定」 — 「既定の入力」で設定されている入力に切り替えます。
	ホワイトボードアプリを起動します。
	手書きモードに切り替えます。

	音量調節バーを表示します。
	明るさ調節バーを表示します。
	現在起動しているアプリを一覧で表示します。 「すべてクリア」をタッチすると起動中のアプリを終了します。
	一つ前の画面に戻るか、アプリを終了します。
	ホーム画面に戻ります。

クイック設定メニュー

Quick settings の入り方は以下です。設定の詳細は [78 ページ](#) を参照ください。

- リモコン ([19 ページ](#)参照) の  ボタンを押す。
- 2本の指で画面の下部分から上にスワイプする。
- コントロールパネル ([16 ページ](#)参照) の  ボタンを押す。



入力

入力の選択方法は以下です。

- リモコン (19 ページ参照) の  ボタンを押す。
- ホーム画面 (32 ページ参照) の  をタッチする。
- Quick settings (35 ページ参照) の  をタッチする。



設定項目	機能
入力	入力を選択し、映像を表示します。入力は内蔵 PC ユニット、VGA、DisplayPort、USB TYPE-C、HDMI (前面)、HDMI 1、HDMI 2 から選択します。
サイズ	プレビュー画面のサイズを大、中、小から切り替えます。
音量	音量を調節します。
全画面表示	入力を切り替えます。

入力の選択方法

入力の切り替え方法は 2 つあります。

■ダイレクトに入力を切り替える方法

- リモコン (19 ページ参照) の信号入力切替ボタンを押す。
- ホーム画面 (32 ページ参照) の  をタッチする。
- フローティングツールバー (34 ページ参照) の  をタッチする。

お知らせ

選択した端子が無信号だった場合、下に示す画面が表示されます。
無信号状態が続くと、60 秒後に自動的にホーム画面に切り替わります。
「クリックしてキャンセル」をタッチすると、端子を切り替えたままの状態になります。



■入力画面で切り替える方法

- リモコンの  ボタンを押す。
- ホーム画面 (32 ページ参照) の  をタッチする。
- Quick settings (35 ページ参照) の  をタッチする。

入力信号のある端子はその端子の図の色が青色で表示されます。
端子のアイコンをタッチすると、プレビュー画面を表示します。
選択した端子を決定する場合は  をタッチします。



- 入力信号のない端子： 端子の図が灰色で表示されます。
- 入力信号のある端子： 端子の図が青色で表示されます。
- プレビュー中の端子： 背景が青色で表示されます。

画像モードの切り替え



Quick settings の  をタッチすると画像モードの設定ができます。

お知らせ

映像入力があるときのみ  が表示されます。

アスペクト変更



Quick settings の  をタッチするとアスペクト比の設定ができます。

お知らせ

映像入力があるときのみ  が表示されます。

メインアプリ

お知らせ

フローティングツールバーの表示位置によっては、アプリ起動時に表示されるメッセージがフローティングツールバーと重なることがあります。その場合は、フローティングツールバーの中心をつかみメッセージの外側に移動してください。

ホワイトボード

ホワイトボードは、会議の文書を出席者に迅速かつ簡単に提示できるアプリです。ホワイトボードには以下の機能があります。

・ディスカッション

ホワイトボード画面では、画面上に書き込みまたは手書きするペンの種類、幅、色を選択できます。選択したコンテンツを消したり、すべてのコンテンツを消すこともできます。

・ページナビゲーション

ホーム画面の「 ホワイトボード」かフローティングツールバーの  をタッチしてディスカッションモードを表示します。

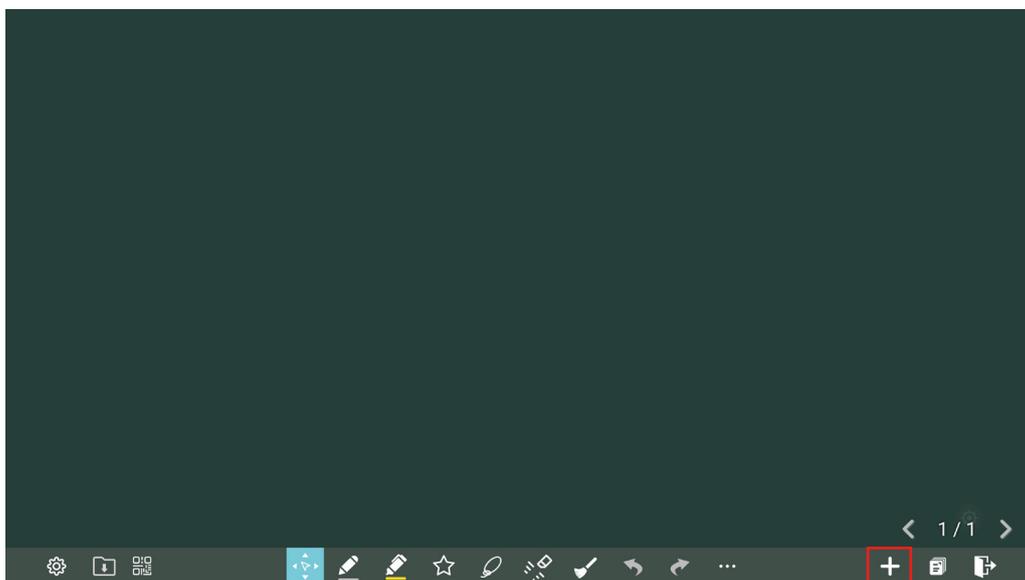


No.	アイコン名	機能
①	設定	設定画面を表示します。
②	ホワイトボードファイル	ホワイトボードファイルを開いたり、保存したりすることができます。
③	QRコードのエクスポート	ホワイトボード画面を画像としてクラウドに保存し共有します。表示されるQRコードを読み取ることでアクセスできます。クラウドへは7日間保存されます。
④	キャンバスの移動	ページ上で指を動かしてキャンバスと内容を移動することができます。
⑤	ペン	ペンでの描画モードを有効にします。 ペンの種類、サイズ、色を設定できます。選択した色とサイズはアイコンで表示されます。
⑥	蛍光ペン	蛍光ペンでの描画モードを有効にします。 サイズや色を設定できます。選択した色とサイズはアイコンで表示されます。
⑦	図形	図形を挿入し、形状や色を設定することができます。
⑧	選択ツール	ホワイトボードの内容の選択と編集をすることができます。 オブジェクトを選択し、オブジェクトの移動、ズームイン、ズームアウト、回転、コピー、切り取り、ロック、レイヤーの変更、削除をすることができます。
⑨	消しゴム	消しゴムの種類を設定し、ホワイトボード上で  をタッチして間違いや不要な内容を削除できます。

⑩	全削除	現在のページのすべてのデータを削除します。
⑪	戻る	前の状態に戻ります。
⑫	進む	次の状態に進みます。
⑬	オプション	テキスト、付箋、画像などの挿入、インターネット上の検索画像やウェブで検索した内容の挿入をすることができます。
⑭	新しいページ	新しいページを追加します。
⑮	ページの背景	ページの背景の色やパターンを設定します。
⑯	終了	ホワイトボードを終了します。
⑰	ページナビゲーション	< : 前のページに戻ります。
		> : 次のページに移ります。
		ページ番号 : ページのサムネイルを表示します。

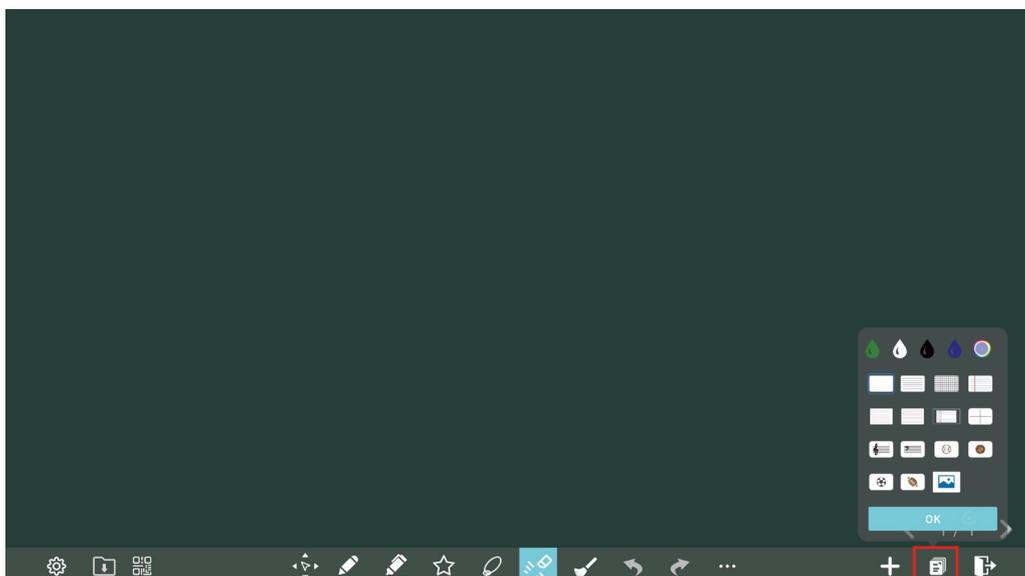
・新しいページの追加

+ をタッチすると、新しいページが追加されます。最大 99 ページまで追加することができます。



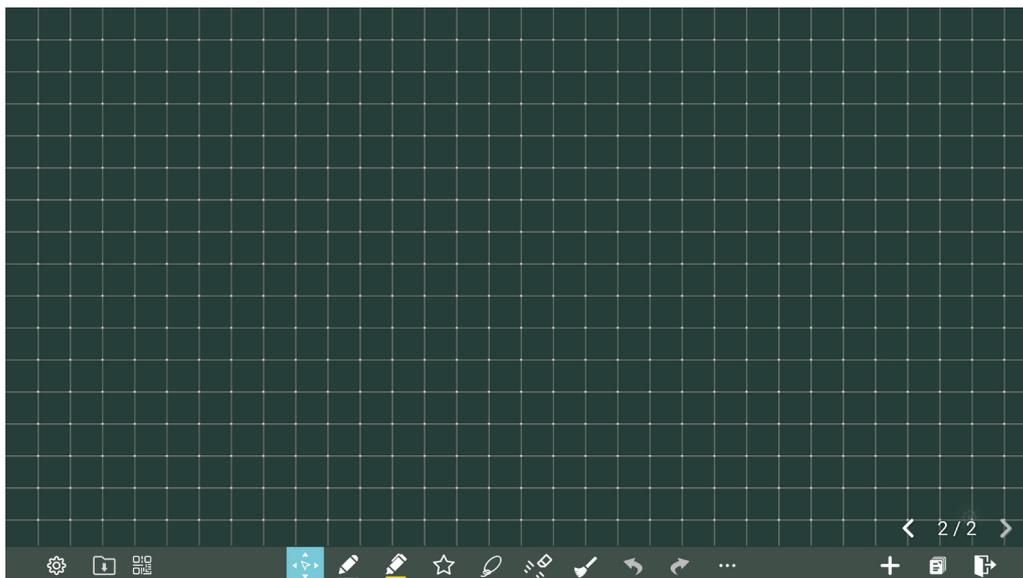
・ページの背景

背景設定アイコン をタッチするとページの背景の色やパターンを設定をすることができます。



・キャンパスの移動

 をタッチするとキャンパスの移動モードとなり、ページ上で指を動かしてキャンバスと内容を移動することができます。



・ペンのタイプ

ペンと蛍光ペンの 2 種類から選択できます。

ペン  : 文字などの書き込みに使用します。

蛍光ペン  : アンダーラインでの強調などに使用します。

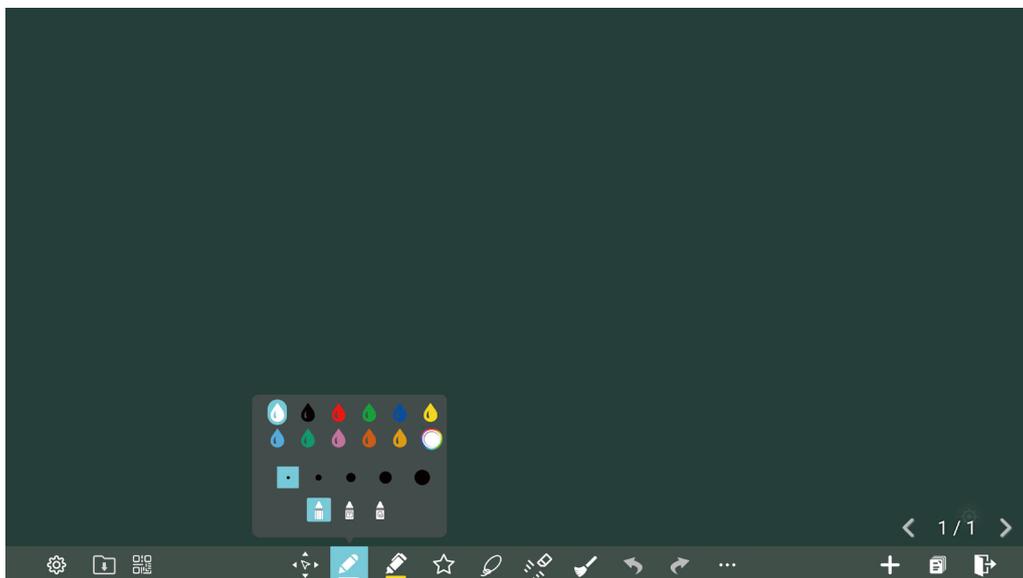
・線の太さと色

 を再度タッチするとペンのタイプ、サイズ、色を設定することができます。

 : 文字などの書き込みに使用します。書いた内容は消しゴムで削除できます。

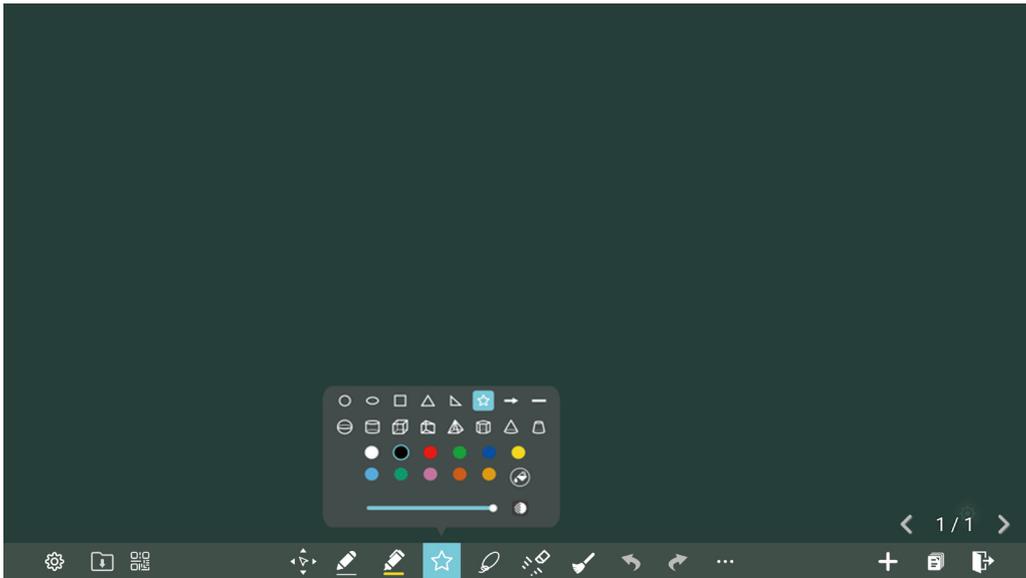
 : 単語認識ペン、書いた内容を自動的に文字として認識します。

 : 形状認識ペン、書いた内容を自動的に形状として認識します。



・図形の挿入

☆ をタッチして図形を挿入することができます。また、形状、色、塗りつぶし、透過度を変更することができます。

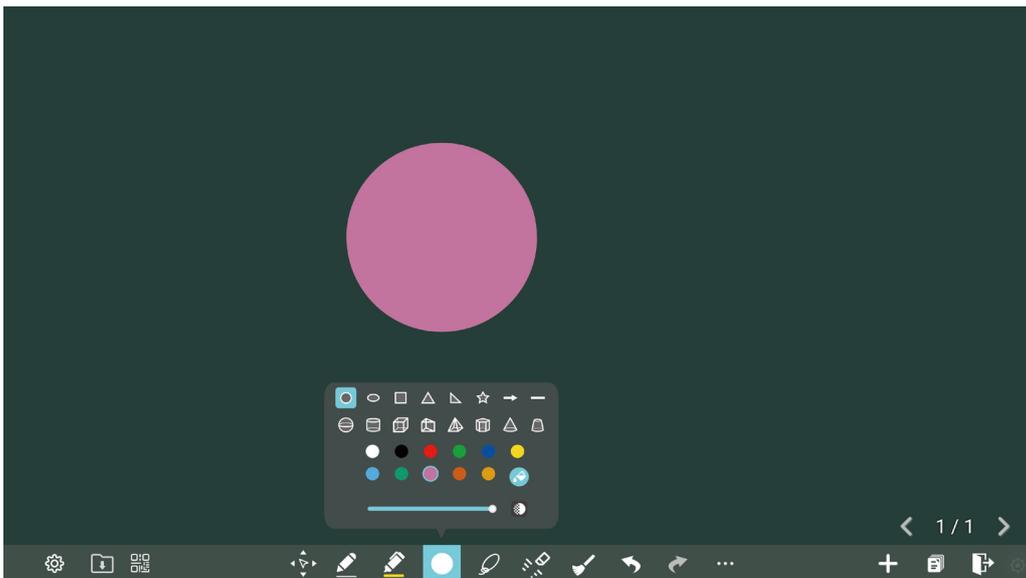


👉 アイコンの状態は 3 つの色で表示されます。

灰色： 矢印と線を選択したときはアイコンが使用できなくなります。

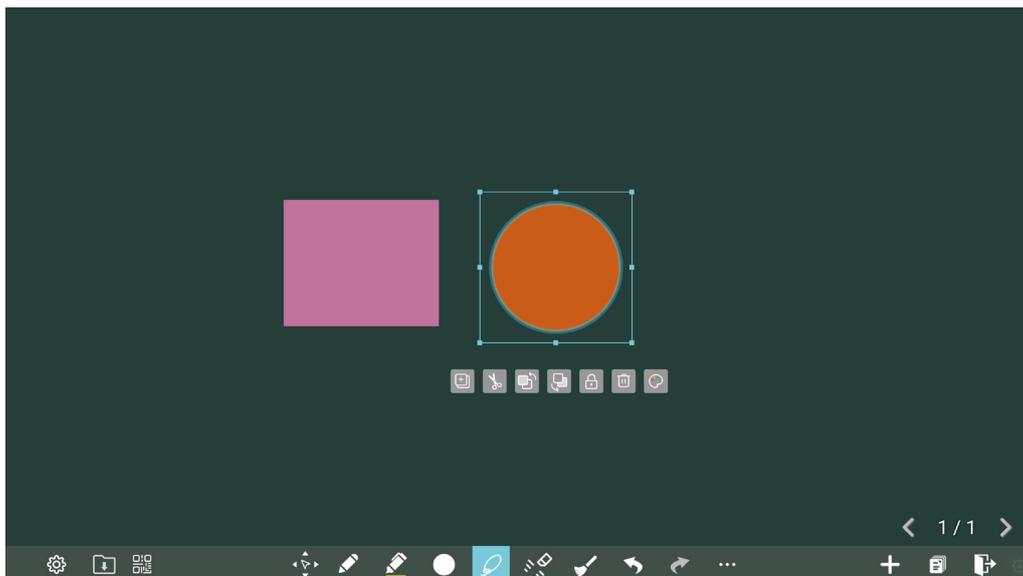
白色： 図形の輪郭に色が付きます。

青色： 図形が塗りつぶされます。



・選択ツール

👉 をタッチしてからオブジェクトを選択することにより 2 本指により移動、ズームイン、ズームアウト、回転をおこなうことができます。



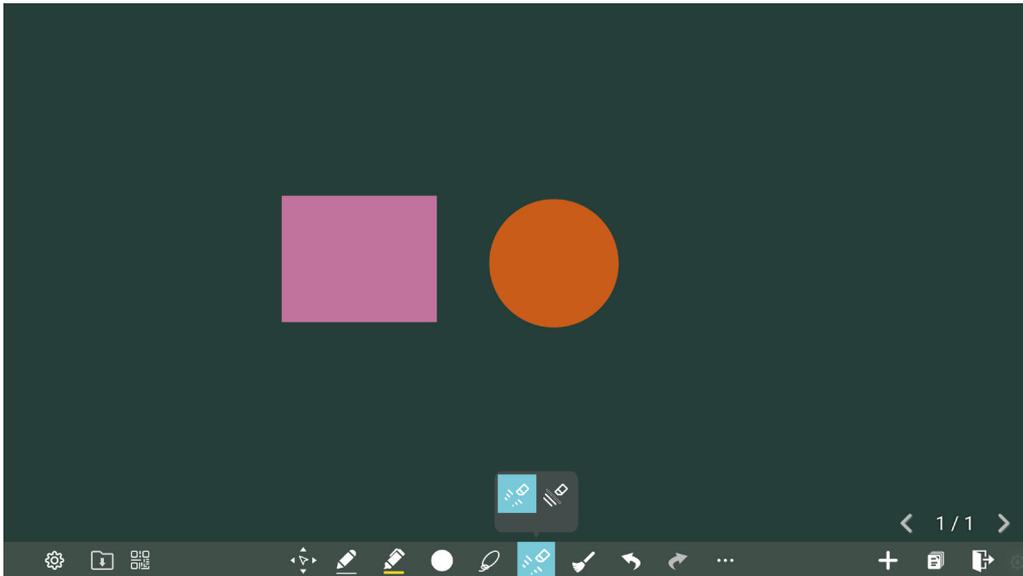
アイコン	機能
	選択したオブジェクトをコピーします。
	選択したオブジェクトをカット（切り取り）します。
	選択したオブジェクトを最上位のレイヤーに移動します。
	選択したオブジェクトを最下位のレイヤーに移動します。
	選択したオブジェクトをロックします。
	選択したオブジェクトを削除します。
	選択したオブジェクトの色を変更します。
	オブジェクトの貼り付けをします。 オブジェクトをコピー、またはカットした後、任意の場所を長押しするとアイコンが表示されます。
	選択したオブジェクトのロックを解除します。（オブジェクトがロックされると表示されます。）

・消しゴム

 をタッチして間違いや不要な内容を削除できます。

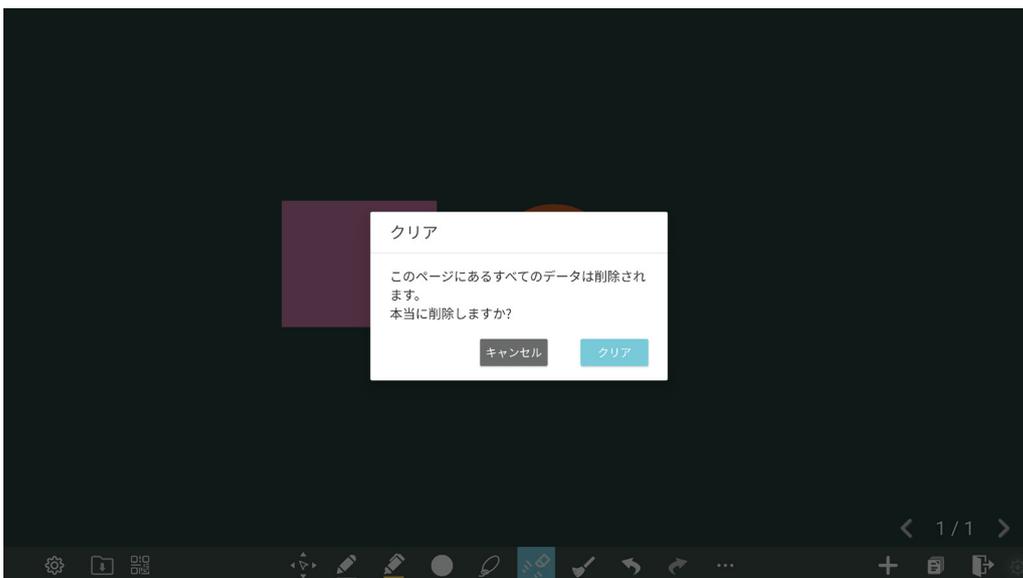
部分消しゴム:  を選択したときは消しゴムが通った部分だけ削除します。

オブジェクト消しゴム:  を選択したときはオブジェクト全体を削除します。



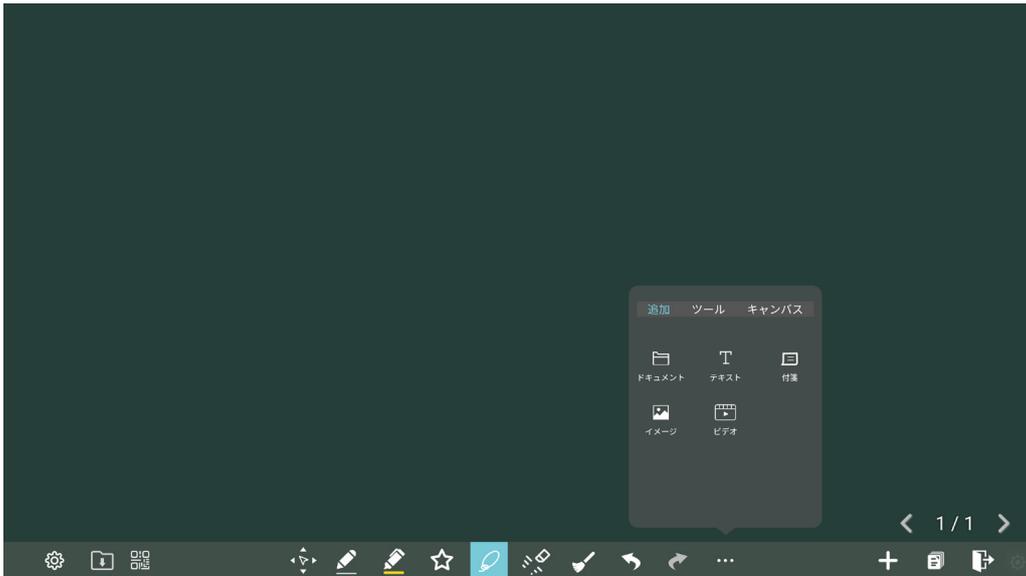
・全削除

 をタッチすると下記に示すような現在のページのすべてのデータを削除するか選択する画面が表示されます。



・オプション

オプション画面にはいくつかの機能やツールがあり、「追加」、「ツール」、「キャンバス」から構成されています。… アイコンをタッチするとオプション画面が表示されます。



① 「追加」では、PDFドキュメント、テキスト、付箋、画像をシステムファイル、USBストレージデバイス、ネットワークから挿入できます。

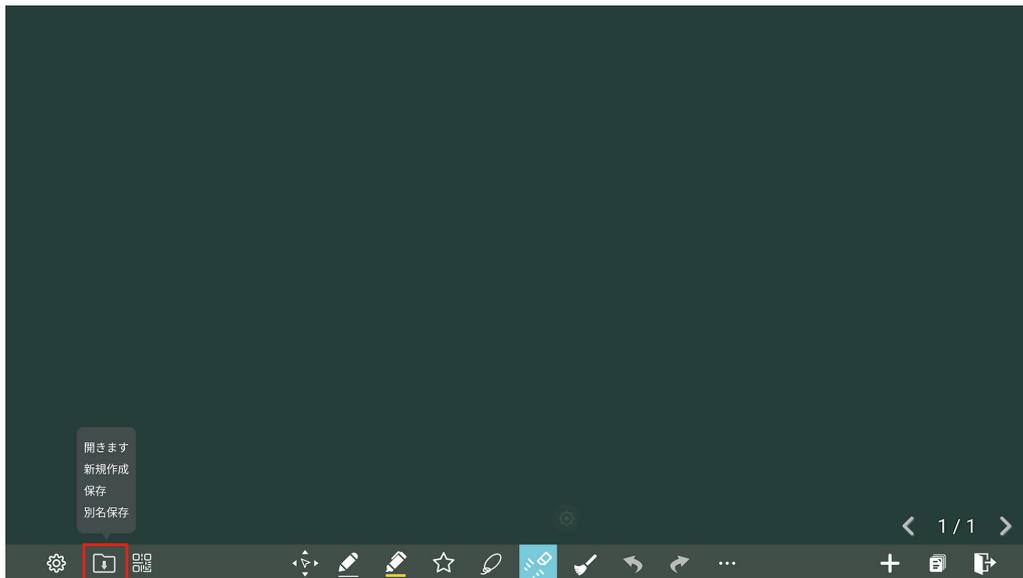
② 「ツール」では、定規を使用して線や図形を書いたり、書画カメラの画像を挿入、表やマインドマップを挿入できます。

③ 「キャンバス」では、レコーダーを起動したり、スクリーンショットを撮ることができます。また、分割モードを選択して画面を分割して描画をすることができます。



・ファイル

 をタッチするとホワイトボードファイルを開いたり、保存することができます。



・QRコードのエクスポート

 をタッチすると QR コードのエクスポート画面が表示され、ホワイトボードページを QR コードにエクスポートすることができます。エクスポートするページを選択したり、形式を変更することもできます。

ページ：すべてのページ、または選択したページのみをエクスポートします。

形式： PNG、JPEG、PDF から選択します。



画面共有

ESharePro とクライアントアプリを使用し、コンピューターやモバイルデバイスの画面を共有します。

お知らせ

- ESharePro は、本機をインターネットに接続するとライセンスの認証をおこないます。
- 認証が完了すると、アプリの利用が可能になります。
- ネットワーク環境により、接続台数が変わることがあります。

コンピューターやデバイスにクライアントアプリをインストールする方法

「 画面共有」をタッチし、ESharePro アプリを起動する。



- ① ネットワーク名を表示します。
- ② 本機に割り振られた ID を表示します。
- ③ 本機の IP アドレスを表示します。
- ④ クライアントアプリのダウンロードページへの QR コードを表示します。
- ⑤ Webcast の設定画面を表示します。
- ⑥ クラウドブロードキャストの設定画面を表示します。
- ⑦ BYOM の設定画面を表示します。
- ⑧ 画面グループ設定画面を表示します。
- ⑨ モデレーターコントロールセンターを表示します。
- ⑩ その他設定画面を表示します。

コンピューターまたはデバイスで、上図 ④ で表示された QR コードを読み取るか eshare.app にアクセスし、クライアントアプリをインストールします。

画面を共有する方法

お願い

- 本機と画面共有するデバイスが同じローカルネットワークに接続していることをあらかじめご確認ください。
- 本機に接続した複数のデバイス画面を同時に表示した場合、動作が遅くなる場合があります。

コンピューターの場合

1. インストールしたクライアントアプリを起動する。
下記の画面が表示され、本機に振られた ID がデバイスリストに表示されます。
2. 「接続」を選択する。



接続すると「準備完了」と表示されます。

3. 「画面共有」を選択する。

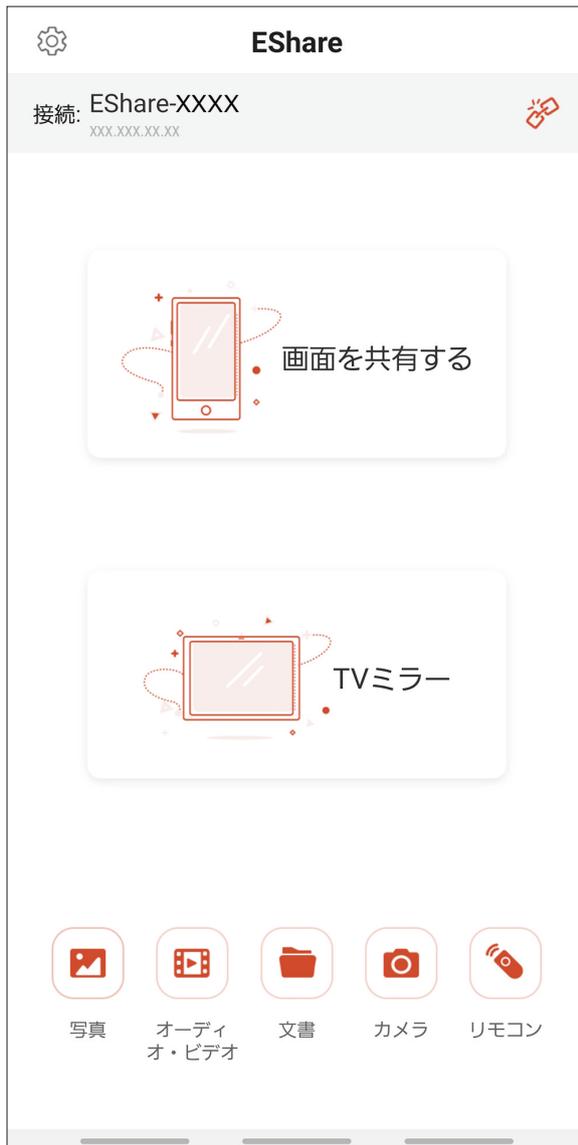


モバイルデバイスの場合

1. インストールしたクライアントアプリを起動する。
画面が表示され、デバイスリストに本機に振られた ID が表示されます。
2. 本機に割り当てられた ID をタッチする。
接続すると「準備完了」と表示されます。



3. 「画面を共有する」をタッチする。
 モバイルデバイスによってはメッセージが表示されます。内容を確認し、画面を共有する場合は「今すぐ開始」をタッチします。





キャスト中や記録中にプライベート情報が公開されます

記録中やキャスト中に、EShareは、画面上に表示またはデバイスから再生されている個人的な情報（音声、パスワード、お支払い情報、写真、メッセージなど）を取得する可能性があります。

[キャンセル](#) | [今すぐ開始](#)

対応デバイス：

デバイス種類	OS	サポートバージョン
PC	Windows	Windows 10、Windows 11
	Chrome	Chrome OS ver. 92 以降
	macOS	macOS macOS 10.11 以降
モバイルデバイス	Android	Android 7 以降
	iOS/iPadOS	iOS/iPadOS 9.0 以降

お知らせ

- すべての端末との接続を保証するものではありません。
- 別途、ルーターやアクセスポイントが必要です。
- 本機をアクセスポイントにし、直接デバイスを本機に接続することもできます。

システム要件：

CPU	第6世代 Intel® Core™ i5 以上を推奨
メモリー	8GB 以上
ストレージ	512MB 以上

ファイル管理

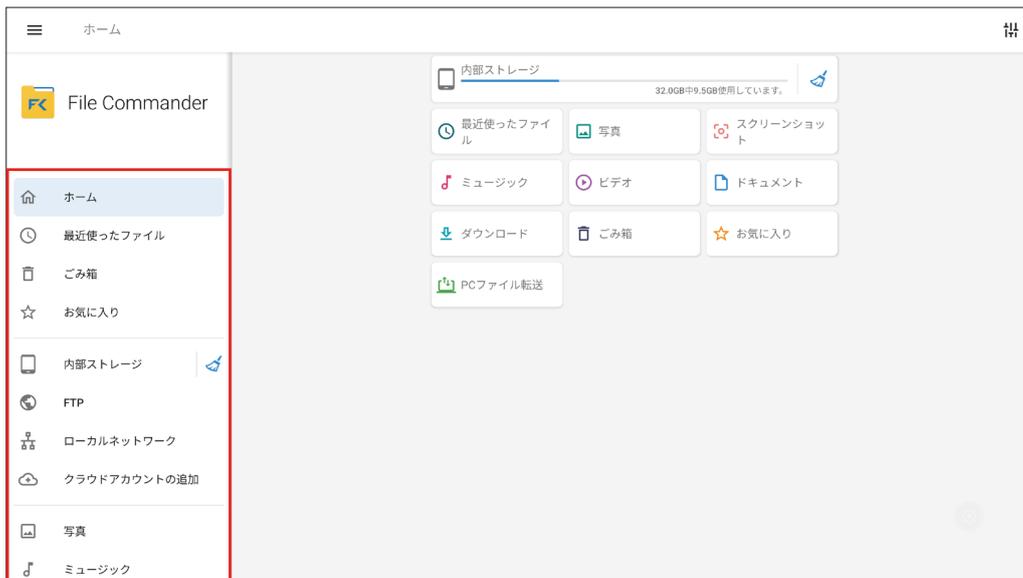
File commander アプリでは、内蔵ストレージや USB ポートに接続された外部メディアに保存されているデータの閲覧、コピー、貼り付け、削除、検索などをすることができます。

一覧表示

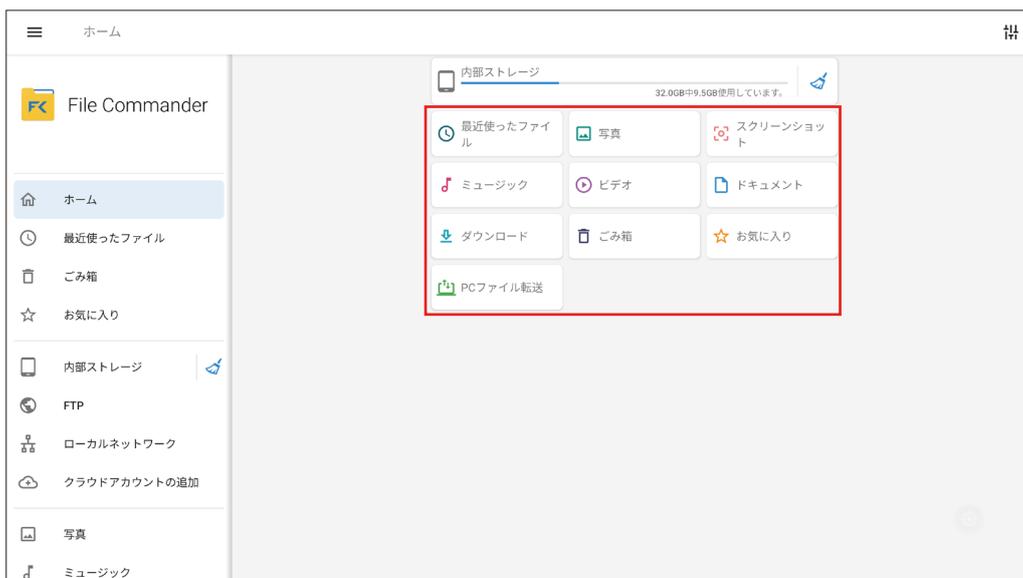
File commander アプリを起動し、左側のナビゲーションパネルのサブメニューから操作したいファイルの保存先を選択します。例えば、内蔵ストレージや、USB ポートに接続された USB ストレージデバイス、クラウド、FTP サーバー、ローカルネットワークフォルダーなどに保存されたデータにアクセスすることができます。

お知らせ

アカウント情報を入力しアクセスした場合、アカウント情報を含む接続情報が本機に保存されます。そのため再接続時には接続情報の入力が必要ありません。保存された接続情報を保護するために、パスワードロック (68 ページ参照) を設定することをお勧めします。

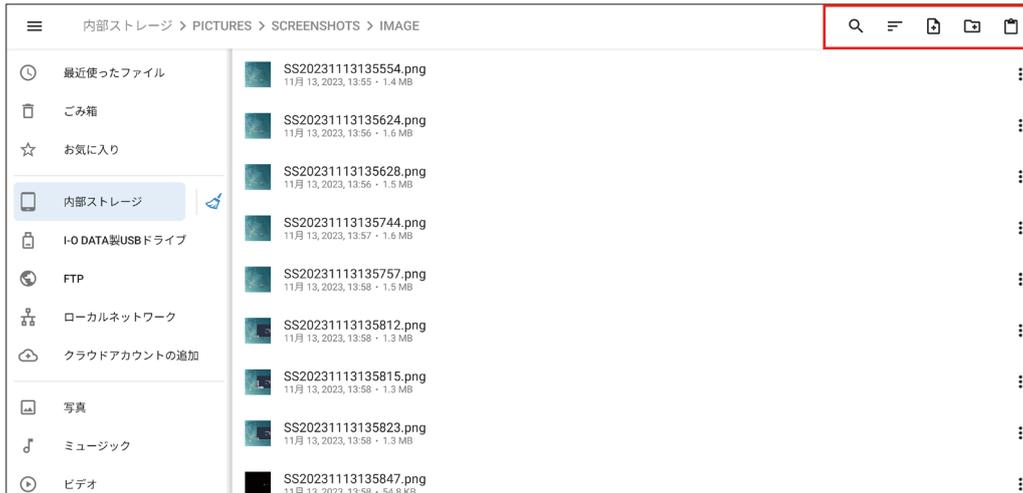


右側のサブメニューをタッチして内部ストレージ、最近のファイル、写真、スクリーンショット、ミュージック、ビデオ、ドキュメント、ダウンロード、お気に入り、PC ファイル転送をプレビューし、アイコンをタッチしてファイルを表示します。

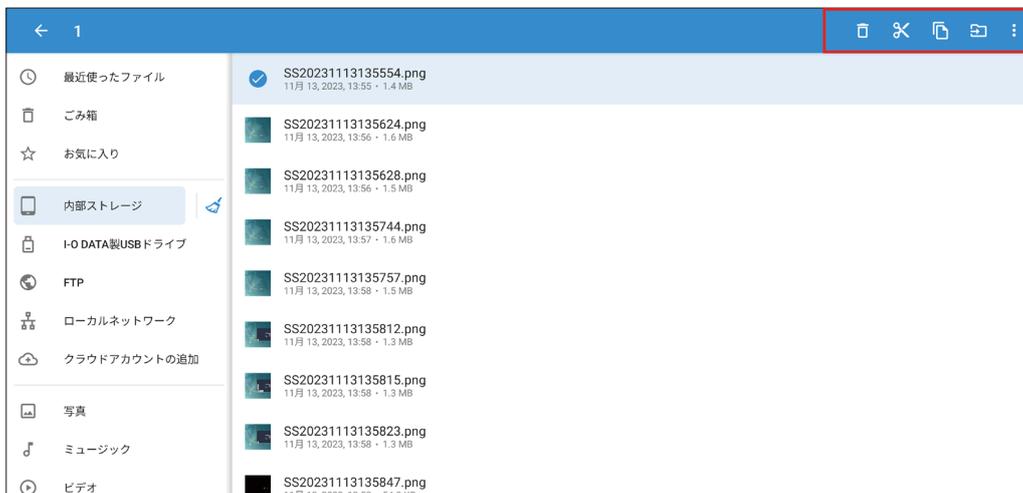


・ファイル操作

ファイルが表示されると、画面右上にフォルダーに対する操作をおこなうためのアイコンが表示されます。



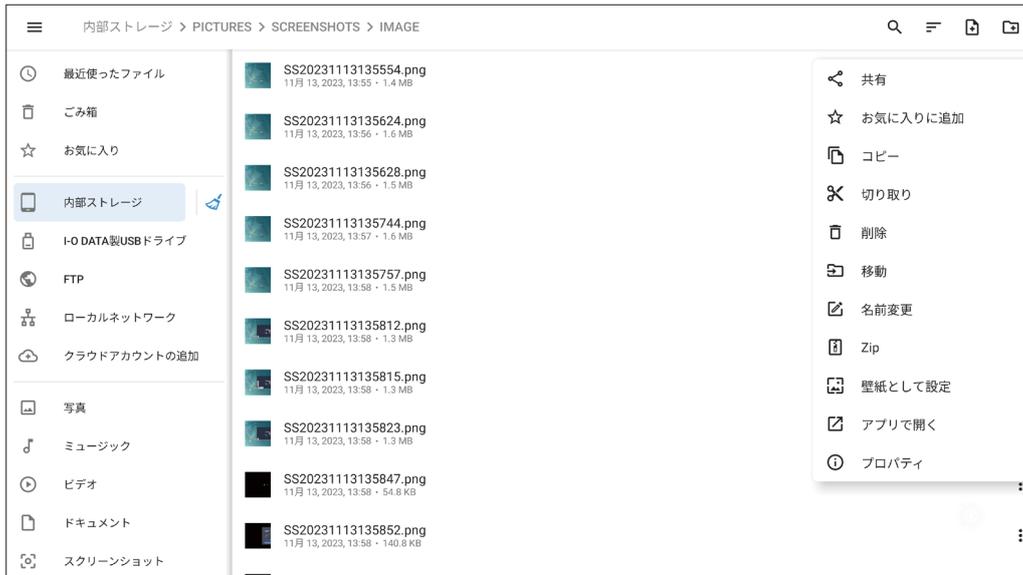
ファイル名の左のサムネイルをタッチすると、画面右上にフォルダーに対する操作をおこなうためのアイコンが表示されます。



画面右上に表示されるアイコンの機能は以下です。

アイコン	機能
	ファイルを検索します。
	表示の切り替え (リスト表示 / グリッド表示)、並び変え、表示するファイルの種類を設定します。
	新しいファイルを作成します。
	新しいフォルダーを作成します。
	選択した画像をペーストします。コピーする画像があるときのみ表示されます
	選択した画像を削除します。
	画像を切り取ります。
	画像をコピーします。
	画像を他のフォルダーに移動します。
	その他の操作をおこなうことができます。

ファイル名の右側の **:** をタッチしても、ファイルに対して同様の操作をおこなうことができます。

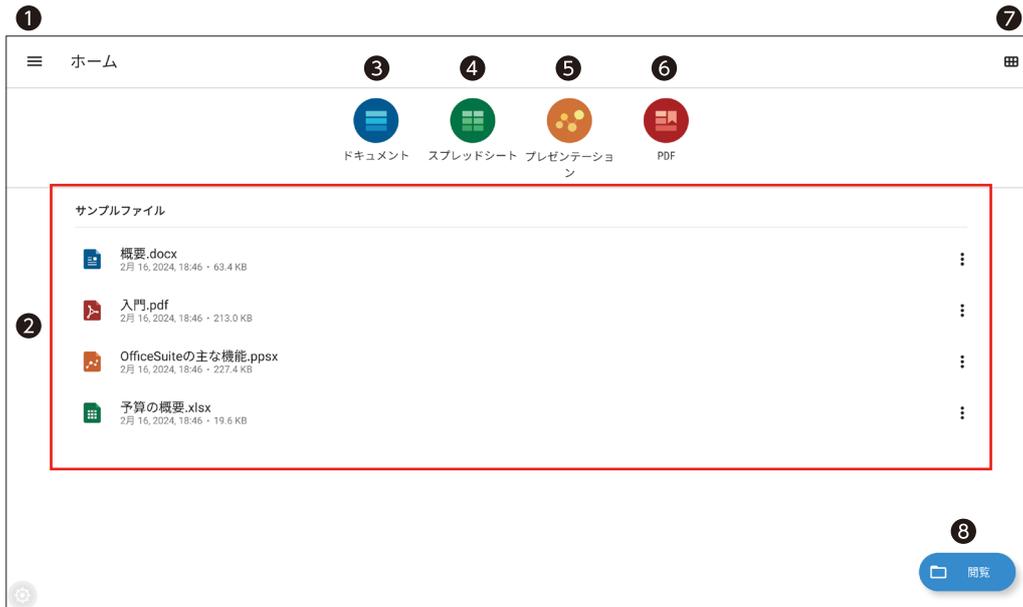


スクリーンショットは下記の場所に保存されます。

スクリーンショットモードに応じて、画像の名前が異なります。画像ファイルは、プレフィックス+作成ファイルの順で名付けられます。

- Screenshot (Quicksettings のスクリーンショット)
「内部ストレージ」－「Pictures」－「Screenshots」
- SS (C ボタン機能割り当てに設定したスクリーンショット、リモコンのスクリーンショットボタン)
「内部ストレージ」－「Pictures」－「Screenshots」－「image」
- WB (ディスカッションモードのスクリーンショット)
「内部ストレージ」－「Whiteboard」－「image」
- AN (手書きページのスクリーンショット)
「内部ストレージ」－「Screenshot」

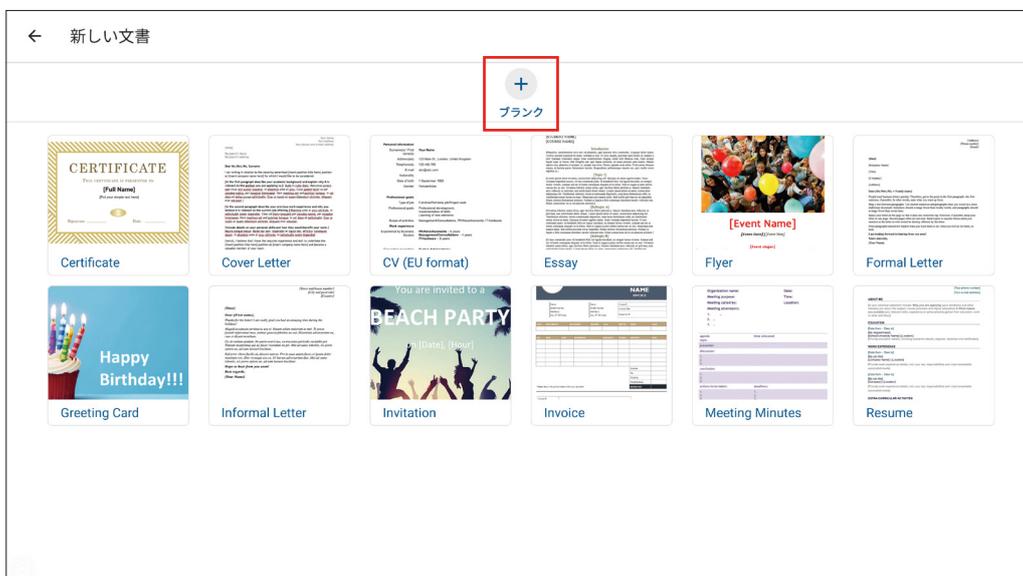
OfficeSuite は、ドキュメント、スプレッドシート、プレゼンテーション資料、PDF ファイルの閲覧や作成をすることができます。



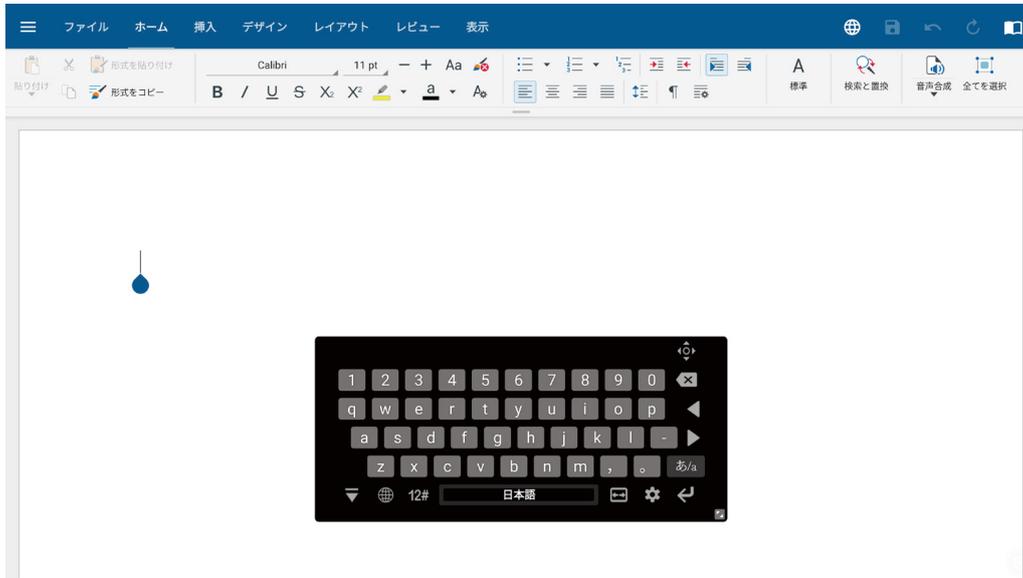
No.	機能
①	本機または USB ストレージデバイス、クラウド等に保存されたファイルの閲覧、ヘルプを開く、OfficeSuite の設定画面を開くことができます。
②	サンプルファイルを選択して閲覧することができます。OfficeSuite を使用して作成したファイルの履歴も表示されます。
③	ドキュメントを閲覧したり作成することができます。
④	スプレッドシートを閲覧したり作成することができます。
⑤	プレゼンテーション資料を閲覧したり作成することができます。
⑥	ドキュメント、スプレッドシート、プレゼンテーション資料を PDF ファイルに変換し保存、PDF ファイルの閲覧、PDF ファイルの署名を編集することができます。
⑦	2 の表示方法を一覧もしくはアイコン表示に変更することができます。
⑧	ファイルの選択画面を開きます。

・新規ドキュメントの作成と保存

をタッチすると、ブランク文書を開いたりテンプレートを選択する画面が開きます。



をタッチすると、新規ファイルを開いて編集することができます。編集した文書は本機に保存することができ、USB ストレージデバイスやクラウド等に保存することもできます。



📁 をタッチすると、編集した文書は本機に保存することができ、USB ストレージデバイスやクラウド等に保存することもできます。

・ファイルのPDF変換と閲覧、編集

📄 をタッチすると、ファイルを PDF に変換したり、閲覧、編集、署名の記入等ができます。



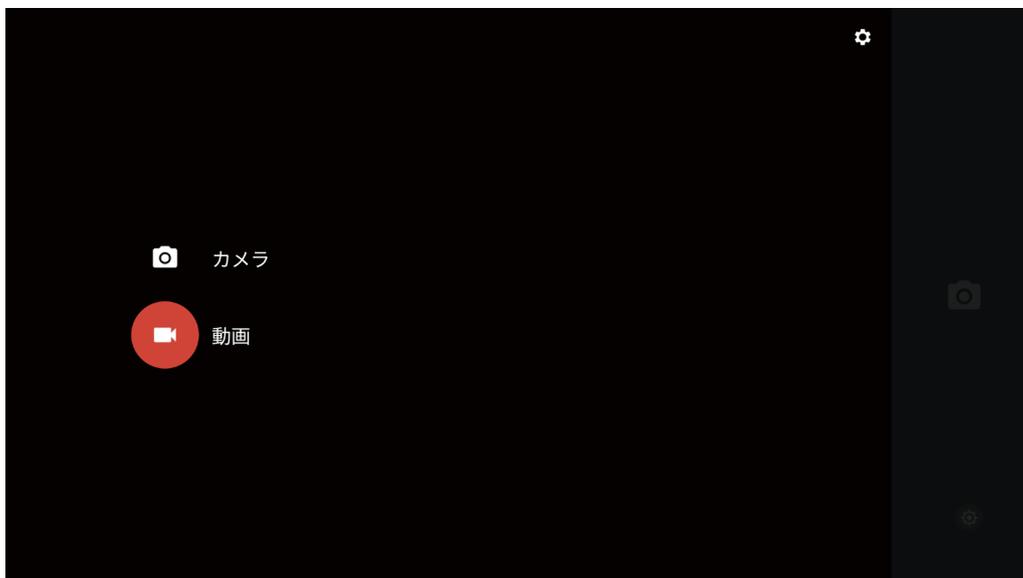
アプリケーションプログラム

📷 カメラ

📷 をタッチしてカメラアプリを起動し、カメラモードまたはビデオモードを選択します。

ビデオを撮影すると、音声も自動的に録音されます。

右にスワイプして写真またはビデオ撮影のメニューにアクセスすると、解像度や画質等の設定ができます。撮影後、左にスワイプするとデータを表示、共有、または削除できます。カメラが認識しない場合は、解像度と画質の設定をカメラの仕様に合わせた設定に変更してください。



お知らせ

- ビデオ録画は画面録画と同時に使用できません。画面録画がすでに有効になっている場合、ビデオ録画はオンになりません。
- カメラで撮影した画像とビデオは下記の場所に保存されます。
 - カメラ：「内部ストレージ」－「Pictures」
 - ビデオ：「内部ストレージ」－「Movies」

📱 サインイン

📱 をタッチしてサインインアプリを起動し、モバイルデバイスで QR コードをスキャンします。デバイスは Web サイトに誘導され、名前、会社名、部署名を入力します。参加者がモバイルデバイスから送信をタッチすると、その入力がサインインリストにリアルタイムで同期されます。

A screenshot of a mobile application's 'Sign in' form. The form has a white background with a light gray border. At the top, it says 'Sign in'. Below that, there are three input fields: 'Name' with the value '太郎', 'Company' with the value 'NEC', and 'Department' with the value 'マーケティング'. At the bottom of the form, there is a blue rounded rectangular button labeled 'Submit'. The bottom of the screen shows a white bar with a back arrow and a home indicator.

お知らせ

サインインアプリは、本機とモバイルデバイスの両方がインターネットに接続されている場合にのみ機能します。

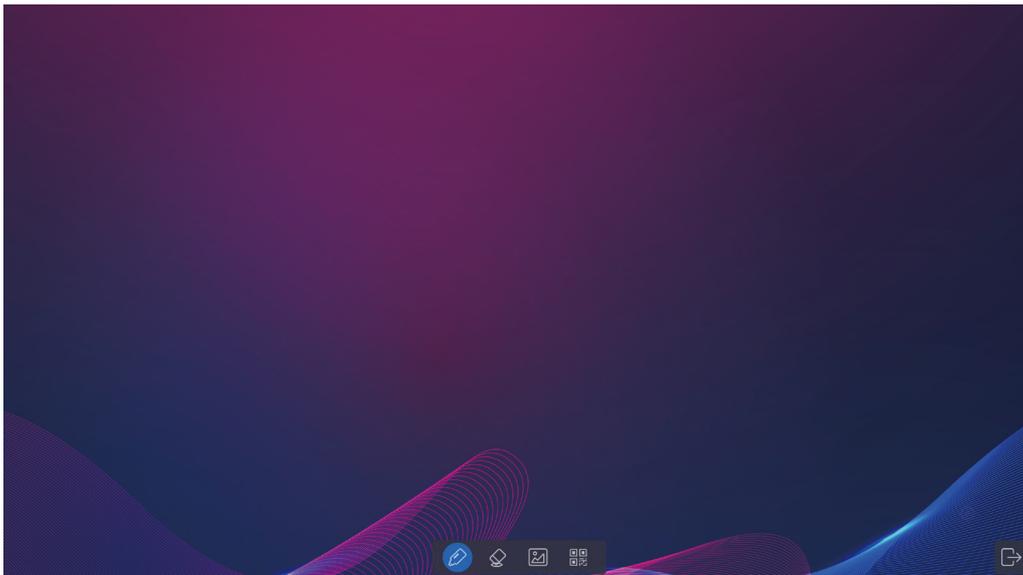


会議主催者が「完了」をタッチした後に、モバイルデバイスを使用して QR コードをスキャンし、サインインリストをモバイルデバイスにダウンロードできます。



Sign in record		
Name	Information	Time
太郎	NECマーケティング	19:50

「署名」をタッチして署名画面にアクセスすることもできます。手書きサインインは、指またはスタイラスペンを使用します。画面下のツールバーには、ペン、消しゴム、背景設定（カスタマイズ）などの設定ができます。サインイン画面は、QRコードをスキャンすることで保存できます。右下の  ボタンをタッチしてサインイン画面を終了できます。



お知らせ

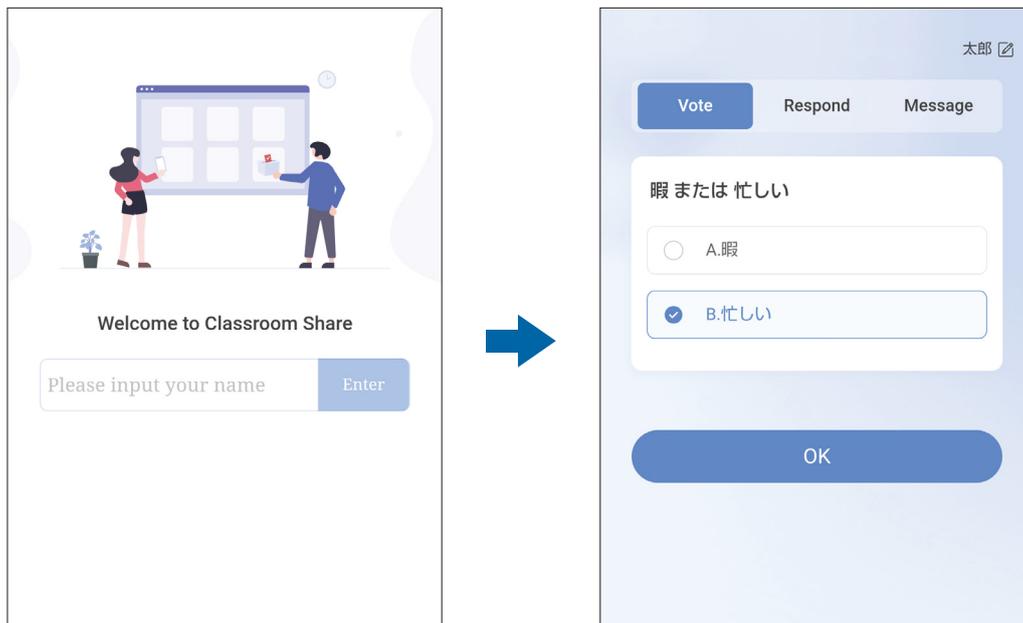
署名画面で8秒以上操作しないと、画面下のツールバーは自動的に非表示になります。下部にある隠しボタンをタッチして、ツールバーを再表示することができます。

クラスルームシェア

 をタッチしてクラスルームシェアアプリを起動します。「開始」をタッチしてクラスルームツールを表示します。学生はQRコードをスキャンして名前を入力すると、クラスルームシェアに参加できます。

本機での表示





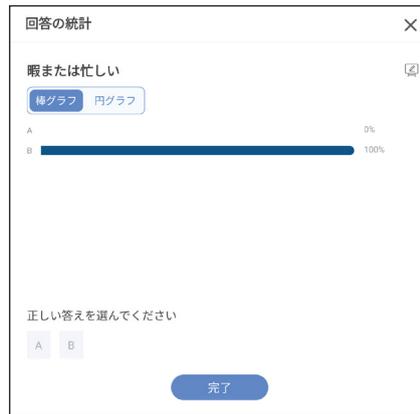
• 投票

1. 「投票」をタッチして新しい投票を作成し、投票トピック（必須ではありません）と入力オプション（最低2つのオプション）を入力する。



2. 「投票フォームを作成します」をタッチする。
学生はモバイルデバイスで投票できるようになります。投票の割合はリアルタイムで画面に表示されます。

3. 「完了」をタッチして投票結果を確認する。
投票結果の表示には棒グラフと円グラフがサポートされています。



・対応者

「対応者」をタッチし、参加者の人数を選択します。「開始」をタッチすると、参加者のモバイルデバイスの「対応者」タブが使用可能になり「応答」ボタンが表示されます。「応答」ボタンをタッチすると、先着順に参加者の名前が表示されます。

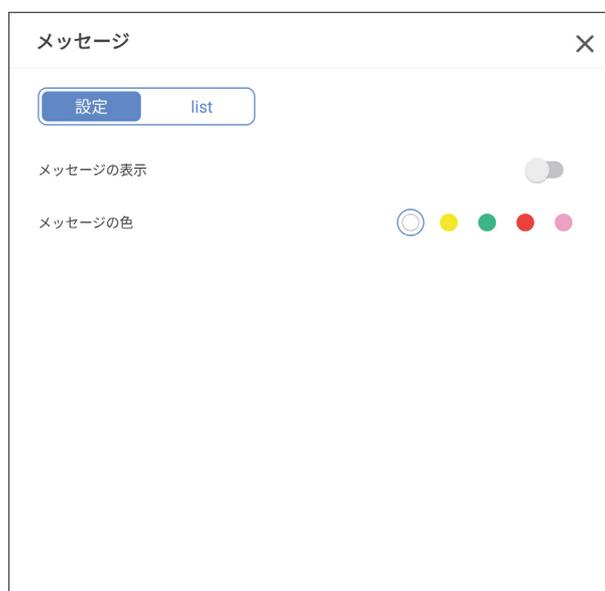


・セレクトタ

「セレクトタ」をタッチし、選び出す学生の人数を選択します。「開始」をタッチすると、クラスルームシェアに参加している生徒のリストからランダムに選び出しをおこないます。完了すると、選び出された生徒の名前がパネルに表示されます。

・メッセージ

学生はモバイルデバイスでメッセージを入力し、「送信」をタッチします。「メッセージの表示」が「オン」の場合、メッセージが画面に表示されます。メッセージの色は変更できます。



・参加者の追加

「参加者の追加」をタッチすると、参加者を追加します。

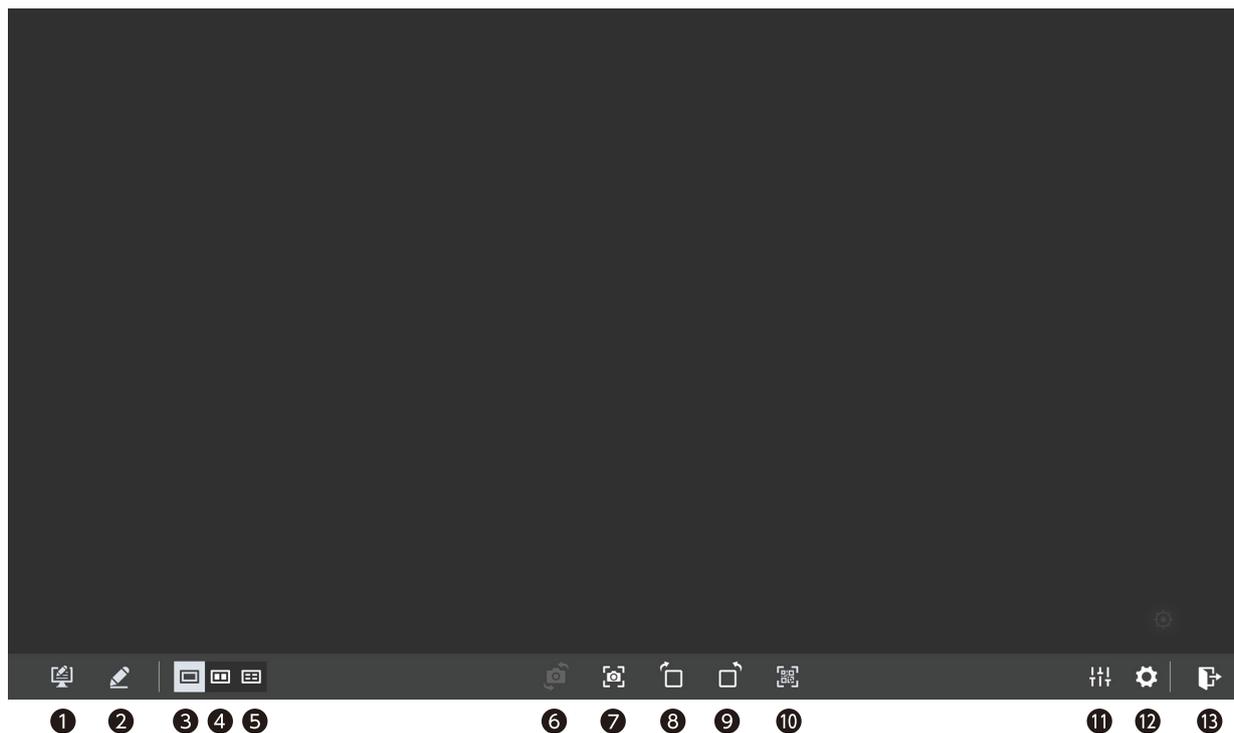


・投票結果保存

「投票結果保存」をタッチすると、投票結果を保存します。

書画カメラ

をタッチして書画カメラアプリを起動します。



No.	アイコン名	機能
①	手書き	手書きモードに切り替えます。
②	ホワイトボード	ホワイトボードモードに切り替えます。
③	画面表示	書画カメラを表示します。
④	画面分割モード (2)	2 分割画面モードで表示します。
⑤	画面分割モード (4)	4 分割画面モードで表示します。
⑥	カメラ切替	カメラを変更します (本機に複数のカメラが接続されている場合のみ)。
⑦	キャプチャ	スクリーンショットを撮り、その画像をホワイトボードに貼り付け、ファイルに保存、USB ストレージデバイスに保存、共有することができます。
⑧	回転 (時計回り)	カメラ画像を時計回りに回転します。
⑨	回転 (反時計回り)	カメラ画像を反時計回りに回転します。
⑩	QR コード	QR コードを読み取ります。
⑪	調節	明るさ、コントラスト、彩度、シャープネスを調節します。
⑫	設定	イメージモード、解像度、カラーシステムを設定します。
⑬	終了	書画カメラアプリを閉じます。

投票

 をタッチして投票アプリを起動します。

投票テーマ（必須ではありません）と選択肢（最小 2 個、最大 10 個）を入力できます。「完成」をタッチすると、モバイルデバイスでスキャンできる QR コードが生成されます。



お知らせ

投票アプリは、本機とモバイルデバイスの両方がインターネットに接続されている場合にのみ機能します。

QRコードをスキャンした後、モバイルデバイス上で投票テーマと選択肢を確認できます。選択後「Submit」をタッチして投票してください。



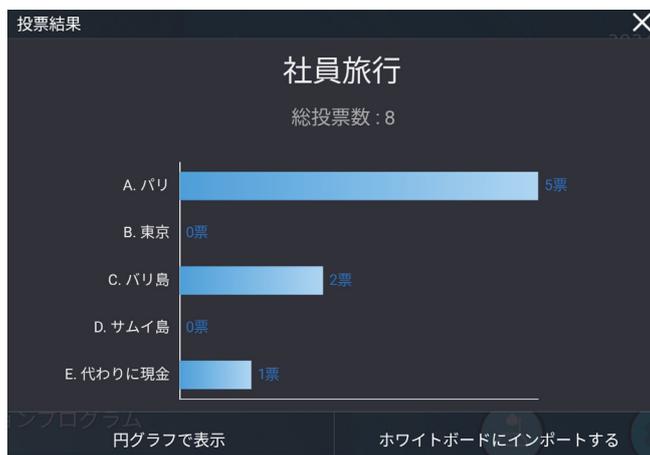
投票中は、QRコードの下に投票者数がリアルタイムで表示されます。結果をタッチします。



「確認」をタッチして現在の投票を終了し、結果を表示できます。



投票結果は「円グラフで表示」または「棒グラフで表示」で表示できます。

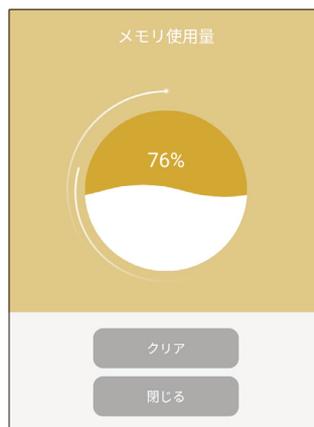


「ホワイトボードにインポートする」をタッチして、現在の投票結果をホワイトボードに挿入できます。



🗑️ メモリクリーン

🗑️ をタッチして、メモリクリーンを起動します。「クリア」をタッチして起動中のアプリをすべてクリアします。



表示／再生可能なファイル

静止画

対応フォーマット

拡張子	対応
.jpg .jpeg .jpe	ベースライン、プログレッシブ
.PNG	インターレース、ノンインターレース
.bmp	—
.gif	静止画と動画に対応しています。
.heic	—
.webp	—

動画

対応フォーマット

拡張子	動画コーデック	音声コーデック
.avi	MPEG-1/2, MPEG-4 H.263, H.264 WMV3 MJPEG	IMA-ADPCM, MS-ADPCM LPCM AAC-LC, AAC-HE
.3gp,.3gpp	H.263, H.264, H.265 MPEG-1/2, MPEG-4 MJPEG AV1	MP2, MP3 AAC-LC, AAC-HE VORBIS LPCM IMA-ADPCM, MS-ADPCM
.mkv	VP8, VP9 H.263, H.264, H.265 MPEG-1/2, MPEG-4 WMV3 MJPEG AV1	AMR-WB, AMR-NB OPUS FLAC IMA-ADPCM, MS-ADPCM LPCM VORBIS AAC-LC, HEAAC MP2, MP3
.flv	H.263, H.264	AAC-LC, AAC-HE MP2, MP3
.mov	H.263, H.264, H.265 MPEG-1/2, MPEG-4 MJPEG AV1	MP2, MP3 AAC-LC, AAC-HE VORBIS LPCM IMA-ADPCM, MS-ADPCM
.mp4	VP8, VP9 H.263, H.264, H.265 MPEG1/2/4 MJPEG AV1	MP2, MP3 AAC-LC, AAC-HE VORBIS LPCM IMA-ADPCM, MS-ADPCM
.mpg,.mpeg	MPEG-1/2	MP2, MP3 AAC-LC, AAC-HE LPCM
.ts, .trp, .tp	H.263, H.264, H.265 MPEG-1/2	MP2, MP3 AAC-LC, AAC-HE
.webm	VP8, VP9	VORBIS

BGM

対応フォーマット

拡張子	音声コーデック
.aac	AAC-LC AAC-HE
.amb	LPCM
.amr	AMR WB
.arm	AMR NB
.flac	FLAC
.m4a	AAC-LC, AAC-HE
.m4r	AAC-LC, AAC-HE
.mid	MIDI
.mp3	MPEG1/2 layer1 MPEG1/2 layer2 MPEG1/2/2.5 layer3
.wav	LPCM, ADPCM
.mkv	MPEG1/2/2.5 layer3 AAC-LC, AAC-HE OPUS
.mka	VORBIS
.oga	Vorbis OPUS
.opus	OPUS
.wav	LPCM

参考情報

項目	条件		
解像度とプロファイル	MPEG-1	1920x1080@60fps	MP@HL
	MPEG-2	1920x1080@60fps	MP@HL
	MPEG-4 Visual	1920x1080@60fps	Simple Profile Advanced Simple Profile@Level 5 GMC は非サポート
	MJPEG	1920x1080@30fps	—
	H.263	1920x1080@60fps	ベースラインプロファイルのみ
	H.264	4096x2304@60fps	Main and High profile level 5.2
	H.265	4096x2304@60fps 8192x4320@30fps	Main/Main10 Profile, High Tier @Level 6.0
	Motion JPEG	1920x1080@30fps	—
	AV1	4096x2304@60fps 7680*4320@30Hz	Main Profile @ Level 6.0
	VP8	1920x1080@60fps	—
	VP9	4096x2304@60fps 8192x4320@30fps	Profile 0 (420 8bit) Profile 2 (420 10bit)@Level 6.0
WMV3	1920x1080@60fps	—	

解像度	BMP	3840x2160 まで
	JPEG	プログレッシブ：3840x2160 まで
		ベースライン：3840x2160 まで
	PNG	インターレース：3840x2160 まで
ノンインターレース：3840x2160 まで		

動画ビットレート	H.264	135Mbps まで
音声サンプリングレート	FLAC	96kHz まで
音声ビットレート	MP2	384kbps まで
	MP3	320kbps まで
	IMA-ADPCM, MS-ADPCM	384kbps まで
	LPCM	1.5Mbps まで
	AAC-LC	576kbps まで
	AAC-HE	288Mbps まで
	AMR WB	23.85kbps まで
	AMR NB	12.2kbps まで
	VORBIS	—
OPUS	510kbps まで	

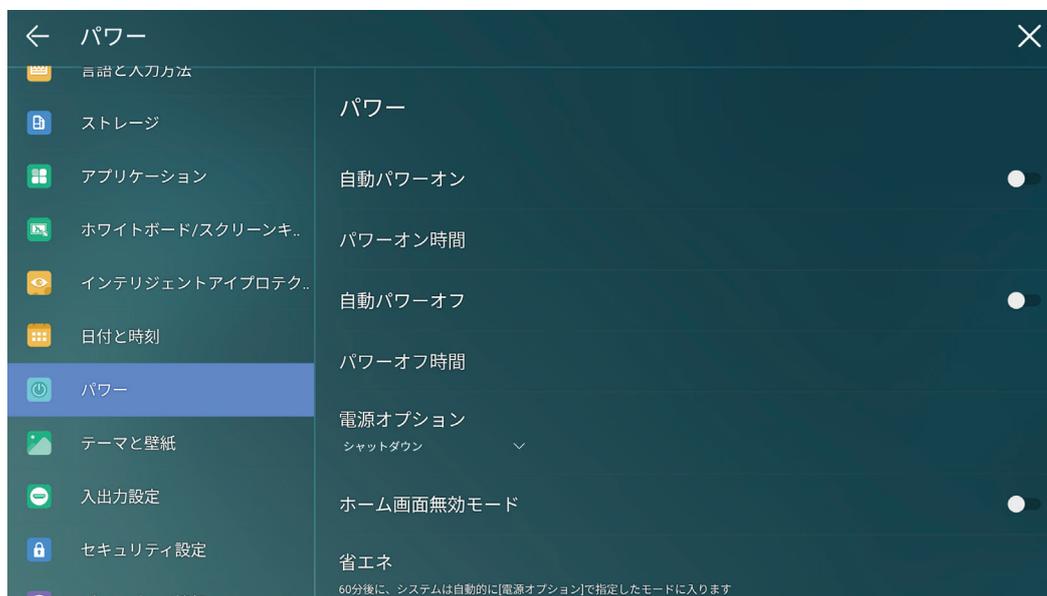
高度な操作

自動パワーオン / オフと省エネ機能

「自動パワーオン」、「自動パワーオフ」で本機の状態を任意の曜日と時間に切り替えることができます。

本機がシャットダウン状態から電源オンする曜日と時間を「パワー」→「自動パワーオン」→「パワーオン時間」で設定できます。

電源オン状態からシャットダウンに移行する曜日と時間を「パワー」→「自動パワーオフ」→「パワーオフ時間」で設定できます。



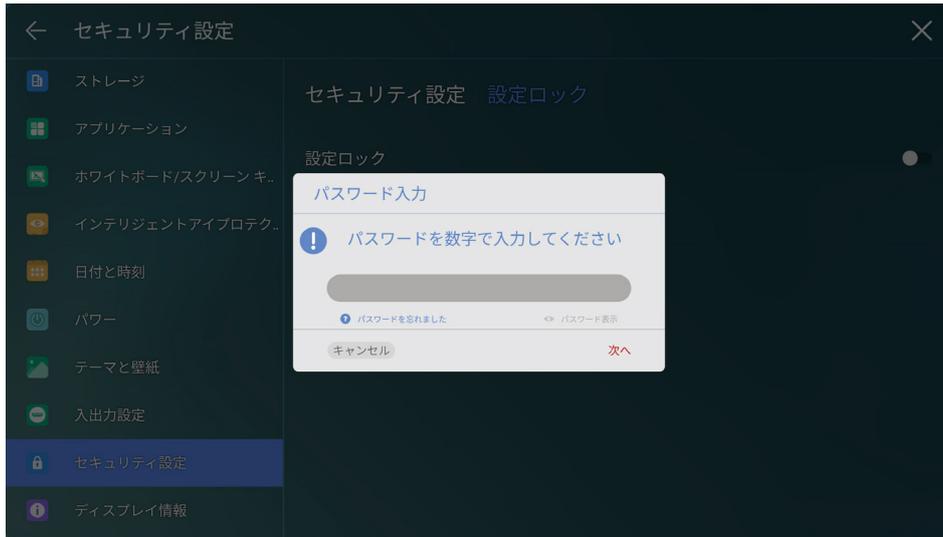
パスワードロックと設定ロック

「セキュリティ設定」→「パスワードロック」を「オン」にすると、スタート画面で Press start をタッチしたときにパスワード入力画面を表示します。

パスワードを入力するとホーム画面を表示し、本機を通常通りに使用できます。



「設定ロック」を「オン」にすると、設定画面を表示するアイコンをタッチしたときにパスワード入力画面を表示します。パスワードを入力すると設定画面を表示し、設定項目を変更することができます。



映像出力

HDMI出力

本機の映像出力機能には以下の制限があります。

- HDCP で保護された映像コンテンツには対応していません。映像出力する場合は、映像信号が HDCP で保護されていないかご確認ください。
- HDMI 入力コネクタからの映像は出力できません。
- 画面共有アプリ "ESharePro" の画面は出力できません。

ホットスポットとテザリング

■ 本機からコンピューターへの接続

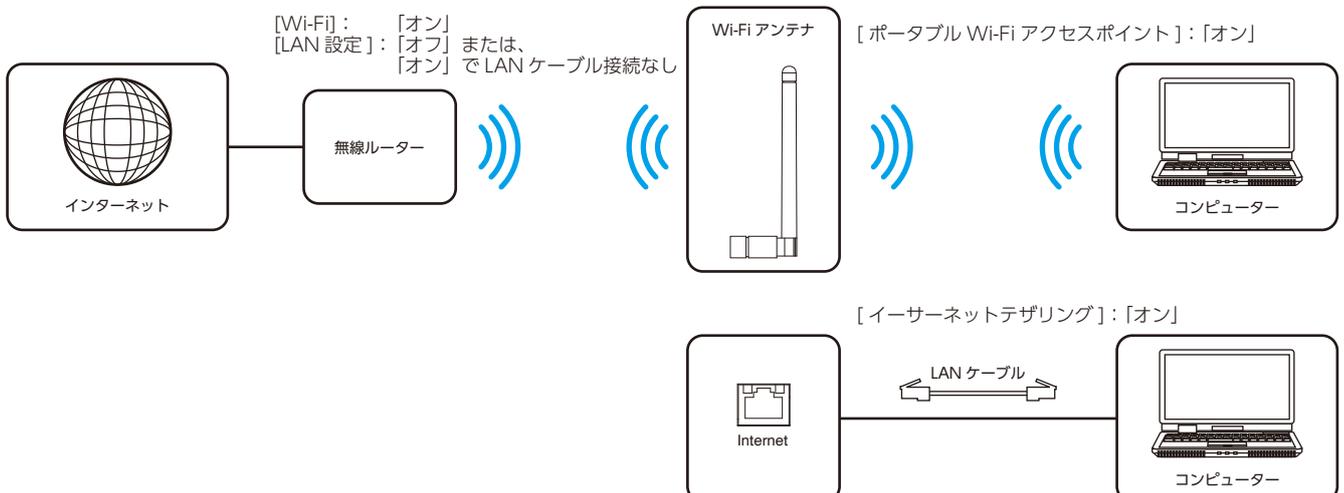
インターネットへの接続がWi-Fiの場合

Wi-Fi での接続

- OSD 調節リストの [設定] - [ネットワーク] - [アクセスポイントとテザリング] - [ポータブル Wi-Fi アクセスポイント] を [オン] にすると本機がアクセスポイントとなり、コンピューターなどを本機に Wi-Fi で接続すると本機を介してコンピューターからインターネットへの接続がおこなえます。
- 本機に Wi-Fi 接続する際の AP 名 (アクセスポイント名) などは [設定] - [ネットワーク] - [アクセスポイントとテザリング] - [ホットスポットをセットアップします] をタッチして確認できます。AP 名は変更可能です。

ネットワークケーブルでの接続

- コンピューターなどを本機にネットワークケーブルで接続してから、[設定] - [ネットワーク] - [アクセスポイントとテザリング] - [イーサネットテザリング] を [オン] にします。コンピューターなどを本機にネットワークケーブルで接続することにより本機を介してコンピューターからインターネットへの接続がおこなえます。



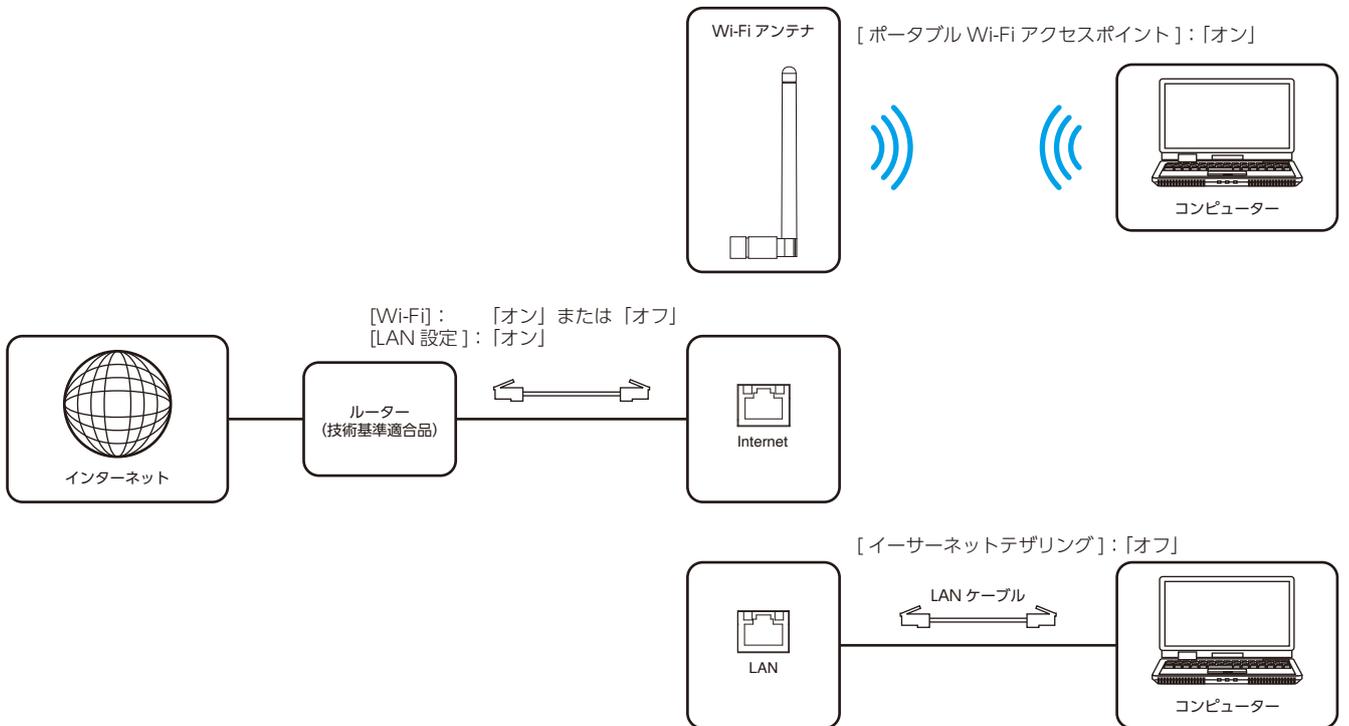
インターネットへの接続が有線LANの場合

Wi-Fi での接続

- インターネットへの接続が Wi-Fi のときを参照ください。

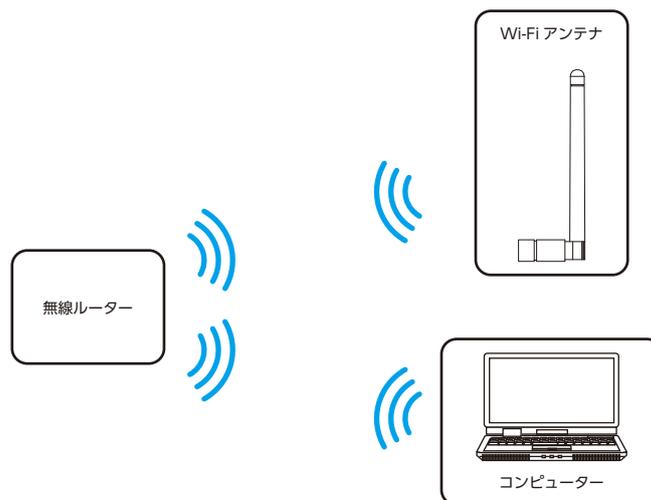
ネットワークケーブルでの接続

- [設定] - [ネットワーク] - [アクセスポイントとテザリング] - [イーサネットテザリング] を「オフ」にし、コンピューターなどを本機にネットワークケーブルで接続することにより本機を介してコンピューターからインターネットへの接続がおこなえます。
- インターネットへの接続が有線 LAN のときに [イーサネットテザリング] を「オン」にすると有線 LAN の接続が切断されます。
- [設定] - [ネットワーク] - [Wi-Fi] が「オン」のときは、有線 LAN から Wi-Fi 接続に接続が切り替わります。



■ 画面共有アプリEShareProでのWi-Fi接続

本機とデバイス（コンピューター、モバイルデバイス）を同じ無線ルーターに Wi-Fi 接続します。インターネットとの接続が必要な場合は無線ルーターをインターネットに接続します。



[ポータブル Wi-Fi アクセスポイント] を「オン」にして本機をアクセスポイントにし、デバイス（コンピューター、モバイルデバイス）を本機に接続します。

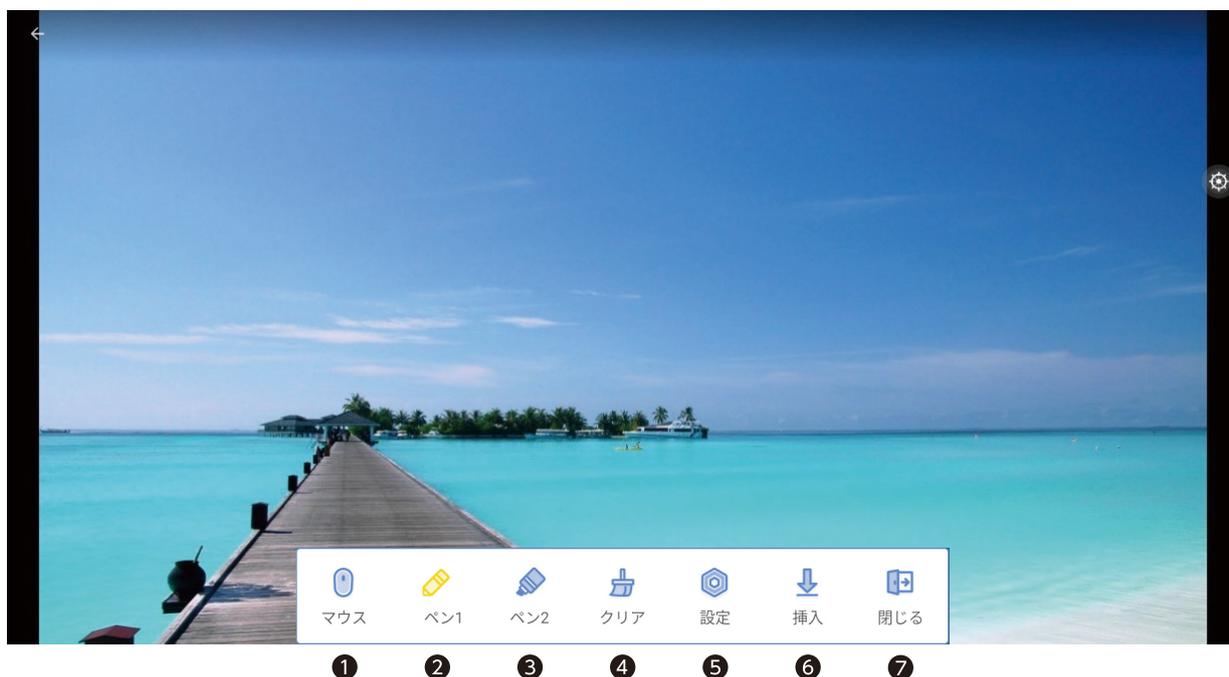
インターネットとの接続が必要な場合は本機をインターネットに接続されたルーターに接続します。



手書きモード

フローティングツールバーの  タッチして手書きモードを起動します。

画面上に透明なレイヤーが生成され、手書きモードを終了するまでレイヤー上に手書きを追加できます。



No.	アイコン名	機能
①	マウス	タッチ操作のモードに切り替えます。
②	ペン 1	ペン 1 での描画モードを有効にします。ペンの色とサイズを設定できます。
③	ペン 2	ペン 2 での描画モードを有効にします。ペンの色とサイズを設定できます。
④	クリア	手書きした内容を削除します。「消しゴム」または「すべてクリア」を選択して削除します。
⑤	設定	ペン認識と指認識の設定画面を表示します。
⑥	挿入	手書き入力した画面をホワイトボードへ挿入します。
⑦	閉じる	手書きモードを終了します。

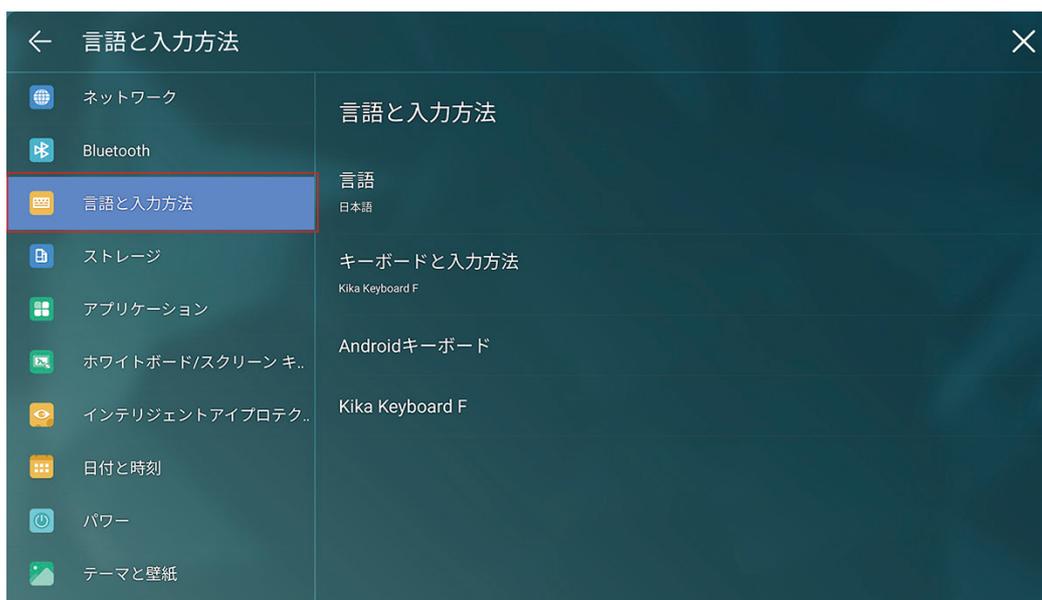
キーボードの切り替え方法

キーボードの切り替え方法は以下です。

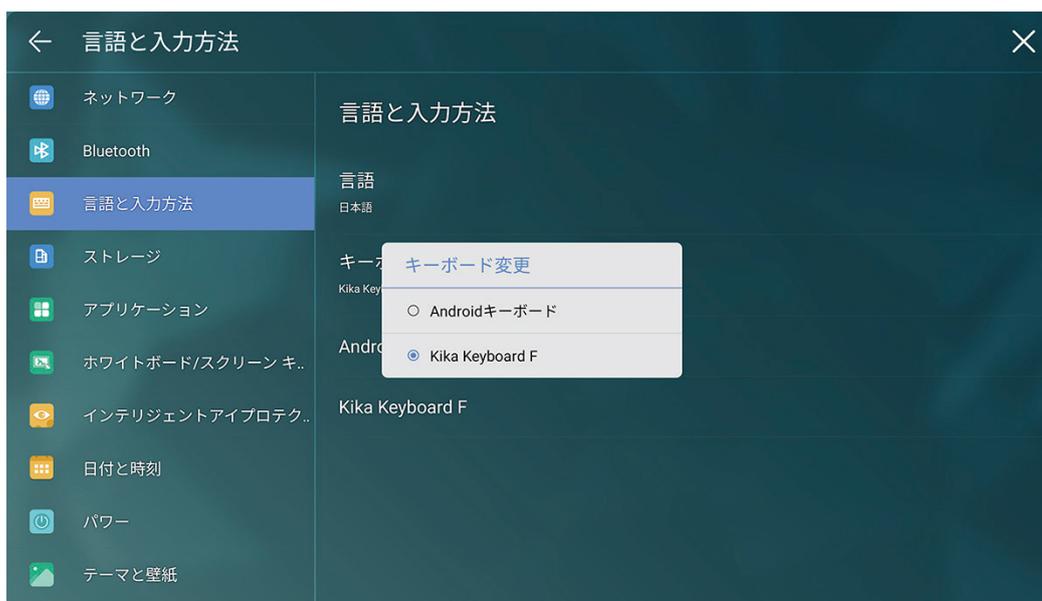
1. ホーム画面の  をタッチし、設定画面を開く。



2.  言語と入力方法をタッチし、サブメニューを表示します。



3. 「キーボードと入力方法」をタッチし、表示されたキーボード変更画面から選択する。
初期設定の入力方法は、Kika Keyboard F です。



OSD 調節リスト

設定

設定画面へのアクセス方法は以下です。

- リモコン (19 ページ参照) の  ボタンを押す。
- ホーム画面 (32 ページ参照) の  をタッチする。
- Quick settings (35 ページ参照) の  をタッチする。



設定項目	機能
 ネットワーク	Wi-Fi モジュール装着時にネットワークの設定をします。
状態	ネットワークへの接続状態とネットワークに関する情報を表示します。
LAN 設定	LAN ポートの使用と、IP アドレスの設定をおこないます。 お知らせ [LAN 設定] を [オン] にすると、[Wi-Fi] は自動的に [オフ] になります。
Wi-Fi	Wi-Fi のオン / オフと接続の設定をおこないます
プロキシ設定	プロキシサーバーの設定をおこないます。
LAN 経由でウェイクアップ	LAN で接続した外部機器で本機の電源をオンにする機能です。 お知らせ [LAN 設定] が [オン] になっているかご確認ください。

設定項目		機能
アクセスポイントとデザリング		
	ポータブル Wi-Fi アクセスポイント	本機を Wi-Fi アクセス ポイントにする機能です。
	Wi-Fi ホットスポットを設定します	「Wi-Fi ホットスポットをセットアップします」をタッチすると設定画面が表示されます。
	イーサネットデザリング	イーサネットデザリングのオン / オフを設定します。
	USB イーサネットを介して IFPD のインターネット接続を共有する	<p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 先にコンピューターと本機を有線 LAN で接続し、「イーサネットデザリング」を「オン」にしてください。「イーサネットデザリング」を「オン」にしたまま「LAN 設定」をオン、オフしないでください。 「イーサネットデザリング」を「オン」にすると有線 LAN の接続は切断されます。 「LAN 設定」が「オン」、[Wi-Fi] が「オン」で、有線 LAN が接続されているときに「イーサネットデザリング」を「オン」にすると Wi-Fi 接続に切り替わります。接続状態は「ネットワーク」の「状態」で確認できます。
	Bluetooth	
	Bluetooth	Bluetooth のオン / オフの設定と、接続の設定をおこないます。
	言語と入力方法	
	言語	メニューを表示する言語を選択します。
	キーボードと入力方法	入力するキーボードを選択します。
	Android キーボード (AOSP) キーボード	詳細設定画面を表示します。
	Kika Keyboard F	詳細設定画面を表示します。
	ストレージ	本機のストレージ詳細を表示します。
	アプリケーション	本機に搭載されているアプリ、実行中のアプリ、本機のメモリー状況を確認できます。
	ホワイトボード / スクリーンキャプチャ	
	定期的にデータをクリーンアップします	ホワイトボードのデータを定期的に削除する設定をします。工場出荷時は 30 日に設定されています。
	インテリジェントアイプロテクション	画面から発光されるブルーライトを低減するなど、目の保護に関する設定をします。

設定項目	機能
 日付と時刻	
タイムゾーンの選択	本機を使用する地域とUTC(Universal Time, Coordinated)) (協定世界時) との時差を設定します。
日付と時刻を自動的に決定します	ネットワークから日付と時刻を自動的に取得するか設定します。 お知らせ 「オン」にした場合、本機がネットワークに接続されていることをご確認ください。
日付設定	「日付と時刻を自動的に設定します」の設定を「オフ」にしたときに、手動で年 / 月 / 日 / 時間を設定します。 お知らせ 主電源をオフにすると、設定した日付 / 時刻は初期設定に戻ります。本機のバッテリースロット (「各部の名称」 16 ページ) にボタン電池を入れている場合、設定した日付 / 時刻を保持します。
時刻設定	
24 時間形式使用	「オン」にすると時刻の表示形式を 24 時間形式にします。 「オフ」にすると時刻の表示形式を 12 時間形式にします。
 パワー	
自動パワーオン	自動パワーオンをオン / オフを設定します。
パワーオン時間	自動的に本機がシャットダウン状態から電源オンする曜日と時刻を設定します。
自動パワーオフ	自動パワーオフをオン / オフを設定します。
パワーオフ時間	自動的に本機をシャットダウン状態にする曜日と時刻を設定します。
電源オプション	「省エネ」で設定した時間が経過した後に本機が移行するモードを設定します。
シャットダウン	シャットダウン状態にします。
スリープモード	スリープモードにします。
ホーム画面無効モード	ホーム画面を無効にします。 映像信号のみを表示します。 お知らせ ホーム画面無効モードに設定後、本機がシャットダウン状態から電源オンすると、入力は「拡張ボード (OPS)」になります。
省エネ	本機電源オン状態からシャットダウンまたはスリープモードに移行する時間を設定します。設定時間が経過した後の移行状態は「電源オプション」で設定します。3 分～ 480 分以内で設定できます。
CEC オートパワーオン	CEC オートパワーオンのオン / オフを設定します。
CEC オートパワーオフ	CEC オートパワーオフのオン / オフを設定します。
 テーマと壁紙	ホーム画面のテーマと壁紙を設定します。
入出力設定	
既定の入力	既定の入力設定をします。
カメラ	本機に接続されているカメラのオン / オフを設定します。オフを設定した場合、カメラアプリで接続されているカメラは使用できません。
C ボタン機能割り当て	コントロールボタン C キーの動作を選択します。入力の切り替え、機能の設定、アプリケーションの起動などを設定できます。
起動時の画面	起動時の入力を設定します。ホーム画面、最後に使用した入力、既定の入力から選択します。
HDMI OUT	HDMI 出力の信号フォーマットを選択します。
入力検出	新たに接続された入力に自動的に切り替えます。
入力検出時の自動起動	シャットダウン状態で新しい入力が検知されたとき、本機は自動的に起動します。

設定項目	機能
セキュリティ設定	
USB ロック	USB 端子がパソコンから検知できなくなります。 ホーム画面では USB ストレージデバイスが検知できなくなります。
パスワードロック	「オン」にすると、スタート画面からホーム画面に入るときにパスワードを入力する画面を表示します。初回時はパスワード設定画面が表示されます。 お知らせ 「パスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを記録し安全な場所に保管してください。パスワードを忘れてしまった場合は、ロックを解除するため作業が必要になります。詳細については販売店にお問い合わせください。」
設定ロック	設定画面に入るときにパスワードを入力する画面を表示します。初回時はパスワード設定画面が表示されます。 お知らせ 「パスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを記録し安全な場所に保管してください。パスワードを忘れてしまった場合は、ロックを解除するため作業が必要になります。詳細については販売店にお問い合わせください。」
信頼できる資格情報	あらかじめインストールされている証明書とユーザーがインストールした証明書を表示します。
USB からインストール	USB ストレージデバイスから証明書をインストールします。
資格情報の削除	インストールしたすべての証明書を削除します。
ディスプレイ情報	
システムアップデート	ファームウェアアップデートがあるときは  を表示します。 「システムアップデート」をタッチするとインストールを開始します。 電源オン時にネットワークに接続されていると、新しいファームウェアがある場合はダイアログを表示します。ファームウェア更新にかかる時間はネットワーク環境で異なります。ファームウェアアップデート中でも、ホーム画面に戻ることによって本機を使用できます。
工場出荷時の設定の復元	「OK」を選択するとすべての設定が工場出荷の状態に戻ります。
ファームウェアのリビジョン	本機の情報を表示します。
シリアルナンバー	

クイック設定メニュー

設定項目	機能
Quick Settings	
音量	音量を調節します。
輝度	輝度を調節します。
ホットスポット	ホットスポットのオン / オフを設定します。
Wi-Fi	Wi-Fi のオン / オフを設定します。
Bluetooth	Bluetooth のオン / オフを設定します。
ミュート	ミュートのオン / オフを設定します。オンにすると音声出力をとめます。
フリーズ	フリーズ機能のオン / オフを設定します。オンにすると画面を静止します。
ツールバー	フローティングツールバーの表示 / 非表示を設定します。
Touch tone	画面をタッチした時の操作音をオン / オフします。
ホーム	ホーム画面を表示します。
設定	設定画面を表示します。
入力	入力画面を表示します。
音声のみ	音声のみを出力し、黒画面を表示します。
スクリーンショット	スクリーンショットアプリを起動します。 お知らせ HDMI 出力コネクタから出力できない映像は、スクリーンショットを撮れません。ただし、HDCP で保護されていない HDMI 入力コネクタからの映像は、スクリーンショットを撮れます。詳細は HDMI 出力 (69 ページ) を参照ください。
ガジェット	使用するアプリを選択します。タッチすると選択したアプリを起動します。表示される枠内を長押しすると選択できるアプリを入れ替えることができます。
画面分割	2 つのアプリを選択し、画面を分割して表示します。

設定項目	機能
モード	入力信号に関する設定をします。 お知らせ 「入力」で入力端子を設定している場合、ショートカットアイコンが Quick settings に表示されます。
ディスプレイモード	
アスペクト比	画像のアスペクトを選択します。
P2P	入力信号の解像度ごとのパネル画素数で表示します。
16:9	16:9 の比率で画面いっぱいに表示します。
4:3	4:3 の比率で画面いっぱいに表示します。
色の範囲	表示する階調範囲を映像信号にあわせ、映像の白飛びや黒浮きを改善します。
16-235	AV 機器用の設定です。入力信号の 16 ~ 235 階調を 0 ~ 255 階調に拡張して表示します。
0-255	コンピューター用の設定です。入力信号の 0 ~ 255 階調をすべて表示します。
自動	映像信号を検出し自動的に「16-235」または「0-255」に切り替えます。通常はこちらを選択してください。
サウンドモード	使用する環境に適した音声効果の設定にしたり、任意の設定ができます。
標準	標準の音響設定です。
ミーティング	電話会議やテレビ会議に適した音響設定です。
クラスルーム	教室に適した音響設定です。
カスタム	任意の設定ができます。
低音	低音域の音量を調節します。
高音	高音域の音量を調節します。
バランス	左右の音声バランスを調節します。
EDID	
1.4	最大解像度 3840 × 2160 30Hz で表示します。
2.0	最大解像度 3840 × 2160 60Hz で表示します。 [2.0] に設定して正しく表示されない場合は [1.4] に戻し、ご使用のグラフィック環境の対応状況をご確認ください。

設定項目	機能
イメージ	
画像モード	使用する環境に適した映像設定にしたり、任意の設定ができます。
標準	標準の映像設定です。
鮮やか	全体的に鮮やかに表示する設定です。
ソフト	全体的にソフトに表示する設定です。
カスタム	任意の設定ができます。
輝度	輝度を調節します。
コントラスト	コントラストを調節します。
色相	色合いを調節します。
彩度	色のこさを調節します。
シャープネス	文字や画像のキレを調節します。
色温度	白色の色温度を調節します。
標準	液晶パネルの白色を表示します。
暖色	画を赤っぽく表示します。
寒色	画を青っぽく表示します。
バックライトモード	画像の明るさをバックライトで調節します。
エコ	エコモードに設定し、明るさをセーブします。
標準	標準の明るさ設定です。
自動	外光センサーにより自動的に明るさを調節します。
カスタム	任意の設定ができます。
バー表示 0-100	

外部制御

外部機器との接続方法

ディスプレイとコンピューターなどの外部機器との接続方法には、次の 2 つがあります。

- RS-232C 端子を使用した接続
RS-232C 端子を使用して、ディスプレイとコンピューターを接続します。
- ネットワーク (LAN) 経由での接続
LAN ケーブルを使用して、ディスプレイとコンピューターを接続します。

RS-232C 経由でのディスプレイ制御

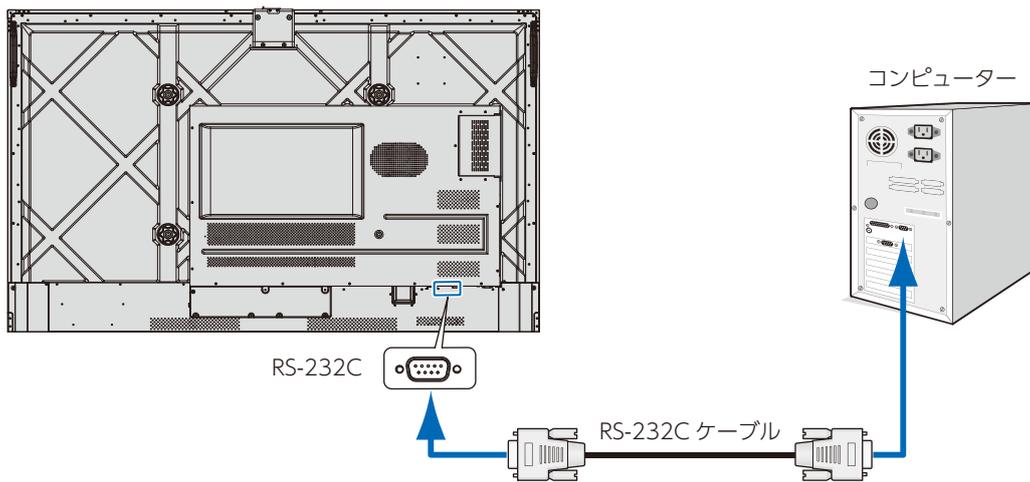
本機の RS-232C 端子とコンピューターの RS-232C 端子をストレートタイプの RS-232C ケーブル (市販) で接続するとコンピューターから次のような操作が可能になります。

- 電源を入れるまたは本機をシャットダウン状態にする
- 入力の切替
- ミュート (消音) の切替

接続方法

本機とコンピューター

- 接続はコンピューターと本機の主電源を切ってください。
- 最初にコンピューターを立ち上げてから本機の主電源を入れてください。(com ポートが正常に動作しない場合があります。)
- RS-232C で接続されたディスプレイを制御する場合は、本取扱説明書の「外部制御」内の「コマンド」を参照ください。



お知らせ

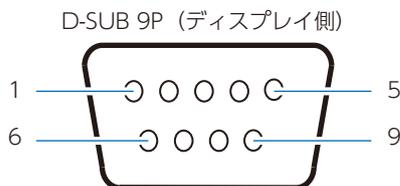
- コンピューターの 25 ピンシリアルポートと接続する場合は変換アダプターが必要です。
変換アダプターについてはお買い上げの販売店へお問い合わせください。
- ピン配列については「RS-232C input/output」を参照してください。

本機は RS-232C コントロール用として RXD、TXD および GND ラインを使用します。
ストレートタイプの RS-232C ケーブル (市販) を使用してください。

ピンの配列

RS-232C input / output

Pin No	Name
1	NC
2	RXD
3	TXD
4	NC
5	GND
6	NC
7	NC
8	NC
9	NC



ディスプレイは RS-232C の制御に RXD、TXD、GND を使用します。

LAN 経由でのディスプレイ制御 (Wi-Fi モジュール装着時)

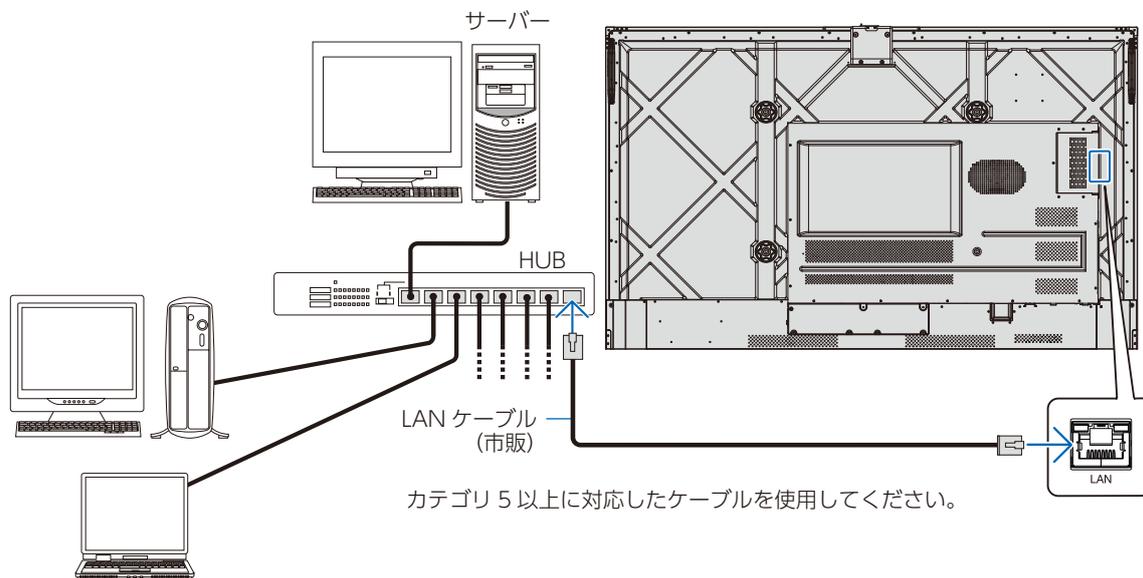
本機には LAN ポート (RJ-45) が標準装備されています。本機をネットワークに接続すると、本機からメール通知を送ったりコンピューターからネットワークを経由して本機を制御することができます。本機を LAN 環境で使用する場合は、本機に IP アドレスなどを設定する必要があります (【[ネットワーク](#)】74 ページ)。

DHCP ネットワークに接続した場合自動的に本機の IP アドレスを取得します。

お知らせ

Wi-Fi 経由でのディスプレイ制御は対応していません。

接続例



コマンド

RS-232C 端子やネットワーク (LAN) 経由で接続した外部機器とコマンドを送受信することでディスプレイの制御ができます。

お知らせ

シャットダウン状態ではネットワーク (LAN) 経由での制御はおこなえません。RS-232C 端子を使用した接続時のみ、シャットダウン状態でも「電源オン」が動作します。

RS-232C端子を使用した接続

項目	詳細
プロトコル	RS-232C
ボーレート	19200 [bps]
データ長	8 [bits]
パリティ	なし
ストップビット	1 [bit]
フロー制御	なし

ネットワーク(LAN)経由での接続

項目	詳細
プロトコル	TCP
ポートナンバー	6688
コミュニケーション速度	自動設定 (10/100 Mbps)

本機で使用するパラメーター

機能	コントロールコード	リターンコード
電源オン	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 00 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 00 01 CF
電源オフ	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 01 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 01 01 CF
ミュート/ミュート解除	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 02 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 02 01 CF
入力画面表示	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 06 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 06 01 CF
ホワイトボード起動	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 07 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 07 01 CF
本機の状態	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 09 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 09 01 CF
HDMI (前面)	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 0A CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 0A 01 CF
HDMI1	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 52 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 52 01 CF
HDMI2	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 53 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 53 01 CF
VGA	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 54 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 54 01 CF
内蔵 PC ユニット	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 38 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 38 01 CF
DP	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 56 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 56 01 CF
ページアップ	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 13 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 13 01 CF
ページダウン	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 14 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 14 01 CF
音量 -	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 17 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 17 01 CF
音量 +	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 18 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 18 01 CF

機能	コントロールコード	リターンコード
Quick settings メニュー	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 1B CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 1B 01 CF
ホーム画面	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 1C CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 1C 01 CF
戻る (終了)	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 1D CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 1D 01 CF
OK	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 2B CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 2B 01 CF
←	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 2C CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 2C 01 CF
→	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 2D CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 2D 01 CF
↑	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 2E CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 2E 01 CF
↓	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 2F CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 2F 01 CF
音量設定	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 05 XX CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 05 XX 01 CF 注記: XX はボリュームの値 (0 ~ 100) を示し、16 進数体系 (00 ~ 64) に対応します。
ファームウェアリビジョン確認	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 3D CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 3D 01 CF
バックライトモードの設定	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 06 XX CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 06 XX 01 CF 注記: XX はモードを示します。 00 - 標準 01 - ECO 02 - カスタム 03 - 自動
手書き機能の有効化	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 40 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 40 01 CF
バックライトの明るさを上げる	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 47 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 47 01 CF
バックライトの明るさを下げる	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 48 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 48 01 CF
バックライトの明るさの設定	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 09 XX CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 09 XX 01 CF 注記: XX はバックライトの明るさの値 (1 ~ 100) を示し、16 進数体系 (01 ~ 64) に対応します。
バックライトの切り替え	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 15 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 15 XX CF 注記: XX = 01 はバックライトがオンであることを示します。 XX = 00 はバックライトがオフであることを示します。
チャイルドロックの切り替え	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 57 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 57 01 CF
スクリーンショットの撮影	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 1F CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 1F 01 CF
設定画面	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 20 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 20 01 CF
電源の状態	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 37 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 37 XX CF 注記: XX は電源 ON/OFF の状態を示します。 XX = 01: 電源オン状態。 XX = 00: 電源オフ状態。
ミュートの状態	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 82 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 82 XX CF 注記: 01: ミュート 00: 非ミュート
現在の入力	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 50 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 50 XX CF 注記: ホーム画面 = 30 内蔵 PC ユニット = 17 DP = 20 HDMI1 = 1F HDMI2 = 1E VGA = 00 HDMI (前面) = 19 USB TYPE-C = 18

機能	コントロールコード	リターンコード
音量の取得	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 33 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 33 XX CF 注記： XXは現在の音量値を示します（XXは16進数、範囲：00～64）。 例えば、XX=20は現在の音量値が32（10進数）、XX=00はミュート状態であることを示します。
バックライトモード	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 35 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 35 XX CF 注記：XXはモードを示します。 XX=00 - 標準 XX=01 - ECO XX=02 - カスタム XX=03 - 自動
バックライトの明るさ	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 49 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 49 XX CF 注記： XXはバックライトの明るさの値(0～100)で、16進数表記（00～64）に対応します。
バックライトの状態	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 81 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 81 XX CF 注記： XX=00はバックライトが消灯していることを示します。 XX=01はバックライトが点灯していることを示します。
チャイルドロックの状態	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 84 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 84 XX CF 注記： XX=01はチャイルドロックがオンになっていることを示します。 XX=00はチャイルドロックがオフであることを示します。
ホワイトボードの状態	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 83 CF	7F 09 99 A2 B3 C4 02 FF 01 83 XX CF 注記： XX=01はホワイトボード状態にあることを示します。 XX=00はホワイトボード状態にはないことを示します。
システムの状態	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 0A 00 CF	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 0A 00 AB CD EF GH IJ OP QR ST UV CF 注記： AB：電源の状態 CD：ミュートの状態 EF：現在の入力 GH：音量 IJ：バックライトモード OP：バックライトの明るさ QR：バックライトの状態 ST：ホワイトボードの状態 UV：チャイルドロックの状態

故障かな？と思ったら…

このようなときは、チェックしてください。

表示されないときは…

症状	状態	原因と対処	参照
画面に何も映らない	電源ランプが点灯しない場合	電源コードが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P. 17
		電源コンセントに正常に電気が供給されているか、別の機器で確認してください。	
		主電源スイッチがオフになっている可能性がありますので、確認してください。	P. 17
	電源ランプが白色に点灯している場合	信号入力が無い入力コネクタが選択されている可能性があります。入力コネクタを切り替えてください。	P. 37
		Quick settings を表示し、以下の項目を確認してください。	P. 35
		<ul style="list-style-type: none"> Quick settings が表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または修理受付 / アフターサービス窓口にご相談ください。 	P. 98
		<ul style="list-style-type: none"> Quick settings が正常に表示されれば故障ではありません。「イメージ」－「画像モード」－「カスタム」を選択した場合は、「輝度」と「コントラスト」を調節してください。 	P. 80
	電源ランプが白色以外に点灯もしくは点滅している場合	省エネ機能が作動している可能性があります。コントロールパネルまたはリモコンの電源ボタン  を押してください。	P. 16 P. 19
		信号ケーブルが本機または接続機器のコネクタに正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P. 20
		変換アダプターが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	
接続しているコンピューターや映像機器の電源が入っていない可能性がありますので、確認してください。			
画面が表示されなくなった	正常に表示されていた画面が、暗くなったり、ちらつくようになったり、表示しなくなった場合*	販売店または修理受付 / アフターサービス窓口にご相談ください。	P. 98
音声は出力されるが画像が真っ暗のまま		「音声のみ」の設定をご確認ください。	P. 78
何も操作していないときに本機の電源が自動的にオン / オフする		自動パワーオン / 自動パワーオフ、CEC オートパワーオン / CEC オートパワーオフを無効にしてください。	P. 76
HDMI 出力で接続した機器から映像が出ない		外部機器によっては正しく表示されない場合があります。外部機器を交換し、映像が出力されるかご確認ください。	
		HDMI ケーブルが長すぎたり、品質が悪いと正しく出力されない場合があります。本機付属の HDMI ケーブルをご使用ください。	

* ディスプレイに使用しているバックライトには寿命があります。

表示がおかしいときは…

症状	原因と対処	参照
画面上に黒点（点灯しない点）や輝点（点灯したままの点）がある	液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P. 1
画面表示の明るさにムラがある	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面に薄い縦縞の陰が見える	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
細かい模様を表示するとモアレが生じる	細かい模様を表示するとこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面を見る角度によって色がおかしい	視野角（画面を見る角度）によっては、色相の変化が大きくなります。	P. 92 P. 94
画面の表示状態が変わっていく	ディスプレイは使用時間の経過に伴い表示状態が少しずつ変化します。また周囲の温度によっては画面の表示状態に影響を受けることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面を切り替えても前の画面の像が薄く残っている	長時間同じ静止画面を表示すると、このような残像が起こることがあります。コントロールパネルの  ボタンでスリープモードにするか、変化する画面を表示していれば、残像は 1 日程度で自然に消えます。長時間に渡って静止画面を表示すると、残像が消えなくなる場合がありますが、故障ではありません。使用しないときには電源を切ることをおすすめします。	P. 13
表示色がおかしい	Quick settings を表示し、以下の項目を確認してください。	P. 35
	<ul style="list-style-type: none"> Quick settings が正常に表示されれば故障ではありません。「色温度」を選択し調節していただくか、「工場出荷時の設定の復元」を実行して工場出荷値に戻してください。 	P. 77 P. 80
	<ul style="list-style-type: none"> Quick settings が正常に表示され、「イメージ」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。 	P. 80
画面がざらつく（上記以外の場合）、または映像が一瞬途切れる	中継器、分配器、長いケーブルを使用した場合、画面のざらつきや映像が一瞬途切れることがあります。ご使用のケーブルをシールド付きの物に交換する、もしくは中継器、分配器を使用せずに直接ディスプレイ本体にケーブルを接続してください。ツイストペアケーブル延長器をご利用の際はシールド付きケーブルに対応したものをご使用ください。また、使用環境や使用ケーブルによって画面にノイズが現れたり映像が途切れることがあります。HDMI ケーブルでは 3m 以下、DisplayPort ケーブルでは 1.8m 以下を推奨します。詳しくは販売店にお問い合わせください。	
画面が乱れる	電源を入れたとき、または設定を変更したときに画像が乱れることがありますが、故障ではありません。	
本機の起動時にホーム画面が表示されず「入力信号がありません」の黒画面が出る	本機前面のホームボタン、またはリモコンのホームボタンを押してホーム画面が出ない場合、ホーム画面無効モードになっている可能性があります。リモコンのコマンド操作で解除してください。コマンドは「下、下、上、上、左、右、決定」です。	
	本機前面のホームボタン、またはリモコンのホームボタンを押してホーム画面が出る場合、「起動時の画面」が「既定の入力」や「最後に使用した入力」になっている可能性があります。「設定」→「入出力設定」→「起動時の画面」→「ホーム画面」に設定してください。	

案内画面／注意画面が表示されたら…

症状	状態	原因と対処	参照
画面に「注意」が表示された ^{※1※2} 	信号ケーブルが本体またはコンピューターのコネクタに正しく接続されていない可能性があります。	信号ケーブルを本体およびコンピューターのコネクタに正しく接続してください。	P. 20
	HDMI 入力が切り替わった可能性があります。	[CEC オートパワーオン]の設定を「オフ」にしてください。	P. 76
	信号ケーブルが断線している可能性があります。	信号ケーブルが断線していないか確認してください。	
	コンピューターの電源が切れている可能性があります。	コンピューターの電源が入っているか確認してください。	
	コンピューターのパワーマネージメント機能が作動している可能性があります。	マウスを動かすかキーボードのキーを押してください。	
	本機に適切な信号が入力されていない可能性があります。	入力周波数またはコンピューターの解像度を変更してください。	P. 91
	本機の対応する解像度よりも高い解像度の信号を入力している可能性があります。	入力周波数またはコンピューターの解像度を変更してください。	P. 91
画面に「温度警告!!」が表示された	周りの環境が保証温度を超えた状態になっています。	故障の原因となりますので、電源を切ってください。	

※1 コンピューターによっては、解像度や入力周波数を変更しても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待って画面が正常に表示されれば、入力信号は適正です。

※2 コンピューターによっては電源を入れても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待って画面が正常に表示されれば入力信号の周波数は適正です。

その他(コンピューターと接続している場合)

症状	原因	対処
解像度や色数の変更ができない／固定されてしまう	うまく信号が入出力できないことがまれにあります。	本機とコンピューターの電源をいったん切り、もう一度電源を入れ直してください。
	ビデオカードのドライバーが OS に正しく認識されていない可能性があります。	ビデオカードのドライバーを再インストールしてください。再インストールに関しては、コンピューターの取扱説明書を参照いただくか、コンピューターのサポート機関にお問い合わせください。
接続している USB 対応周辺機器が認識されない。正常に動作しない。	Windows® をお使いの場合：USB 対応周辺機器のデバイスドライバーが正常に組み込まれていない(ドライバーインストールが必要な USB 対応周辺機器のみ)	USB 対応周辺機器のデバイスドライバーを組み込んでください。デバイスマネージャーで“不明なデバイス”と表示される場合は、“不明なデバイス”をデバイスマネージャー上で削除し、USB 対応周辺機器のデバイスドライバーを組み込んでください。
USB ポートを多段接続(複数台の連結接続)した後に、USB 対応周辺機器を接続すると、USB 対応周辺機器が正常に動作しない。	USB 対応周辺機器が、USB ポートの多段接続に対応していない。	USB 対応周辺機器をコンピューターに近い USB ポートに接続してください。

その他(リモコン、スピーカー)

症状	原因と対処	参照
リモコンが反応しない	リモコンを本機のリモコン受光部に向けていますか。	P. 29
	リモコンの有効範囲を超えていませんか。	P. 29
	乾電池の+/-が逆に入っていないですか。	P. 29
	本製品はタッチの検出に赤外線 LED を利用しています。そのためリモコン受光部周辺に光を反射しやすい素材がある場合、タッチ検出用の赤外線がリモコンから発せられる赤外線の信号と干渉してリモコン操作がききにくくなる場合があります。そのようなときは光を反射しやすい素材をリモコン受光部から離すか、素材の表面を黒い布などで覆うことでリモコンの利きが改善します。	
映像は出るが、音が出ない	本機と Windows システムの両方で音量を上げてください。	P. 19
	外付けコンピューターが接続されている場合、ケーブルが正常に接続されていることを確かめてください。	P. 20
	オーディオケーブルが正しく接続されているか確認してください。また音声バランスが片側によっていないか調べてください。片側によっている場合はバランス設定をセンターに戻してください。	P. 20 P. 79
	消音状態になっていませんか。リモコンの ■x ボタンを押して、音が出るかどうかを確認してください。	P. 19
	音量が最小になっていませんか。リモコンの ■) ボタンを押す、または Quick settings の「音量」をタッチし音量を調節してください。	P. 19 P. 78
	DisplayPort 接続している機器によっては音声出力非対応の場合があります。	
HDMI 接続で音が出ない	HDMI ケーブルが正しく接続されているかを確認してください。	

その他(USB、RS-232CまたはLANで接続している)

症状	原因と対処	参照
RS-232C で制御できない	ストレートタイプの RS-232C ケーブルが正しく接続されているかを確認してください。	P. 81
LAN で制御できない (Wi-Fi モジュール装着時)	LAN ケーブル (カテゴリ 5 以上) が正しく接続されているかを確認してください。	P. 82
	ネットワーク設定が正しく設定されているか確認してください。	P. 82
USB で制御できない	USB ケーブルが正しいポートに接続されているかご確認ください。詳細は、「外部コンピューターとタッチ接続」を参照ください。	P. 21

映像機器を使用するとき

症状	原因と対処	参照
映像も音も出ない	プレーヤーなどの外部機器は正しく接続し、正しく操作していますか。詳しくは外部機器の取扱説明書をご覧ください。	P. 20
	外部機器側の映像信号が停止し、本機の省エネ機能が作動している可能性があります。外部機器側が動作 (再生) 状態になっているかご確認ください。	
色がつかない、色がおかしい	「色温度」の調節をしてください。	P. 80
画面が縦長に見える	16:9 の映像が 4:3 に圧縮され、縦長の映像として表示されている場合 (スクイーズ信号) があります。正しい比率で見るために、画面の「アスペクト」を「16:9」に設定してください。	P. 79

その他(タッチパネル)

症状	原因と対処	参照
タッチ操作が正常に動作しない 位置がずれている	本機を再起動してください。	P. 28
	Windows 機器の場合、キャリブレーションをおこなってください。詳細は、「キャリブレーション」を参照ください。	P. 30
	強い光や直射日光がタッチパネルに当たらないようにしてください。	
	タッチパネルの近くに障害物がないようにしてください。	P. 9
	センサー部に埃などが付着するとタッチパネルの反応が悪くなる場合があります。センサー部分が汚れた場合は、コーナーを始点に綿棒や乾いた布で軽くふきとってください。	P. 9
外部入力信号接続時にタッチ操作ができない	入力信号が正しく選択されているかを確認してください。	P. 21
	USB ケーブルが正しいポートに接続されているかご確認ください。	P. 21
	外部コンピューターの仕様および接続の方法によっては、タッチ機能が動作しない場合があります。	
コントロールパネルのボタンが効かない	指でしっかりとタッチして操作してください。	
	本機を再起動してください。	P. 28

その他

症状	原因と対処	参照
会議記録を USB ストレージデバイスに保存できず、「ターゲットストレージ製品には書き込み権限がありません。」というメッセージが表示される	USB ストレージデバイスを FAT32 にフォーマットしてください。	
内蔵 PC ユニットが表示されない	拡張ボード (OPS) がスロットに正しく挿入されているか確認してください。	P. 17
	拡張ボード (OPS) の電源が入っているか確認してください。	
	拡張ボード (OPS) を手動で再起動してください。	
本機または Windows システムで、ワイヤレスネットワークが見つからない、ワイヤレスネットワーク信号が弱い (Wi-Fi モジュール装着時)	Wi-Fi モジュールがスロットに正しく取り付けられているか確認してください。	
キーボードが正しく表示されない	キーボードの切り替え方法を参照し、再設定してください。	P. 72
マイクの音声が歪む	マイク端子はコンデンサーマイクに対応しておらず、ダイナミックマイクを使用する必要があります。音質を確保するため、マイクとユーザーとの距離は 1m 以上確保してください。	
本機が CEC 機器に接続された状態で電源供給が切れると、電源再供給後も本機はオフのままとなり、CEC 機器から本機を操作できない	本機をリモコンで起動し、電源をオフしてください。その後、CEC 機器から本機を操作できるようになります。	P. 19
アプリケーションの動作が不安定	フローティングツールバーの  をタッチし使用中のアプリを終了してください。 お知らせ この方法でアプリを終了した場合、更新したデータは保存されません。	P. 34
画面がキャプチャできない	一部のパソコンでは、パソコンから出力される映像信号に強制的に HDCP 保護がかかってしまい、画面キャプチャができません。パソコンの製造メーカーへお問い合わせください。	P. 69 P. 78
画面共有ができない／接続が不安定	接続している無線ルーター、コンピューターやデバイス側のファイアウォール、ウイルス対策ソフト等により通信が制限されている可能性があります。無線ルーター・パソコン・ソフトウェアのメーカーへお問い合わせください。	P. 48

仕様

対応信号表一覧

解像度	走査周波数		HDMI		Type-C	DP	VGA
	水平	垂直	HDMI (前面)	HDMI1 HDMI2			
640 × 480	31.5 kHz	60 Hz	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	はい
720 × 480	31.5 kHz	60 Hz	はい	はい	いいえ	はい	はい
720 × 480*	15.7 kHz	60 Hz	いいえ	はい	いいえ	いいえ	いいえ
720 × 576	31.3 kHz	50 Hz	はい	はい	いいえ	はい	はい
720 × 576*	15.6 kHz	50 Hz	いいえ	はい	いいえ	いいえ	いいえ
1280 × 720	37.5 kHz	50 Hz	はい	はい	はい	はい	はい
1280 × 720	45.0 kHz	60 Hz	はい	はい	はい	はい	はい
1600 × 1200	75.0 kHz	60 Hz	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	はい
1920 × 1080	27.0 kHz	24 Hz	はい	はい	はい	はい	はい
1920 × 1080	37.0 kHz	24 Hz	はい	はい	はい	はい	いいえ
1920 × 1080	28.1 kHz	25 Hz	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	はい
1920 × 1080	33.8 kHz	30 Hz	はい	はい	はい	はい	はい
1920 × 1080	56.3 kHz	50 Hz	はい	はい	はい	はい	はい
1920 × 1080	67.5 kHz	60 Hz	はい	はい	はい	はい	はい
1920 × 1080*	28.1 kHz	50 Hz	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ
1920 × 1080*	33.8 kHz	60 Hz	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ
2560 × 1440	88.8 kHz	60 Hz	はい	はい	はい	はい	いいえ
3840 × 2160	54.0 kHz	24 Hz	はい	はい	はい	はい	いいえ
3840 × 2160	56.3 kHz	25 Hz	いいえ	はい	はい	はい	いいえ
3840 × 2160	67.5 kHz	30 Hz	はい	はい	はい	はい	いいえ
3840 × 2160	112.5 kHz	50 Hz	いいえ	はい	はい	はい	いいえ
3840 × 2160	135.0 kHz	60 Hz	いいえ	はい	はい	はい	いいえ
4096 × 2160	54.0 kHz	24 Hz	はい	はい	はい	はい	いいえ
4096 × 2160	112.5 kHz	50 Hz	いいえ	はい	はい	はい	いいえ
4096 × 2160	135.0 kHz	60 Hz	いいえ	はい	はい	はい	いいえ

*: インターレース

お知らせ

- 入力される信号の解像度によっては、文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。
- ビデオカードまたはドライバーによっては映像を正しく表示することができない場合があります。

LCD-CB653

サイズ (表示サイズ)	65 型 (163.90 cm)			
液晶方式	アクティブマトリクス方式カラー TFT 液晶			
有効表示領域	1428.48 × 803.52 mm			
表示画素数	3840 × 2160			
画素ピッチ	0.372 mm			
表示色	約 10 億 7374 万色			
視野角 (標準値)	左右 178°、上下 178° (コントラスト比 10)			
輝度 (最大値)	450 cd/m ²			
コントラスト比 (標準値)	4000:1			
応答速度 (標準値)	6.5 ms (G to G)			
走査周波数	水平周波数	デジタル : 15.625 - 135 kHz (HDMI) 31.469 - 135 kHz (DisplayPort/ USB Type-C) アナログ : 31.5 - 75 kHz		
	垂直周波数	デジタル / アナログ : 24 ~ 60 Hz		
ピクセルクロック	27-594MHz (HDMI) 27-594MHz (DisplayPort/USB Type-C) 27-148.5MHz (VGA)			
映像入力端子	VGA (RGB) * ²	ミニ D-Sub15 ピン	アナログ RGB 信号	0.7 Vp-p/75 Ω
	VGA (YPbPr) * ²		コンポーネント信号	輝度信号 Y : 0.7 Vp-p/75 Ω、 色差信号 Cb/Cr (Pb/Pr) : 0.7 Vp-p/75 Ω
	HDMI	HDMI コネクタ	デジタル RGB、 式差信号	HDCP 1.4/2.2
	DisplayPort	DisplayPort コネクタ	デジタル RGB 信号	DisplayPort 規格 Ver1.2 準拠 HDCP 1.3/2.2
	USB Type-C	Type-C ポート	デジタル RGB 信号	
映像出力端子	HDMI	HDMI Out コネクタ	デジタル RGB 信号	—
音声端子	オーディオ入力	Audio-VGA コネクタ (3.5 φステレオミニジャック)	アナログ音声信号	ステレオ L/R 0.5 Vrms
		MIC 端子 (3.5 φ 3 極ミニジャック)	アナログ音声信号	プラグインパワー方式 (プラグインパワー : 5 V) 対応のパソコン用モノラルマイクロホン (市販されているすべてのマイクの動作を保証するものではありません。)
		HDMI コネクタ	デジタル音声信号	PCM 32、44.1、48 kHz (16/20/24 bit)
		DisplayPort コネクタ Type-C ポート		
	オーディオ出力	SPDIF コネクタ	デジタル音声信号	光デジタル音声出力用
		HDMI コネクタ	デジタル音声信号	PCM 32、44.1、48 kHz (16/20/24 bit)
	イヤフォン出力	イヤフォン端子 (3.5 φステレオミニジャック)	アナログ音声信号	入力選択された信号を出力 : ステレオ L/R
音声出力	内蔵スピーカー : 20 W + 20 W (ステレオ)			
制御信号	RS-232C コネクタ	D-SUB 9 ピン × 1		
USB ポート	USB 2.0/USB 3.0 ポート		USB2.0 (USB Type-A) : DC 5 V/0.5 A (最大) USB3.0 (USB Type-A) : DC 5 V/0.9 A (最大)	
	USB Touch/Touch ポート		タッチ用、USB2.0 (USB Type-B)	
	Type-C ポート		USB Type-C : DC 20 V/3.25 A/65 W (最大)	
	カメラ用 USB Type-C ポート		USB2.0 (USB Type-C)	
	USB 2.0 Embedded ポート		内部接続用、USB2.0 (USB Type-A)	
タッチパネル	検出方法		赤外線走査方式	
	マルチタッチ		最大 10 点書き込み* ⁴ Windows40 点タッチ	
	OS * ³		Window 8、Windows 8.1、Windows 10、 Windows 11、MacOS、Chrome OS	
	接続端子		USB Touch ポート、Touch ポート	

システム	CPU	Arm Cortex®-A55 (クアドコア)	
	メモリー	4GB	
	ストレージ	32GB	
保護ガラス	材質	抗菌強化ガラス	
	厚さ	3.2 mm	
	表面処理 (反射防止)	AG/AF コーティング	
	表面硬度	8H	
	透過率	88%	
使用環境条件	温度	0 ~ 40 °C	
	湿度	20 ~ 80% (結露のないこと)	
	高度	5000 m 以下	
保存環境条件	温度	-20 ~ 60 °C	
	湿度	0 ~ 90% (結露のないこと)	
電源	電源入力	AC100 V、50/60Hz、5.4 A	
	消費電力 (オプション非使用時)	標準	255 W
		パワーセーブ時	2 W 以下*1
		シャットダウン時	0.5 W 以下*1
外形寸法 (突起部を除く)		1516.9 (W) × 924.8 (H) × 114 (D) mm	
拡張ボード (OPS) 供給電力		18 V/ 5.3 A (最大)	
質量		約 40.1 kg	
チルト角度		0°	
設置金具取付部		600 × 400 mm (M8、取付穴 4 箇所)	
バッテリースロット		コイン形リチウム電池 (CR2032) 用スロット	

仕様は予告なしに変更することがあります。

※1 工場出荷時の設定条件

※2 共用端子

※3 本機に接続したコンピューターで本機のタッチパネルを使用するときにサポートしているコンピューターのOSです。
タッチパネルは本機のOSとは独立して動作し、本機がこれらのOS上で動作するものではありません。

※4 対応アプリケーションに限り有効です。アプリケーションにより動作は異なります。

LCD-CB753

サイズ (表示サイズ)	75 型 (189.34 cm)			
液晶方式	アクティブマトリクス方式カラー TFT 液晶			
有効表示領域	1650.24 × 928.26 mm			
表示画素数	3840 × 2160			
画素ピッチ	0.430 mm			
表示色	約 10 億 7374 万色			
視野角 (標準値)	左右 178°、上下 178° (コントラスト比 10)			
輝度 ^{*3} (最大値)	450 cd/m ²			
コントラスト比 (標準値)	4000:1			
応答速度 (標準値)	8.5 ms (G to G)			
走査周波数	水平周波数	デジタル : 15.625 - 135 kHz (HDMI) 31.469 - 135 kHz (DisplayPort/ USB Type-C) アナログ : 31.5 - 75 kHz		
	垂直周波数	デジタル / アナログ : 24 ~ 60 Hz		
ピクセルクロック	27-594MHz (HDMI) 27-594MHz (DisplayPort/USB Type-C) 27-148.5MHz (VGA)			
映像入力端子	VGA (RGB) ^{*2}	ミニ D-Sub15 ピン	アナログ RGB 信号	0.7 Vp-p/75 Ω
	VGA (YPbPr) ^{*2}		コンポーネント信号	輝度信号 Y : 0.7 Vp-p/75 Ω、 色差信号 Cb/Cr (Pb/Pr) : 0.7 Vp-p/75 Ω
	HDMI	HDMI コネクタ	デジタル RGB、 式差信号	HDCP 1.4/2.2
	DisplayPort	DisplayPort コネクタ	デジタル RGB 信号	DisplayPort 規格 Ver1.2 準拠 HDCP 1.3/2.2
	USB Type-C	Type-C ポート	デジタル RGB 信号	
映像出力端子	HDMI	HDMI Out コネクタ	デジタル RGB 信号	—
音声端子	オーディオ入力	Audio-VGA コネクタ (3.5 φステレオミニジャック)	アナログ音声信号	ステレオ L/R 0.5 Vrms
		MIC 端子 (3.5 φ 3 極ミニジャック)	アナログ音声信号	プラグインパワー方式 (プラグインパワー : 5 V) 対応のパソコン用モノラルマイクロホン (市販されているすべてのマイクの動作を保証するものではありません。)
		HDMI コネクタ	デジタル音声信号	PCM 32、44.1、48 kHz (16/20/24 bit)
		DisplayPort コネクタ Type-C ポート		
	オーディオ出力	SPDIF コネクタ	デジタル音声信号	光デジタル音声出力用
		HDMI コネクタ	デジタル音声信号	PCM 32、44.1、48 kHz (16/20/24 bit)
	イヤフォン出力	イヤフォン端子 (3.5 φステレオミニジャック)	アナログ音声信号	入力選択された信号を出力 : ステレオ L/R
音声出力	内蔵スピーカー : 20 W + 20 W (ステレオ)			
制御信号	RS-232C	D-SUB 9 ピン × 1		
USB ポート	USB 2.0/USB 3.0 ポート		USB2.0 (USB Type-A) : DC 5 V/0.5 A (最大) USB3.0 (USB Type-A) : DC 5 V/0.9 A (最大)	
	USB Touch/Touch ポート		タッチ用、USB2.0 (USB Type-B)	
	Type-C ポート		USB Type-C : DC 20 V/3.25 A/65 W (最大)	
	カメラ用 USB Type-C ポート		USB2.0 (USB Type-C)	
	USB 2.0 Embedded ポート		内部接続用、USB2.0 (USB Type-A)	
タッチパネル	検出方法		赤外線走査方式	
	マルチタッチ		最大 10 点書き込み ^{*4} Windows40 点タッチ	
	OS ^{*3}		Window 8、Windows 8.1、Windows 10、 Windows 11、MacOS、Chrome OS	
	接続端子		USB Touch ポート、Touch ポート	

システム	CPU	Arm Cortex®-A55 (クアドコア)	
	メモリー	4GB	
	ストレージ	32GB	
保護ガラス	材質	抗菌強化ガラス	
	厚さ	3.2 mm	
	表面処理 (反射防止)	AG/AF コーティング	
	表面硬度	8H	
	透過率	88%	
使用環境条件	温度	0 ~ 40 °C	
	湿度	20 ~ 80% (結露のないこと)	
	高度	5000 m 以下	
保存環境条件	温度	-20 ~ 60 °C	
	湿度	0 ~ 90% (結露のないこと)	
電源	電源入力	AC100 V、50/60Hz、6.1 A	
	消費電力 (オプション非使用時)	標準	310 W
		パワーセーブ時	2 W 以下*1
		シャットダウン時	0.5 W 以下*1
外形寸法 (突起部を除く)		1739.1 (W) × 1049.3 (H) × 115.2 (D) mm	
拡張ボード (OPS) 供給電力		18 V/ 5.3 A (最大)	
質量		約 53.3 kg	
チルト角度		0°	
設置金具取付部		800 × 400 mm (M8、取付穴 4 箇所)	
バッテリースロット		コイン形リチウム電池 (CR2032) 用スロット	

仕様は予告なしに変更することがあります。

※1 工場出荷時の設定条件

※2 共用端子

※3 本機に接続したコンピューターで本機のタッチパネルを使用するときにサポートしているコンピューターのOSです。
タッチパネルは本機のOSとは独立して動作し、本機がこれらのOS上で動作するものではありません。

※4 対応アプリケーションに限り有効です。アプリケーションにより動作は異なります。

商標・ライセンスについて

MultiSync、Brain board はシャープ NEC ディスプレイソリューションズ株式会社の登録商標です。
Microsoft® および Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Android は、Google LLC の商標または登録商標です。
Ethernet は米国ゼックス社の登録商標です。
VESA は Video Electronics Standards Association の米国および他の国における登録商標または商標です。
Mac、macOS、OS X、iPhone、iPad は、米国およびその他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
[QRコード、QR Code] は株式会社デンソーウェブの登録商標です。
DisplayPort および DisplayPort ロゴは、Video Electronics Standards Association の米国その他の国における商標です。
HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface という語、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
Blu-ray は、Blu-ray Disc Association の商標です。
USB Type-C® および USB-C® は USB インプリメンターズ・フォーラムの登録商標です。
Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。
シャープ NEC ディスプレイソリューションズ株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。
Arm および Cortex は、米国および他の地域における Arm Limited (またはその子会社) の登録商標または商標です。
インテル、Intel、インテル Core、Celeron 及び Intel ロゴはアメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。
その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。



[お知らせ] 本製品で使用しているMPEG-4 AVC、MPEG-4 Visual ライセンスについて

1. MPEG AVC

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERATION TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://WWW.MPEGLA.COM)

2. MPEG-4 Visual

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NONCOMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://WWW.MPEGLA.COM).

外部のリソース

本機の仕様、アクセサリやオプションのソフトウェアに関するドキュメントで、取扱説明書にも記載されているものは以下のとおりです。

当社のWebサイト

日本：<https://www.sharp-nec-displays.com/jp/>

ソフトウェア

https://www.sharp-nec-displays.com/dl/jp/dp_index.html

その他

本機を廃棄するには（リサイクルに関する情報）

地球環境保全と資源の有効活用のため、不要になった製品のリサイクルにご協力ください。詳しくは当社 Web サイトをご参照ください。

「製品リサイクルのご案内」について

<https://www.sharp-nec-displays.com/jp/environment/recycle/index.html>

個人情報の初期化

本機には、IP アドレス等、個人情報が記録されている可能性があります。

廃棄・譲渡する際には、「工場出荷時の設定の復元」をおこない、設定の初期化をしてください。

保証とアフターサービス

- この商品には保証書を添付しています。
保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- その他、アフターサービスについてご不明の場合は、お買上げの販売店または修理受付 / アフターサービス窓口にご相談ください。

法人ユーザー様の窓口
NEC ビジネス PC 修理受付センター
フリーコール：0120-00-8283
携帯電話をご利用のお客様はこちらの番号へおかけください。 0570-064-211（通話料お客様負担）
受付時間：月～金 9:00～18:00 休日は、土曜・日曜・祝日および年末年始等の所定休日とさせていただきますので、ご了承ください。

アフターサービスを依頼される場合は次の内容をご連絡ください。

- お名前
- ご住所（付近の目標など）
- 電話番号
- 品名：マルチシンク液晶ディスプレイ
- 型名：LCD-CB653 / LCD-CB753
- 製造番号（本機背面のラベルに記載）
- 故障の症状、状況など（できるだけ詳しく）
- 購入年月日または使用年数